

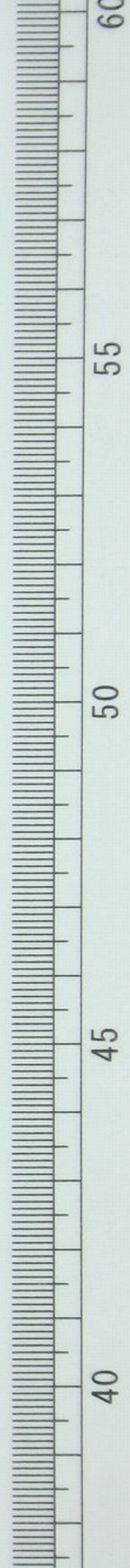
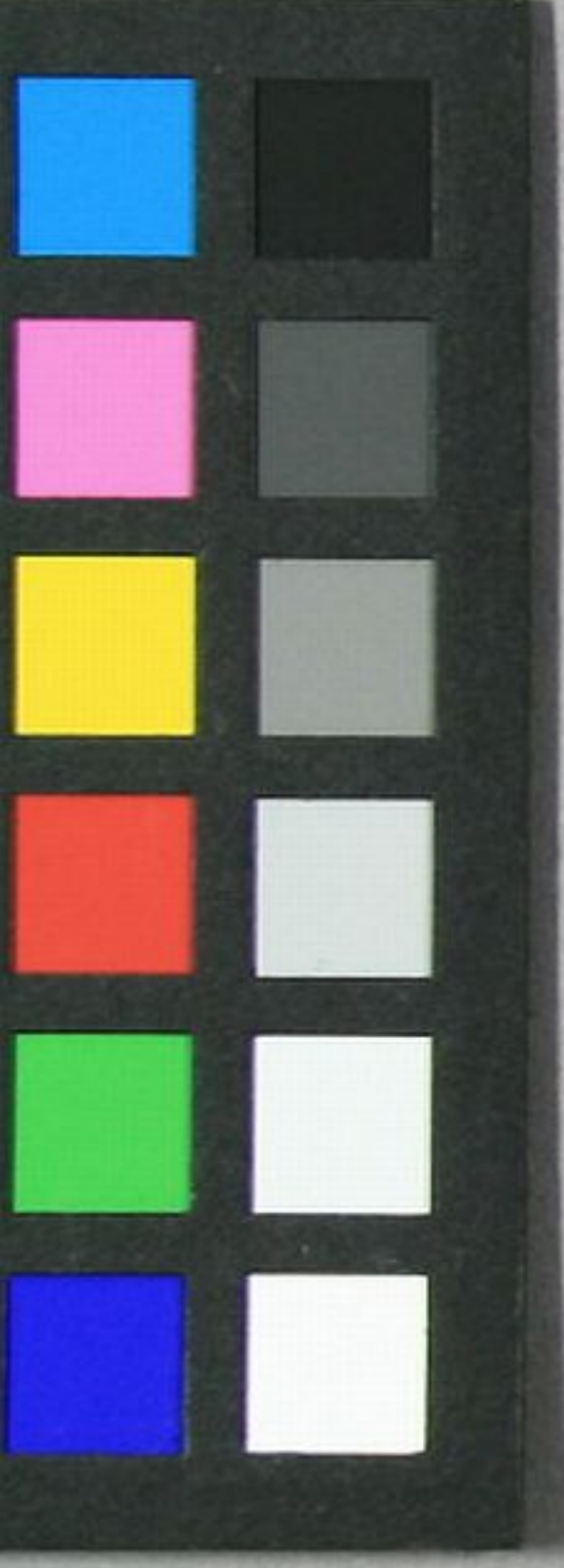
塵劫記

全四卷

小倉文庫

イ 16

26



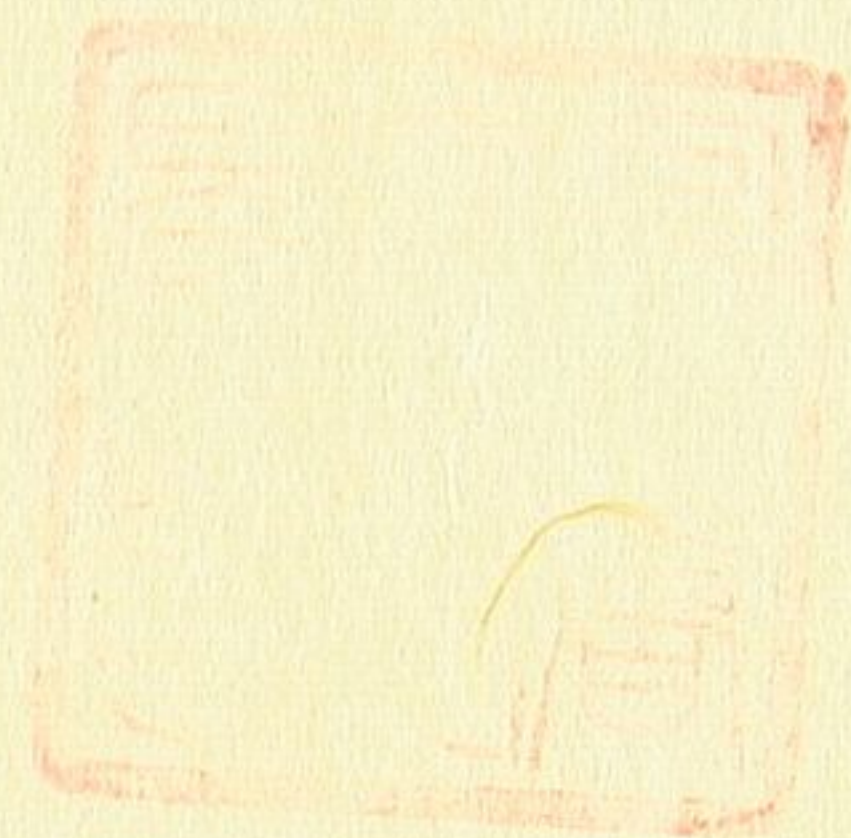
門 116  
號 232  
卷



昭和二十七年  
六月二十日  
受入

寬永十一年版  
塵劫記

全四卷



梓と振假名から欠く等二種

らんごき巻の一日



中一 大教の巻あり  
 中二 小教の巻あり  
 中三 振の教乃各あり  
 中四 田教乃各あり  
 中五 徳田の事  
 中六 九九の教あり  
 中七 八人の事あり  
 中八 鬼一王の事あり  
 中九 子てまれの事あり

洞	埃	万	一
十洞 百洞 千洞	十埃 百埃 千埃	十万 百万 千万	
正	秭	億	十
十正 百正 千正	十秭 百秭 千秭	十億 百億 千億	
載	穰	兆	百
十載 百載 千載	十穰 百穰 千穰	十兆 百兆 千兆	
極	海	京	千
十極 百極 千極	十海 百海 千海	十京 百京 千京	

第 一

大教之存

中十 海うらうひの事  
 中十 億よりの事  
 中十 表すきさん  
 中十 劉ふにうへ換の事  
 中十 世にうらうひの事  
 中十 泥ぬぐの事  
 中十 塗ぬぐの事  
 中十 少利ぬぐの事  
 中十 くら月利ぬぐの事  
 中十 くらぬぐの事

恒河沙
十恒河沙
百恒河沙
千恒河沙

阿僧祇
十阿僧祇
百阿僧祇
千阿僧祇

那由他
十那由他
百那由他
千那由他

不可思議
十不可思議
百不可思議
千不可思議

無量
大數

第二 小數之名

兩
文
分
釐
毫
絲

忽
微
纖
沙
塵
埃

第三 根の數之名

斛
斗
升
合
分
抄

撮
圭
粟

第 四

田敷之寸名

一町	一畝	一分	一毫	一忽
四十二丁三丁四寸	二百七十丁六寸	長六寸五分 廣三寸五分	長六寸五分 廣三寸五分	長六寸五分 廣三寸五分
一畝	一歩	一厘	一絲	一微
一丁八三寸五分	一丁八三寸五分	長六分五分 廣三分五分	長六分五分 廣三分五分	長六分五分 廣三分五分

第 五

尺相極重之事

金	銀	鉛	錫	玉
一丁四寸五分 廣三寸五分	一丁	一丁	一丁	一丁
百七拾又五分	百拾又五分	九拾又五分	六拾又五分	百外拾又五分

二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

九

九九之教

銅	鉄	鋳	土
日	日	日	日
七松又又	六松又又	三松又又	松又又



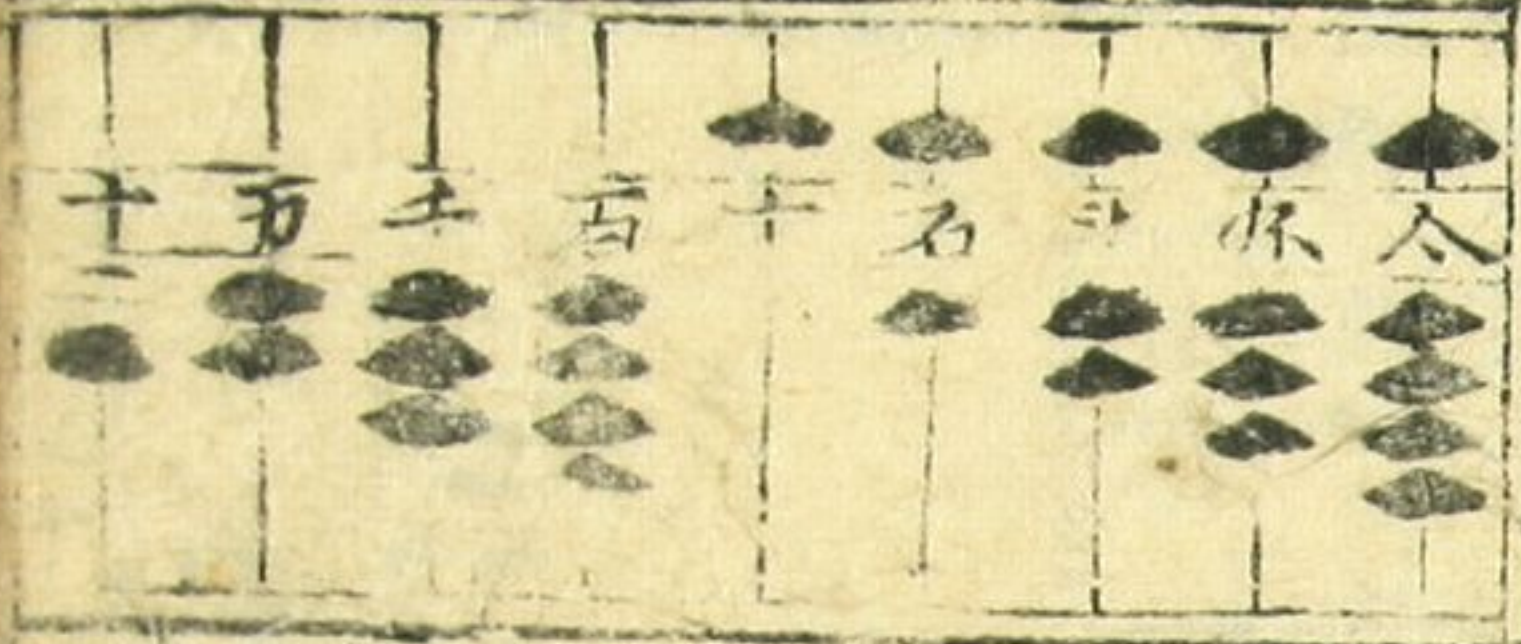
四八	五五	五七	五九	六六	六八	七七	七九	八八	九九
本二	本八	本八	本八	本六	本八	本九	本三	本四	本一
四九	五六	五八		六七	六九	七八		八九	
本六	本	本		本二	本四	本六		本二	

並七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

六のり	五のり	四のり	三のり	二のり	一のり
六二	五三	四三	三二	二二	一一
六二	五二	四二	三二	二二	一一
六二	五二	四二	三二	二二	一一

六三	天地爻	六四	萃中
六五	八十二	九五	進十
七	一 如下三	七二	如下六
七三	萃中二	七四	萃中爻
七五	萃上七六	八十	四進十
八	一 如下二	八二	如下四
八三	如下六	八四	天地爻
八五	萃中二	八六	七十四
八七	八十六	八八	進二十
九	陽 如下	一	倍進九進十

九のうら  
 二進ふまはれ  
 六五のふまはれは八のふまはれより九は八のふまはれより  
 又二進ふまはれは昔のふまはれより



八進 四 二二天地爻  
 六進 三 二二天地爻  
 二進 十 二進二十 二進二十  
 二進 十 二進二十 二二天地爻  
 二進 十 二進二十  
 二進 十 二二天地爻



二五十四  
 二四十八  
 二九十六  
 二三十六  
 三十四  
 三十七  
 三十二  
 三十六

りん

松本万三子四百六拾石七斗九合

三河ふりれい

三河ふりれい松本万三子四百六拾石七斗九合

しん

六	●●●●●
五	●●●●●
四	●●●●●
三	●●●●●
二	●●●●●
一	●●●●●

九	進三十
六	進二十〇三二六一
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十

六	●●●●●
五	●●●●●
四	●●●●●
三	●●●●●
二	●●●●●
一	●●●●●

三	三三九
三	三二八
二	三二六
二	三三六
三	三五十八
一	三三三
一	三三三
一	三三三

あつひ

松本万三子四百六拾石七斗九合

三河ふりれい

三河ふりれい松本万三子四百六拾石七斗九合

六	●●●●●
五	●●●●●
四	●●●●●
三	●●●●●
二	●●●●●
一	●●●●●

九	進三十
六	進二十〇三二六一
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十
三	進二十〇三進二十

六	●●●●●
五	●●●●●
四	●●●●●
三	●●●●●
二	●●●●●
一	●●●●●

三	三三九
三	三二八
二	三二六
二	三三六
三	三五十八
一	三三三
一	三三三
一	三三三

松方三三の四百五拾五石七斗九合と  
又川ふりしれハ

少方の五百石松方三三斗九合と

八	●●●●
七	●●●●
六	●●●●
五	●●●●
四	●●●●
三	●●●●
二	●●●●
一	●●●●

五進二十。五斗倍他八  
 五進千。五三倍他六  
 五進千。五二倍他四  
 五進千。五一倍他二  
 五進千  
 五斗倍他八  
 五三倍他六  
 五二倍他四  
 五一倍他二

八	●●●●
七	●●●●
六	●●●●
五	●●●●
四	●●●●
三	●●●●
二	●●●●
一	●●●●

廿六斗  
廿七斗  
廿八斗  
廿九斗  
三十斗  
三十一斗  
三十二斗  
三十三斗

松方三三の四百五拾五石七斗九合と  
六川ふりしれハ  
少方五百石松方三三斗九合と

八	●●●●
七	●●●●
六	●●●●
五	●●●●
四	●●●●
三	●●●●
二	●●●●
一	●●●●

六進二十。六三斗倍他八  
 六進千。六三斗倍他六  
 六進千。六一斗下四  
 六進千  
 六斗倍他八  
 六三斗倍他六  
 六一斗下四

八	●●●●
七	●●●●
六	●●●●
五	●●●●
四	●●●●
三	●●●●
二	●●●●
一	●●●●

廿六斗  
廿七斗  
廿八斗  
廿九斗  
三十斗  
三十一斗  
三十二斗  
三十三斗

九



わろひま

紫万三の百廿六の百廿九の百廿

九行おこる

ま万三の百廿七の百廿八の百廿九の百

くはる

十	百	千	万	十	百	千	万	十	百	千	万
九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千
九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千
九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千
九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千

第九

見一ののりれい

△見一 五玖九一 帰一 倍一 一進の二十

△見二 五玖九二 帰一 倍二 八の三進

△見三 五玖九三 帰一 倍三 八の三進

△見四 五玖九四 帰一 倍四 八の三進

△見五 五玖九五 帰一 倍五 八の三進

△見六 五玖九六 帰一 倍六 八の三進

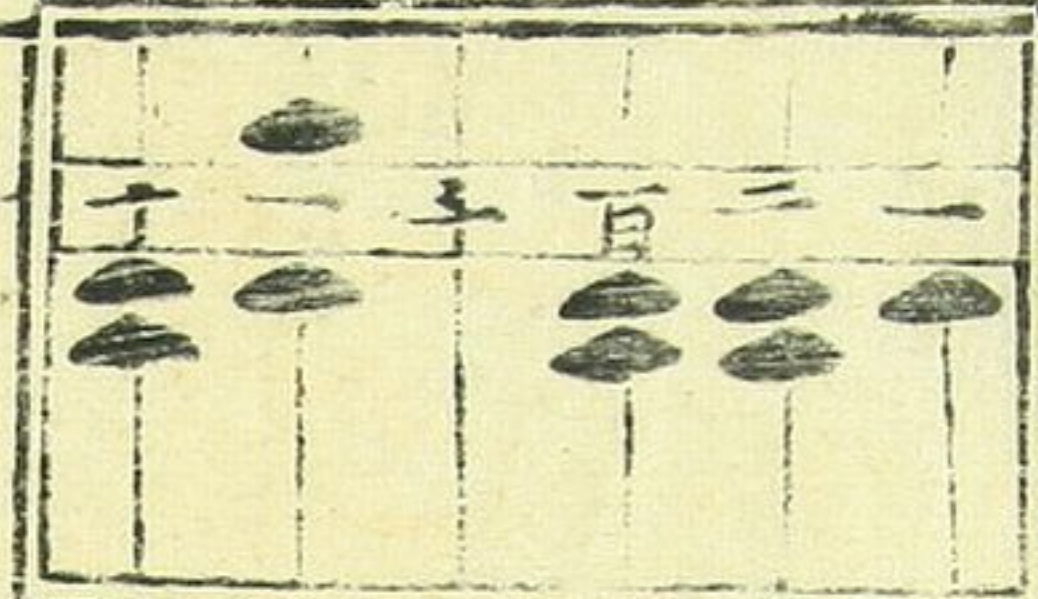
△見七 五玖九七 帰一 倍七 八の三進

△見八 五玖九八 帰一 倍八 八の三進

△見九 五玖九九 帰一 倍九 八の三進



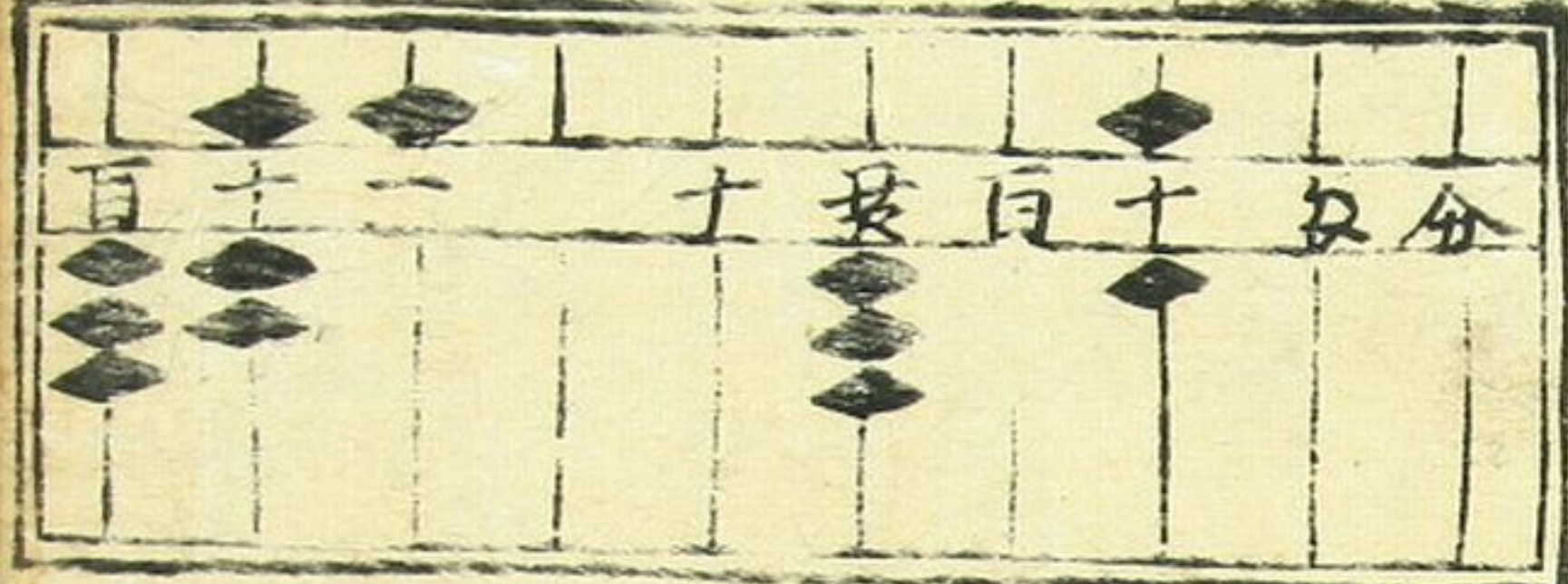
分齊



かりのきせり  
 〇外二二六六六  
 八五八五八五  
 〇後二倍二  
 〇八二二の倍入  
 五八二八  
 三二作四  
 二八十六  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二

〇三〇七倍入ふりた  
 八五五五六〇〇〇〇  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二

分齊



〇三〇七倍入ふりた  
 八五五五六〇〇〇〇

五六六	五九五	五八六
六七〇二二	七〇七	六八七
七〇七	七二七	七〇七
七二七	七四七	七二七
七四七	七六七	七四七
七六七	七八七	七六七
七八七	八〇七	七八七
八〇七	八二七	八〇七
八二七	八四七	八二七
八四七	八六七	八四七
八六七	八八七	八六七
八八七	九〇七	八八七
九〇七	九二七	九〇七
九二七	九四七	九二七
九四七	九六七	九四七
九六七	九九七	九六七
九九七	一〇〇七	九九七

〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二  
 〇見二倍二









第九

うけてこれらうらんの事

△あふまりのとき時を 二とかく會也

△たふまりのとき時を 二とかく會也

△二つふまりのとき 二とかく會也

△百九あふまりのとき 二とかく會也

第十

第九うらんの事

△第九百終るあつ時終るの事

二天のさうむあつてたを

終る事七百又終る事

たふまりの時

三舞の事

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△このこと

△ 永初三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 右小永松三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 永初三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 永初三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 永初三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 永初三葉四百八松を各分りてある時其石  
付亦松三葉七分ありてたし根葉分りて附  
五百六松七石付といふ也

△ 銀松の皮の葉三年九味六又言はれ四の  
時ハ三葉がふふれふあふらふといふ時ふ  
一石有 三松又皮ふふといふ

右ふを花とをきくたふ三年九味六又言は  
入札と出せしふとをきふたの葉ゆて  
ふしハ赤松又皮ふふといふるふ

△ 葉あつらひの葉を有てあつらひはまは依  
少て水ふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふふふふ  
不詳

右ふは水ふふふふふふふふふふふふふふ

△ 又三葉の葉ははぬと水ふふふふといふ時  
去るなるふれとふあふらふといふ時ふ  
三の日

三松七皮ふふふふふふふふふふふふふ  
九汁葉をりつてふふふふふふふふふふ

△ 上葉一石有 少松七皮ふふふ

中葉一石有 小松又皮ふふふ

下葉一石有 小松三皮ふふふ

餅葉一石有 少松九皮ふふふ

大葉一石有 物ふふふのむふふふ

ふまあり銀出百粒とあるは、  
たうく、  
めらり

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

一在七斗三升四合五分  
一在七斗三升四合五分

唐

△上巻一石目 九七巻三三巻の三三巻也

中巻一石目 九八巻又九九巻

下巻一石目 九三巻三三巻の三三巻

あり詠江古松を愛ふをいふよし光二平

下の巻あるし時よ暮るし中巻六二巻

とり中しり下よ交てり中巻四七巻

と氣 去石江津舞二巻四七巻三三巻

山 詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

詠江古松を愛ふをいふよし

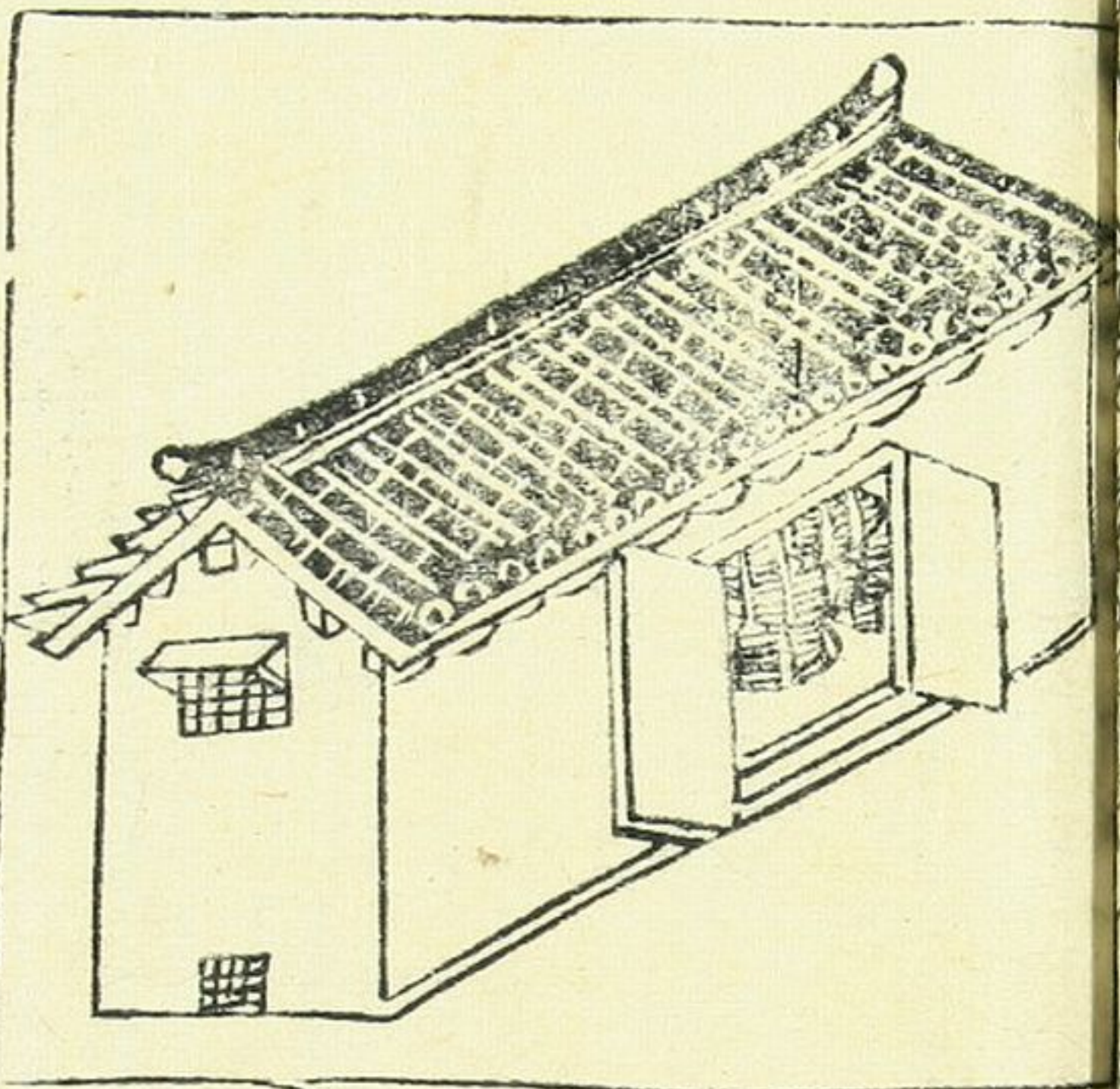
唐

唐



像まじりの事

△尊八白又松を之但一石為三坪以加ん  
 一坪一坪時たさ寺目家以て之を時  
 一白或後田を坪よ成りて  
 先三石といふ處でけ也三坪以て坪  
 七坪坪のさまたさ八坪坪をがれ坪田を  
 △四坪像五ふ三坪と物像も時これとあり像  
 のたありて物ありあるをといふ時八  
 坪ふ三坪坪をふなりといふ



○尊八白又松像  
 合六六白像を  
 ○これ也小四坪像  
 合六六白像を  
 ○尊八白又松像  
 合六六白像を

但四坪棟像内十三坪つふ坪八坪のて  
 四坪棟像も四坪像も三坪棟像も合六六  
 三坪大八坪ふなりといふ時ふ  
 合六六白像を



倭教  
九條を倭の

ちふ十三條の  
又九條を十三條  
と云ふこれ倭  
と云ふこれ倭  
これと云ふこれ百  
十三條を十三  
と云ふこれ九十一條と



十三條

上のいさまり八條を下のいさ

十八條を十三條教ふるなりと

あるといふ時

倭教  
百四條二條を

と云ふのいさ十八條を

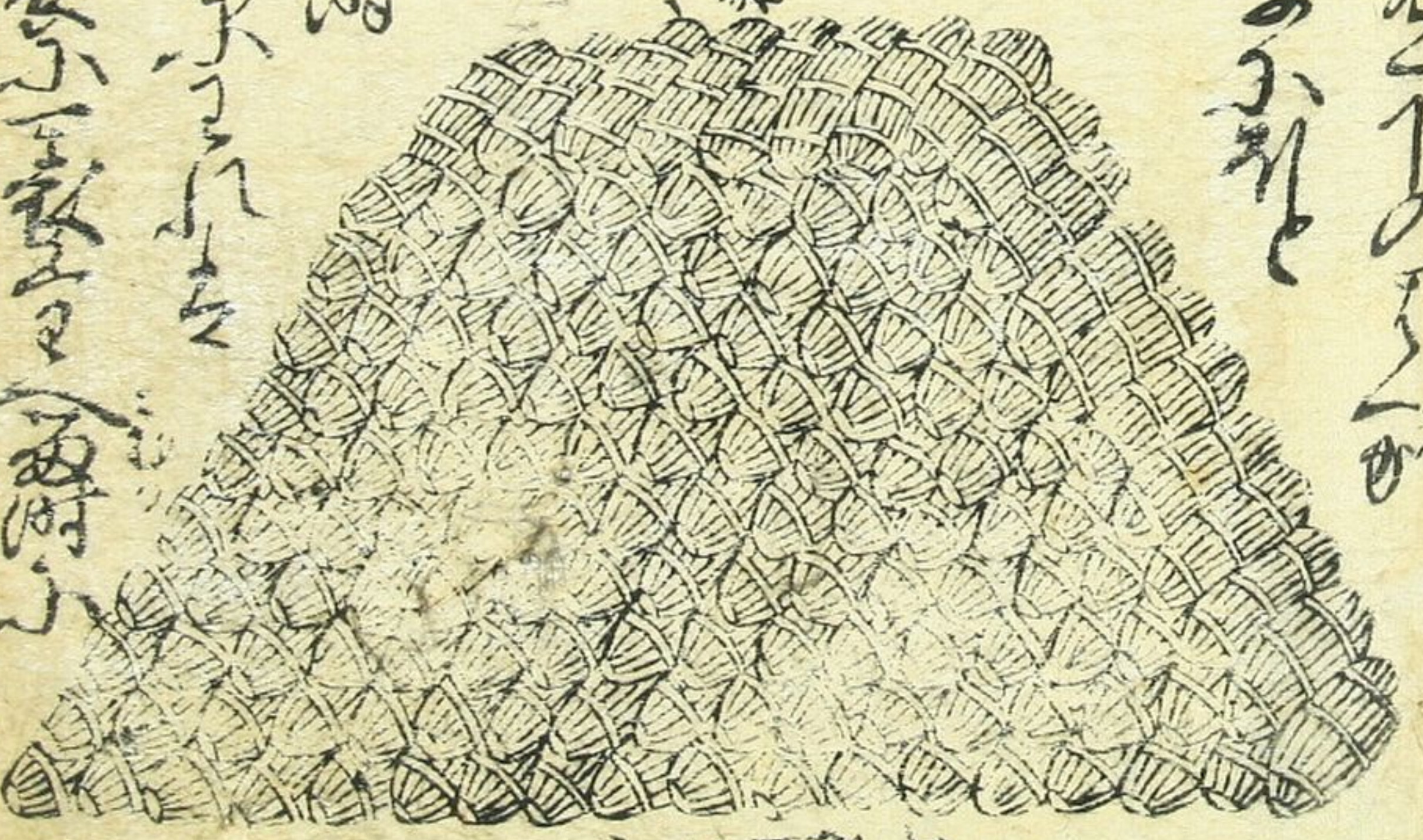
なすといふ時

と云ふのいさ十八條を

のいさ十八條を

十三條を

十三條を

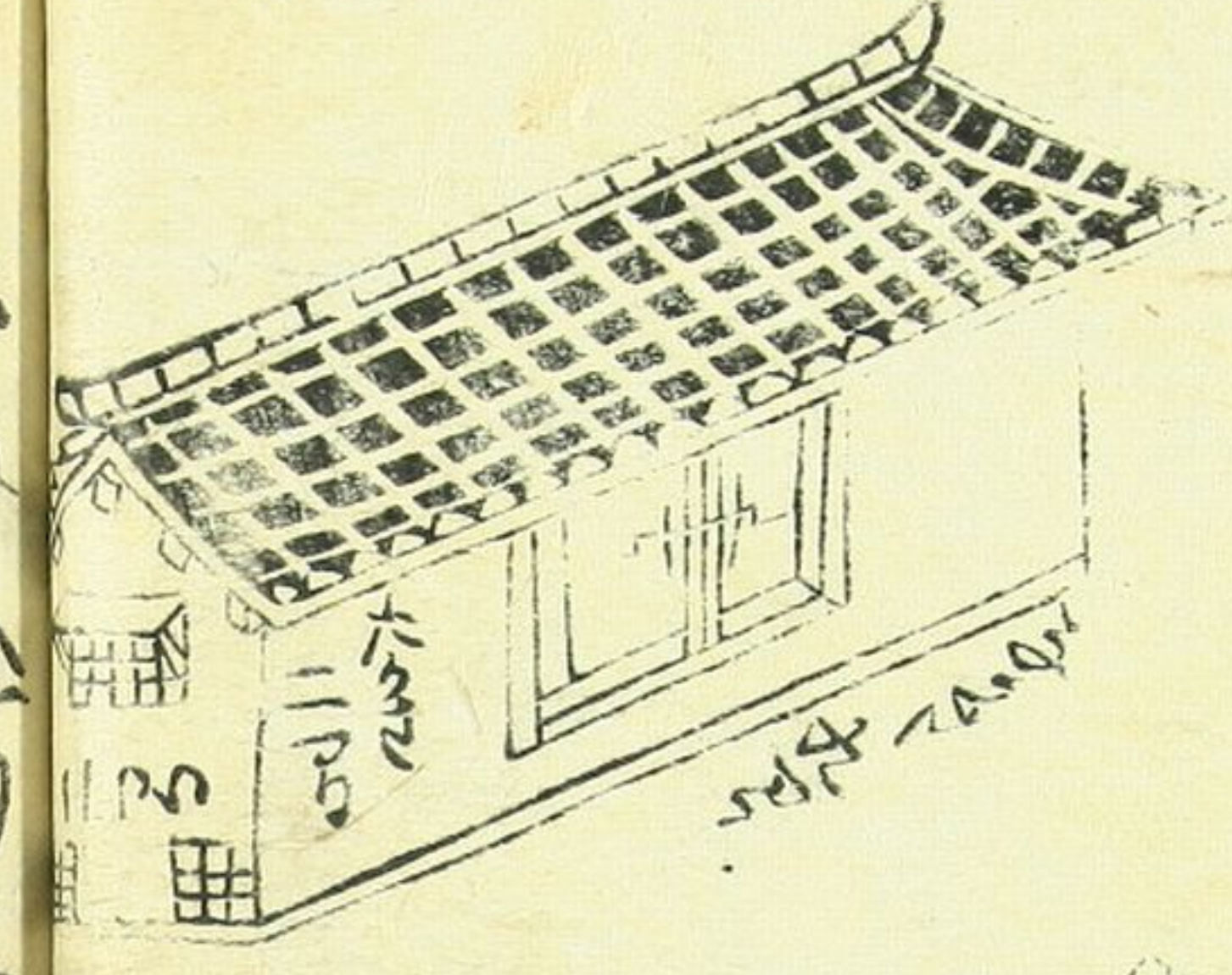


十三條

十の表よりらひりてうの八表と十時ふ  
結し十一條とこれ小丸の十三條とかく  
道二百の條と三表とよする也

第十

花小にまはれ入つりり的事



△浄一房の條より三條とよ  
二の又九條二條とよ  
はくさかあふよこはるさかふ  
日輝あふこれ長ぬるさかふ  
亦六條よりさよ一階とよ十二  
條とよ

二の又百九十二條とよする也又一階とよ  
亦二條の中より九の地これとよ亦二階とよ  
かこれ二の又百九十二條とよする也

右より道七條より入りて  
まはらひはなはるの大小あしらて  
らるしよ大くかくのいへる

第十一

花小にまはれ入つりり的事

△花小にまはれ入つりり的事  
花小にまはれ入つりり的事  
右より道七條より入りて  
まはらひはなはるの大小あしらて  
らるしよ大くかくのいへる

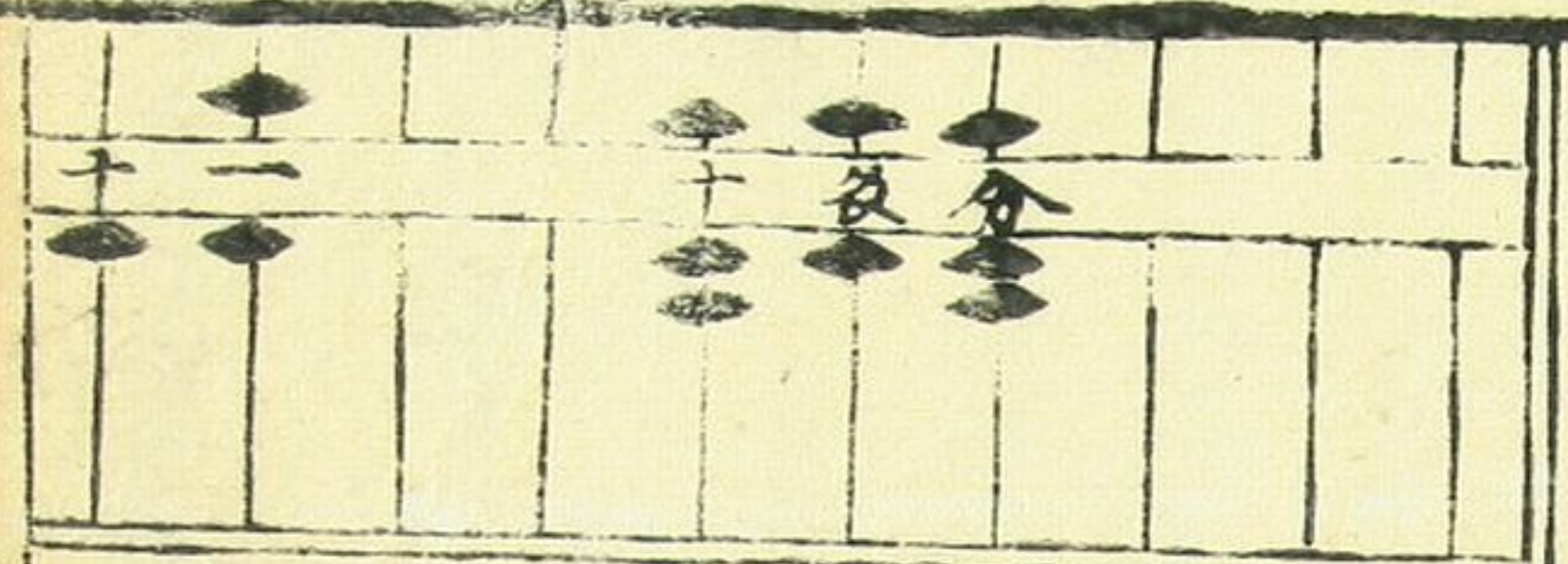


九百一	四百又九	九百九	四百二
九百三	四百又三七	九百四	四百二八
九百五	四百又六二	九百六	四百二四
九百七	四百又二四	九百八	四百二二
九百九	四百又八三	九百一	四百二二
九百一	四百又二二	九百三	四百二二
九百三	四百又下七	九百四	四百二八
九百五	四百又六六	九百六	四百二七
九百七	四百又二九	九百八	四百二一
九百九	四百又九二	九百一	四百二七

九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九  
 九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九  
 九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九

△世に方費八百より海を費するにせむ  
 一にたしむるにせむ  
 九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九  
 九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九  
 九百一  
 九百三  
 九百五  
 九百七  
 九百九

△ 三三三松に九をとりりらるるに  
 世に費みぬれ松をなす人の人なり  
 大なるのふせいのふれさるる所  
 松五費六百七十なり  
 右より三三三松に九をとりりらるるに  
 さうぐんたふふふふふふふふふふ  
 くれら松を費するに松をぬけいふふふ  
 自よけていふ松二つなり三つなり也  
 △ 世にのふふふふふふふふふふ



松七倍六む七分の時世に法費人の十  
 去るなり  
 七に費七百九十一なり

五進五十。五六六	四五六
四進一。四二倍。六七	四七六
三進三。三三三。凡二後九二七	三三三
六九八	三三三
四進一。四二倍。六七	四七六
四進一。四二倍。六七	四七六
四進一。四二倍。六七	四七六
四進一。四二倍。六七	四七六





第九卷

派女ぐくの事

まじりたるものさうむをぬと尻ふとまき  
又半のふのさうむにぬらふと加つる時  
合三のぬらふにふぬこれをしてたぐ昔  
十のぬらふにぬらふとぬらふ百半  
まき

△下派入百九拾九なる時一まきつらまき  
也二つら行ふくぬらふとぬらふのさうむ  
は百九拾九なるとまきつらまき  
ちふ下派入百九拾九なるとまきつらまき

△二つら行ふくぬらふとぬらふのさうむ

まきつらまきつらまきつらまき

△二つら行ふくぬらふとぬらふのさうむ

まきつらまきつらまきつらまき

△二つら行ふくぬらふとぬらふのさうむ

まきつらまきつらまきつらまき

九百九拾九の事

ちふふのさうむにぬらふとぬらふのさうむ  
ふふのさうむにぬらふとぬらふのさうむ  
とぬらふ下派入百九拾九なるとまきつらまき

△わらわいふまありし九百石目も雨丁派ありし  
 時分四三ふりてなきま後分派分派ありし  
 九百石目も二分ふりし  
 先んふれなきをきて山田三ふりし  
 九百石目ありしこれとなく九百石目ありし  
 △三分ふりしと九七とかくはら  
 してと八二下三てころるなり  
 △三ふりしと八二下三とけ  
 四と九七てころるなり  
 三加十石 二石加十石

新十六 金銀ぐいの事

△金小判ぬきある所らんきりぬきりぬき  
 八石がかりて金小判ぬきありし  
 三百石とあり  
 金銀をぬきのかりぬきありさるる八百  
 石ありとありぬきとありてこれ金銀三石  
 ぬきとありぬきとありとあり金小判ぬき  
 かりぬき三百石とあり  
 大それたる物ありとありぬき  
 ぬきとありぬきとありとありぬき

たきんあなぬしこふあり

△あらしの金せぬはうらうらふと金のころば  
 紙又百圓の母入百圓の半はなれ  
 金三の百紙と三十分の一も金三忽つ  
 小高らうらうらふと金せぬはうらうら  
 紙  
 かのくくはまてありてわさる  
 △たらしの金せぬはうらうらふと金のころば

ハたきんあなぬし

△紙は百圓の母入百圓の半はなれ  
 金  
 紙は百圓の母入百圓の半はなれ  
 紙は百圓の母入百圓の半はなれ

△紙は百圓の母入百圓の半はなれ  
 紙は百圓の母入百圓の半はなれ  
 紙は百圓の母入百圓の半はなれ  
 紙は百圓の母入百圓の半はなれ

△上金九拾之九分八 刺金を投る亦八分也  
 中金百亦之六分八 一人を投る亦十の五分  
 下金八拾の五分八分八 一人を投る亦十の五分  
 三台金二百拾之七分七 一人を投る亦十の五分  
 一人の射る亦十の五分八 一人を投る亦十の五分  
 又上金九拾之九分七 一人を投る亦十の五分  
 又中百亦之六分七 一人を投る亦十の五分  
 又下八拾の五分六分七 一人を投る亦十の五分

金に拾りありの事 三枚の金に拾りありの事 三枚の金に拾りありの事 三枚の金に拾りありの事

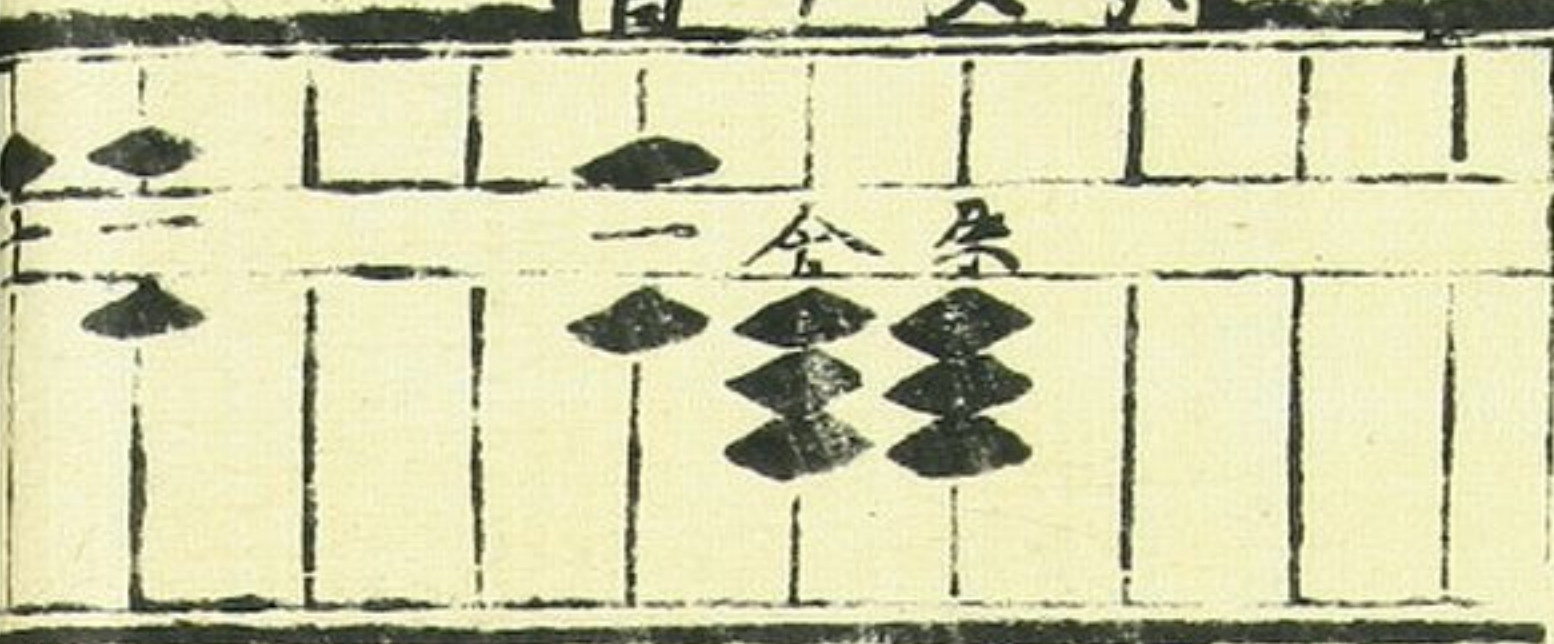
射る

小人の射るの事

△小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 射 七拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 右小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 △小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 射 七拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 左小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 △小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 射 七拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 右小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 △小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 射 七拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射  
 左小人八拾七ある射 一両有る亦八拾七ある射

北八の七不... 小八の六...  
 △小八の六... 三...  
 て... 三百年八...

三言



三	二	一				
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...

三言... 三言... 三言...

△北八の七不... 三言...  
 ... 三言...

△北八の七不... 三言...  
 ... 三言...

△北八の七不... 三言...  
 ... 三言...

△張中判付不念三費目より三つし  
あらるふりこことらふ

<sup>手紙</sup>小費又百両より

之三費目より念三費目より十兩より

ちく三費目より二つ三費目より

△張中判付不念三費目より三つし

ららるふりこことらふ

先三費目より念三費目より十兩より

二年のあひつひおめおめ加へて

二つしあるふりこことらふ

三費目より

<sup>二つしあるふり</sup>念三費目より念三費目より十兩より

<sup>二つしあるふり</sup>念三費目より念三費目より十兩より

<sup>二つしあるふり</sup>念三費目より念三費目より十兩より

<sup>二つしあるふり</sup>念三費目より念三費目より十兩より

△張中判付不念三費目より三つし

あらるふりこことらふ

先三費目より念三費目より十兩より

二

三

△ 証書費用とてまんく（た）のりてきたるの  
 わいふお十とひつててあおれおあつて  
 又於て費用六万奉交さるりおあつて  
 まるき費用とたふさるるおあつて  
 てす法かくれなきか（と）もるる也  
 △ 中証と於て費用八百員とて時二月あり  
 八百員とてさるるおあつて  
 おあつての事也さるるおあつて  
 三費六百員と於てさるる

△ 又たさるる中証とて費用八百員と分りおあつて  
 十月おあつて加へて、三費六百員と於てさるる  
 まるる費用とたふさるるおあつて  
 かくれ中証とて費用六百員と分りおあつて  
 △ 又さるる中証とて三年のるおあつて加へて  
 三年のるおあつて  
 合六百員と於てさるるおあつて  
 まるる費用とたふさるるおあつて  
 又さるるおあつて

三十一

△<sup>三十一</sup> 三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

の二五五を以て三十一の号合百廿五を以て三十一

三十一

三十一



△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

△あんなに早くあつた時を思い出して  
うらやましく思ふ時があるが  
それは

牙亦

牙刻之事

塵

廿八終

取何物之時高物所取  
右、取代物所取ト云と云  
言右重危取重以今下  
言テ刻是右高物也

豊河同物人、横河同物人、惣

是、口十部、口十部、口十部、口十部

と智しふ

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

中

中

右

是

是

と

七

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中  
中  
中  
中  
中  
中  
中  
中

中下 ころろろろのびびり  
 中上 びびりろろろろのび  
 中三 びびりろろろろのび  
 中下 びびりろろろろのび

第一

入ふまんの事

△あらうてつろふまのし泥はまをまわして  
 へんまのまをまわしてつろふまのまをまわして

一五二五 一五二五 二五二五 三五二五 三五二五 三五二五 三五二五



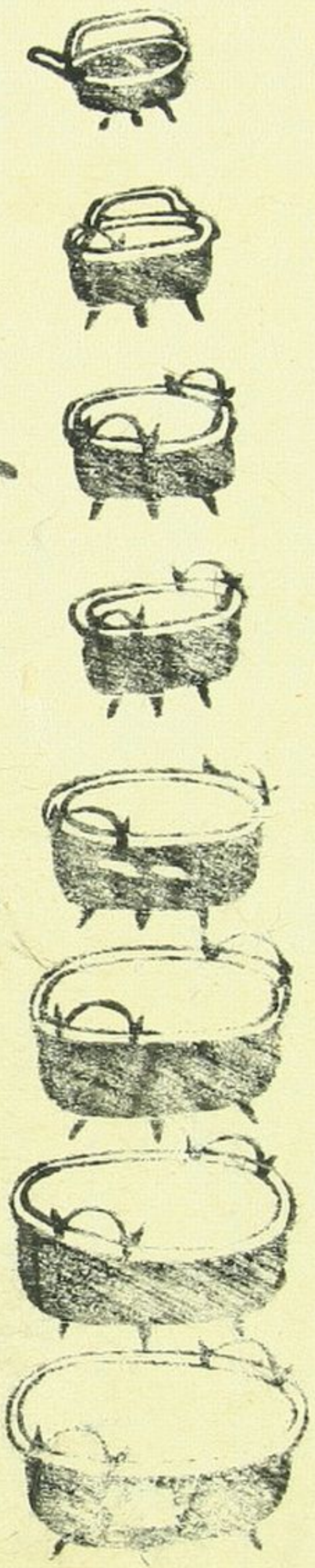
まてたのまをまわしてつろふまのまをまわして  
 まてたのまをまわしてつろふまのまをまわして  
 まてたのまをまわしてつろふまのまをまわして

△八つ入るびのきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて

のきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて

のきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて

のきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて



ふくすむつてむつてむつてむつてむつて

のきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて

のきくしつてむつてむつてむつてむつてむつて

新入

まづむつてむつてむつてむつてむつて

一むんむんむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

一むつてむつてむつてむつてむつてむつて

糸の高のかけ

八十三斤十石

糸高のかけ

八十三斤十石

三石百二十斤

糸高のかけ

八十一斤九石三石

糸高のかけ

九十二斤九石一石

二石百二十斤十石六石

糸高のかけ

九十一石三石六石

糸高のかけ

九十七斤一石一石

十八斤九石三石

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ

糸高のかけ



△百のふりてし 第九下時小治 拾三書出百回と

ふひめとつらか 母之書入百回と 寸時ふ

る合於入書目あり

母のていじ 於石有 北百に於や書

えんらんハ 於石有 ハたつ也

身の内しなるのつる 九拾目合也

たて於入書目せえんらんつらにて

身ふりてつてそことつ書ふ

十百於石入書目ハ也

まゝ 九拾目合也 拾三書入書目ハ也

小百等目合也 此れをたふとすてつてつる本書也

とあまてけいひつる九拾目合也 十五書九百

拾三書とてたの昔入書目せしこれ七百

十六石入書目とすつる也

又ののつらりか 母之書入百回とすは書

ふりてつてつてつてつてつてつてつてつて

れ百せ於石入書目ハ也

ちて七百於石入書目ハ也

八七又三とすこれと流す事ハ書目とすは

小百せし石入書目とすこれ





見出し 拾他の事

大卒ハる  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保

久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保

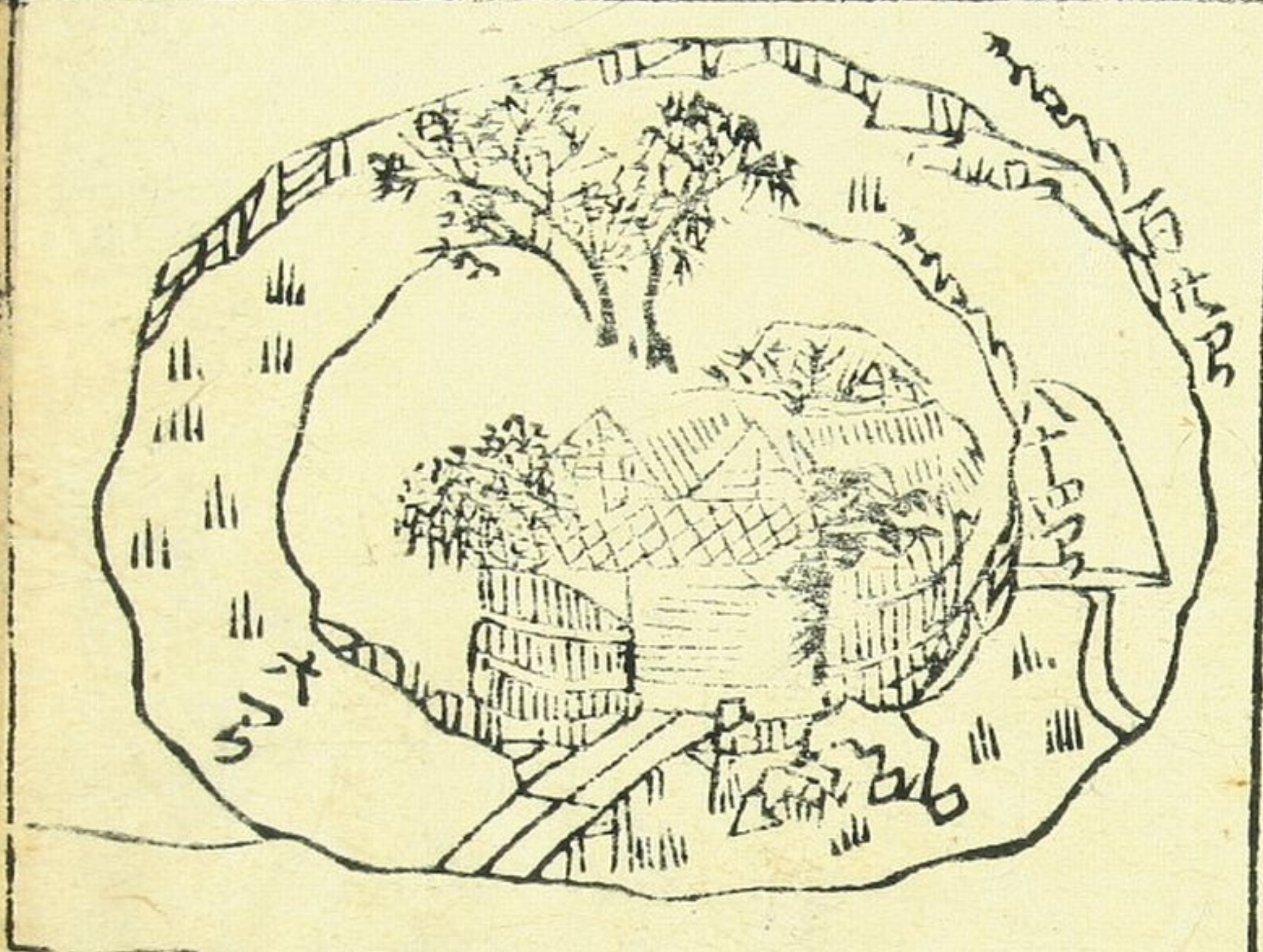
大卒ハる  
久保

久保  
久保  
久保  
久保  
久保

久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保

久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保

久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保



久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保  
久保









此の丸は...  
 十...  
 二十...  
 三十...

○二反...  
 九...  
 二...

○六...  
 九...

...  
 ...

...  
 ...



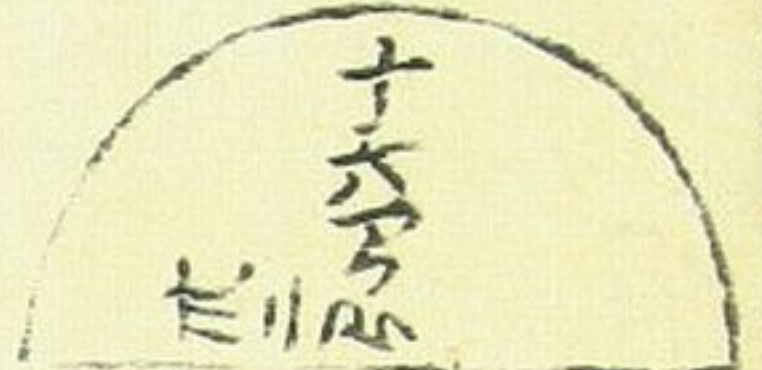
...  
 ...

○五...  
 九...  
 七...

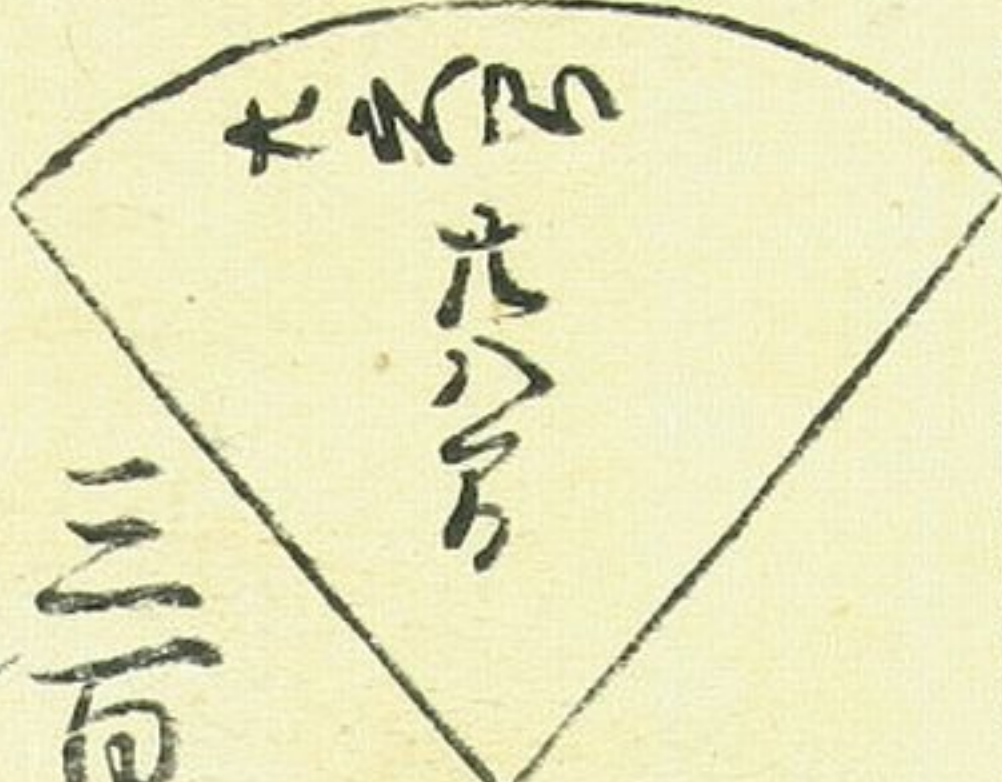
...  
 ...



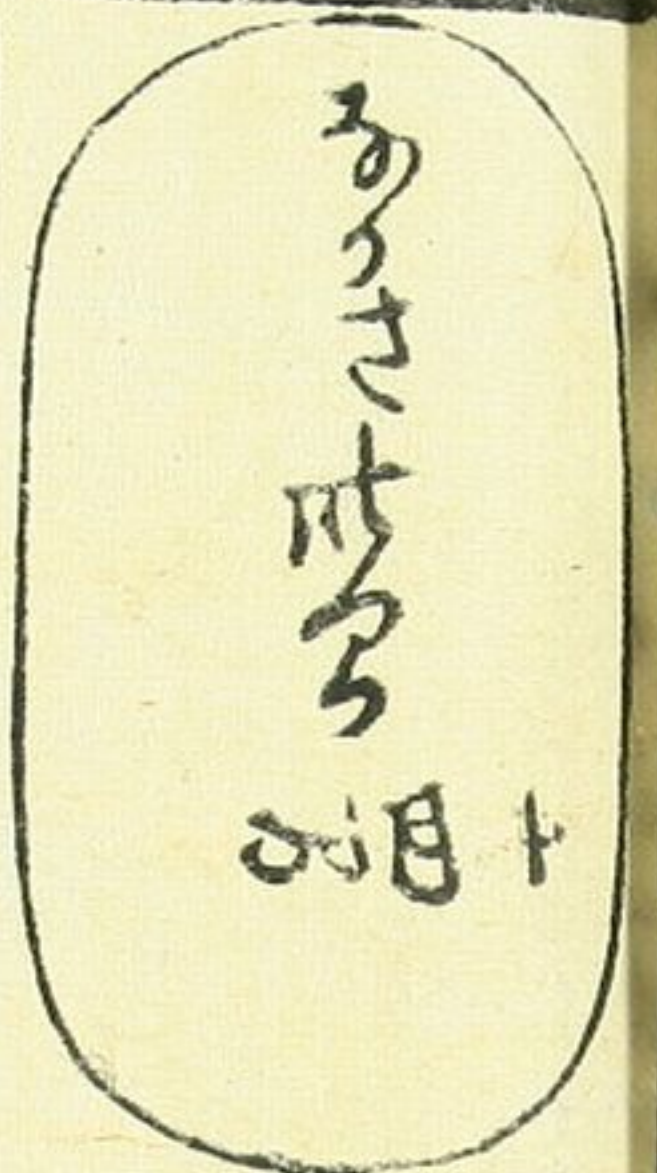
...  
 ...



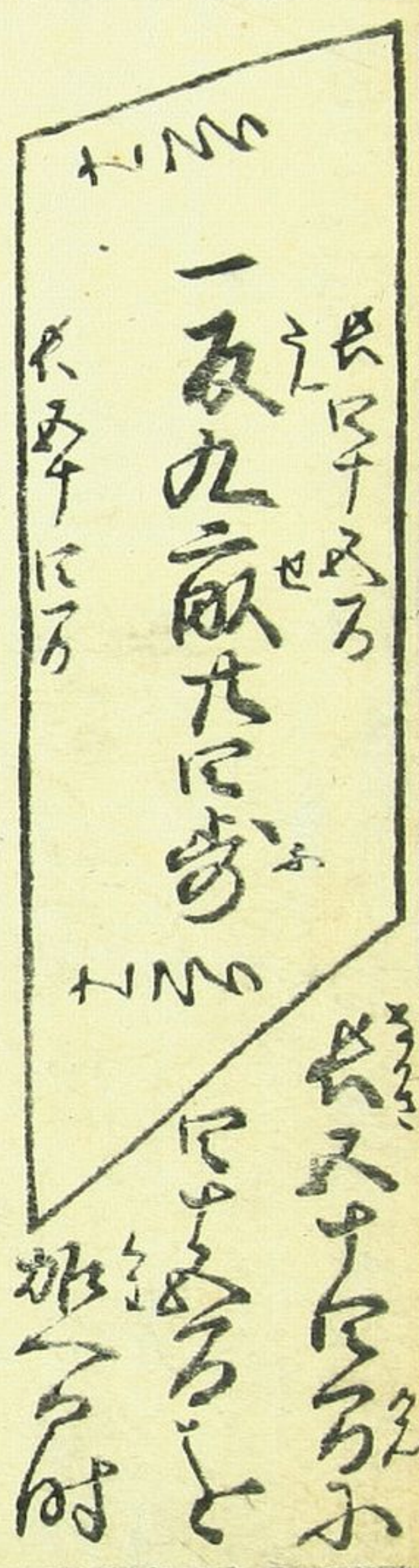
○一及三敵十に於に分り  
長木二るあよこ十さるよか九音  
十二降し敵これあせ九よか九百  
四降に分りし敵これよ二百降よて  
一及三敵十に於に分りし敵也



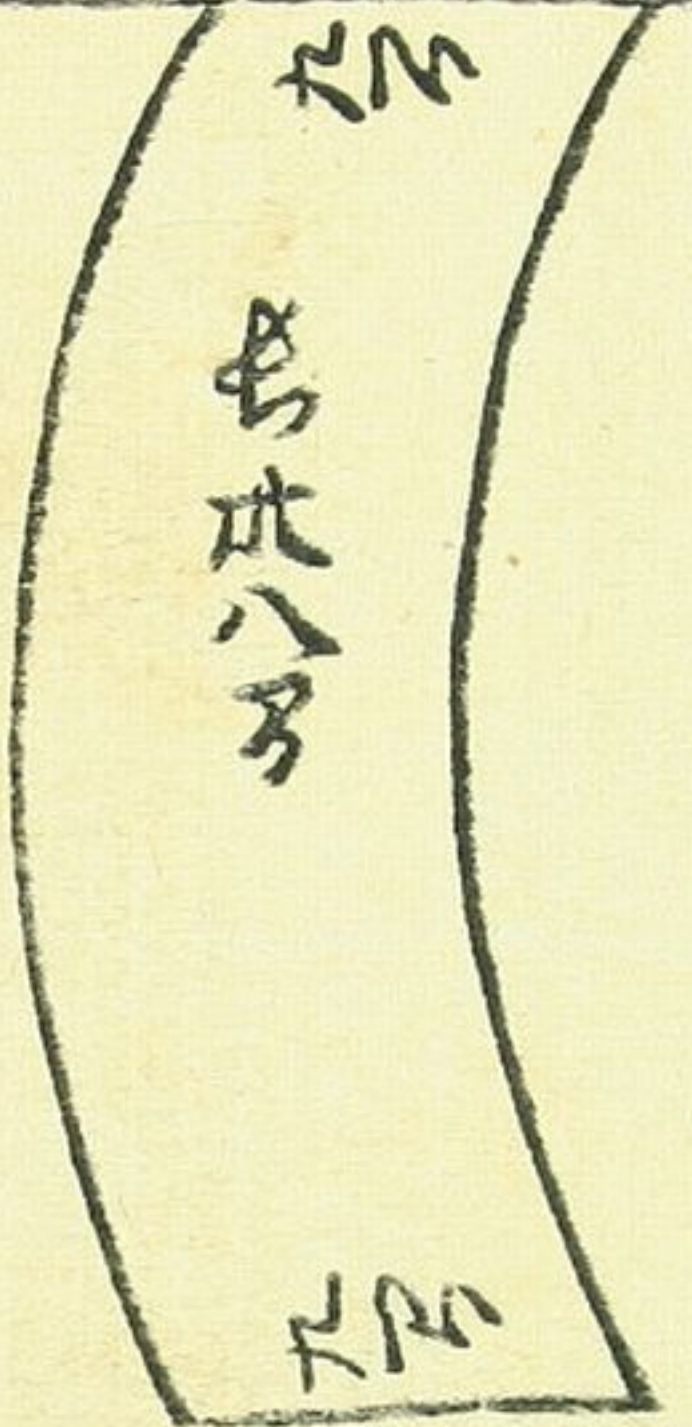
○一及二敵に於  
よこ九さるよ二つよこれた三  
るよ敵これと九八るよか九  
三百六十降し敵これと二百降よ



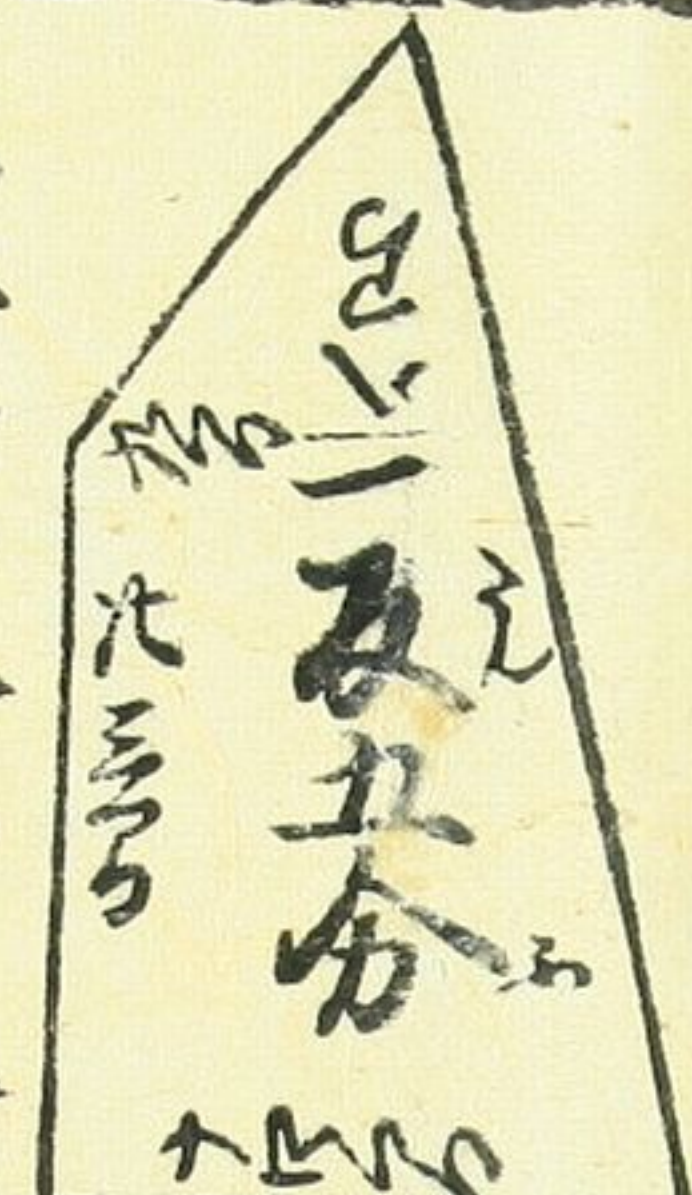
○一及三敵十が八分り  
あつさ時字 日十  
長木のゆよさる  
八降りて十さるよこれよさるよか九音  
九降し敵これと九よべらよ五又たよ  
るよ九八るよよか九九よ敵これよ  
九よか九百よ十降八分りし敵これよ  
九百九降よ加し時よ三百六十降八分  
りし敵これよ三百降よてこれ一及二敵  
十八が八分りし敵也



長九の角と長八の角と  
 一及九 二及八  
 三及七 四及六  
 五及五 六及四  
 七及三 八及二  
 九及一



長九の角と長八の角と  
 一及九 二及八  
 三及七 四及六  
 五及五 六及四  
 七及三 八及二  
 九及一



長九の角と長八の角と  
 一及九 二及八  
 三及七 四及六  
 五及五 六及四  
 七及三 八及二  
 九及一

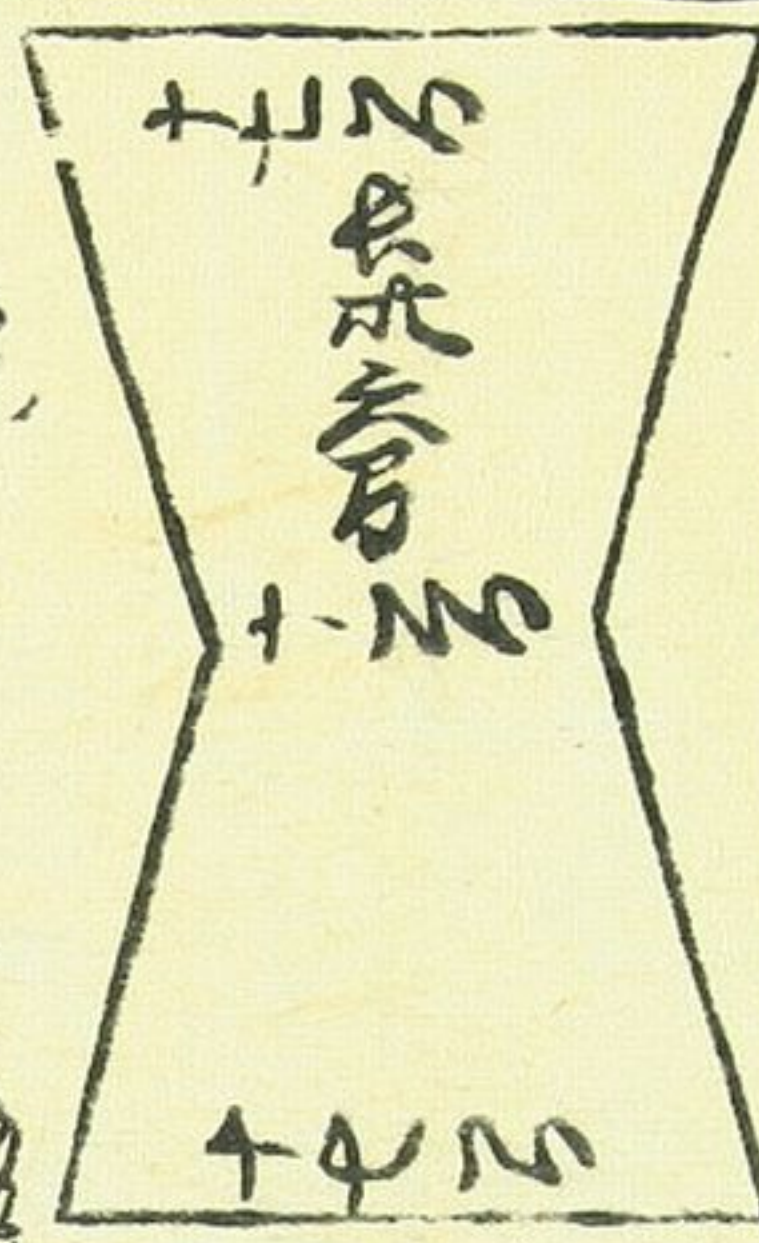


長九の角と長八の角と  
 一及九 二及八  
 三及七 四及六  
 五及五 六及四  
 七及三 八及二  
 九及一

一及三敵十五時

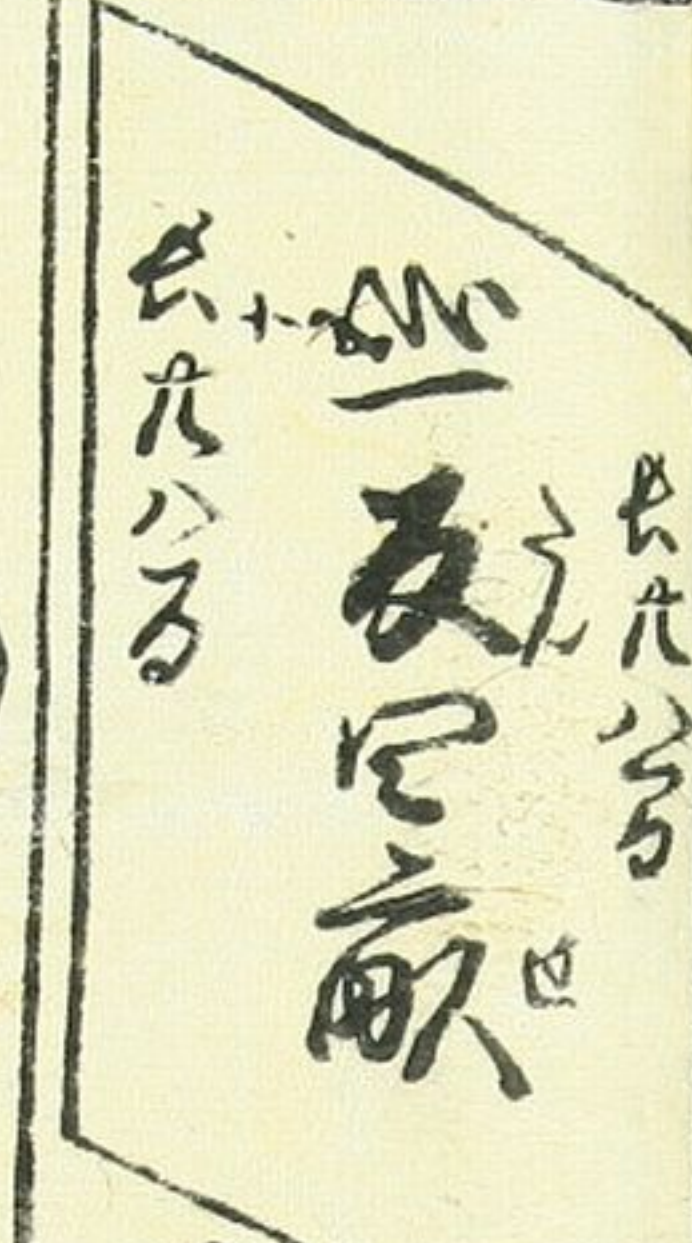
長九の角小又とる  
と此の時小字十  
又る敵これと二口也

長九の角小又とる  
と此の時小字十  
又る敵これと二口也

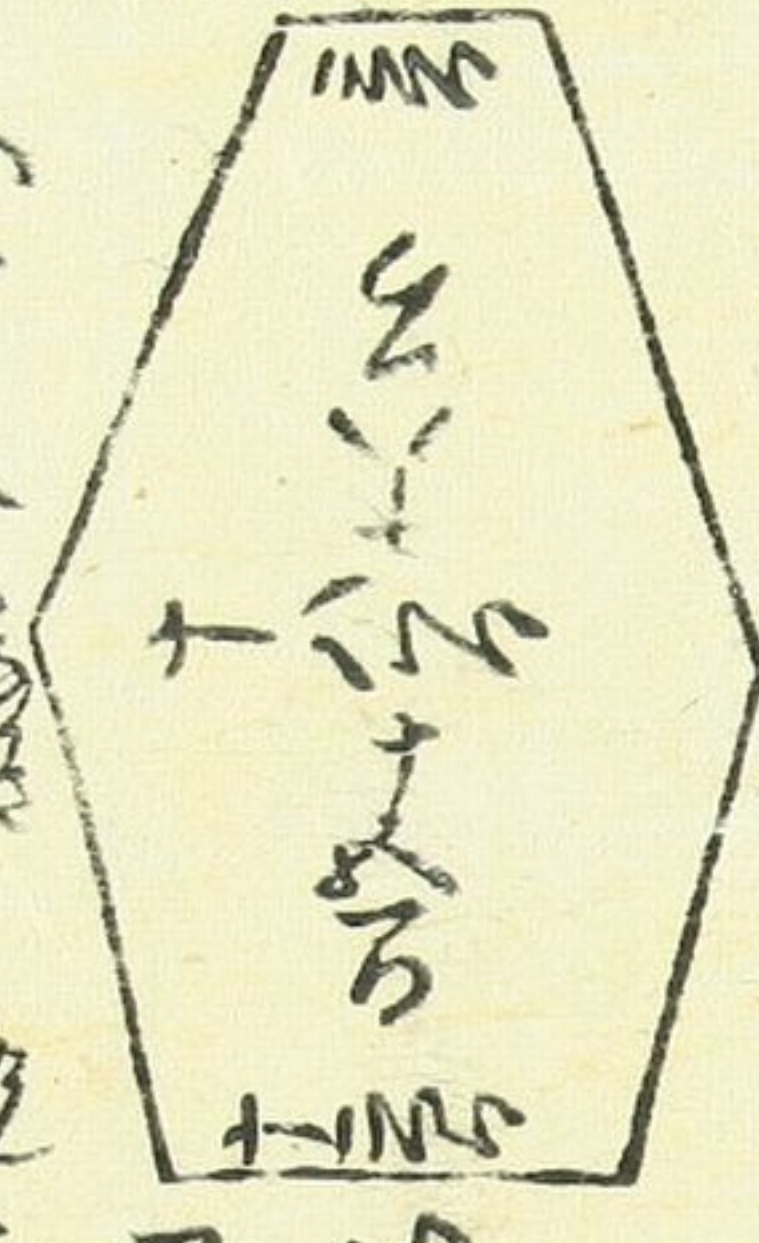


一及六敵六時  
是とる小とると然の時  
九とる敵これと二口也

長九の角小又とる  
と此の時小字十  
又る敵これと二口也



一及三敵九時  
是とる小とると然の時  
九とる敵これと二口也



長九の角小又とる  
と此の時小字十  
又る敵これと二口也



十九百

二反四取たあ

六五十五百

又又百十九百と取て  
百百百成三つとれた本  
百百成二つとれた本  
百百成二つとれた本

かたは百百成二つとれた本  
百百成二つとれた本  
百百成二つとれた本

三

六五のり

三

三

〇一及二取たあ

成五五五のりと成て百三  
成五五のりと成て百三  
成五五のりと成て百三

のりあお加ていあお成て  
のりあお加ていあお成て  
のりあお加ていあお成て

二取たあ  
二取たあ  
二取たあ

二取たあ  
二取たあ  
二取たあ

〇二取たあ

二二二二二二二二二二

二二二二二二二二二二

二二二二二二二二二二

二二二二二二二二二二  
二二二二二二二二二二  
二二二二二二二二二二

二二二二二二二二二二  
二二二二二二二二二二  
二二二二二二二二二二

百得たあ  
百得たあ  
百得たあ

〇二取たあ

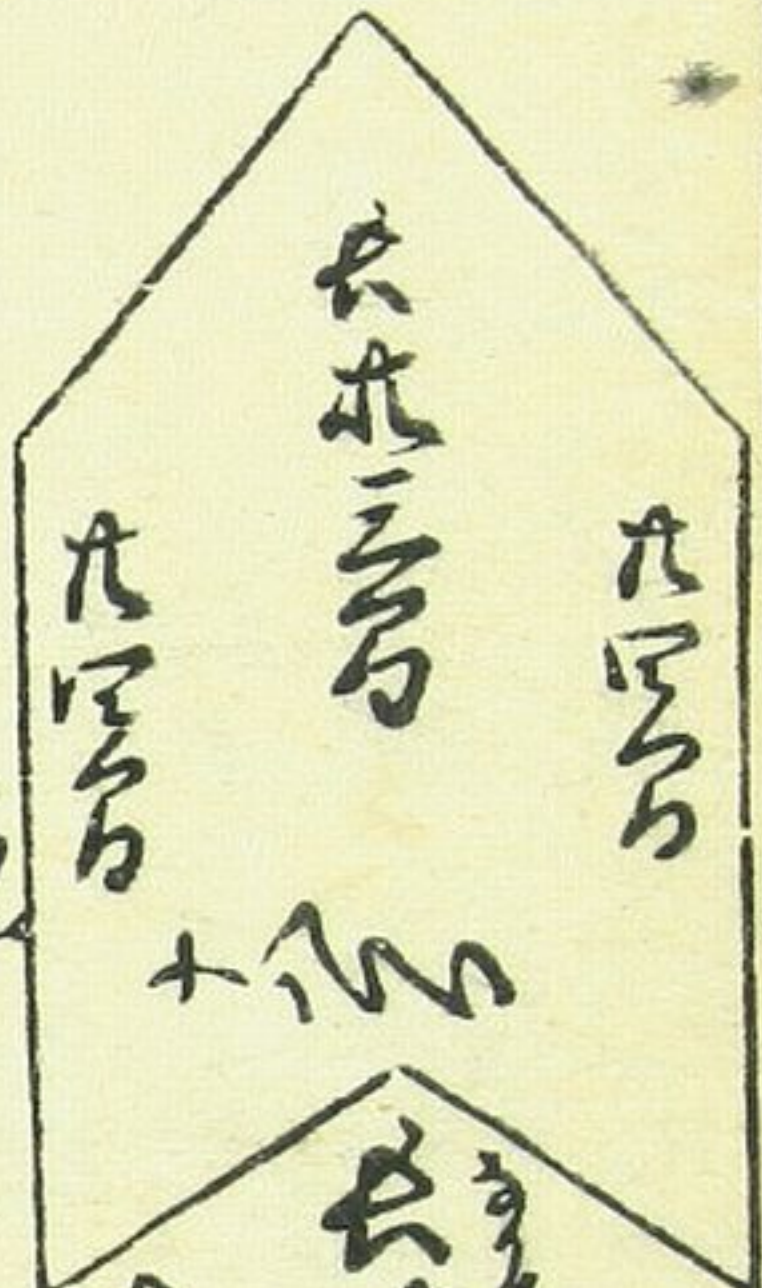
二二二二二二二二二二

六五十五百

百百成二つとれた本

ふあれ百三取たあこれと二  
ふあれ百三取たあこれと二  
ふあれ百三取たあこれと二

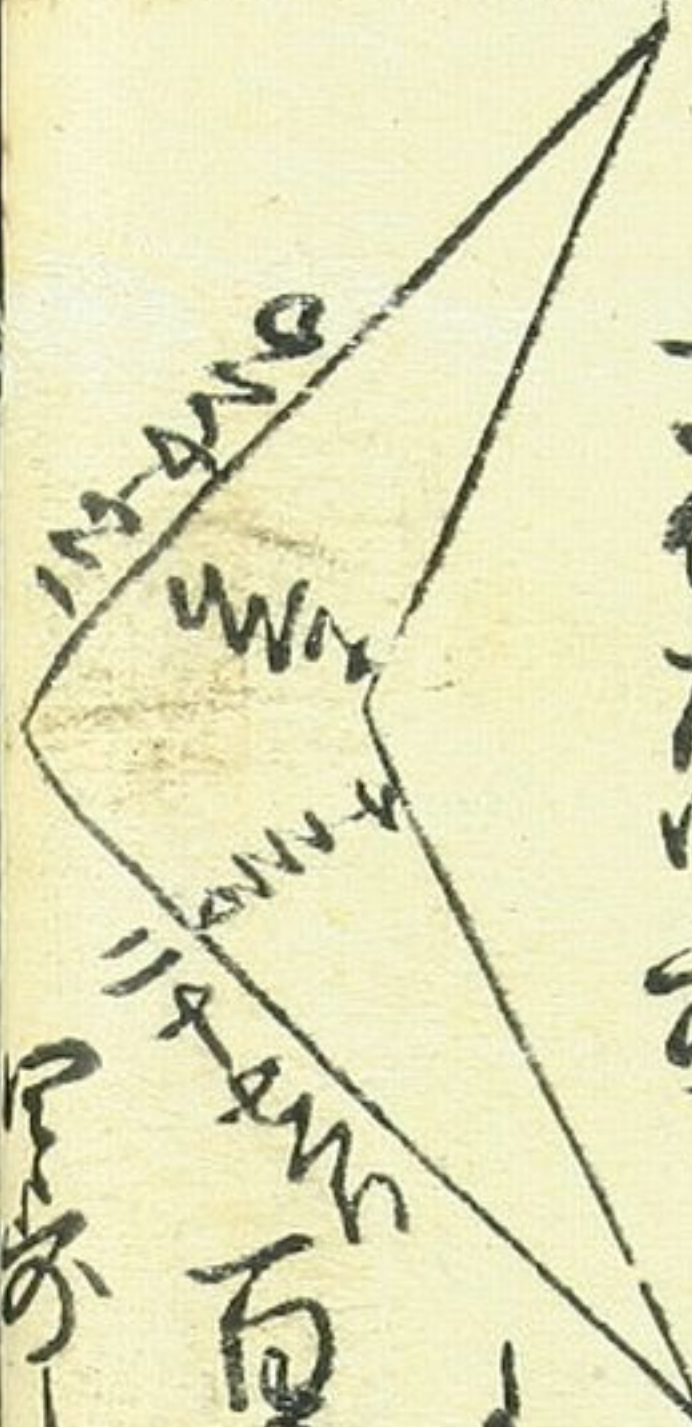
てこれと二取たあ  
てこれと二取たあ  
てこれと二取たあ



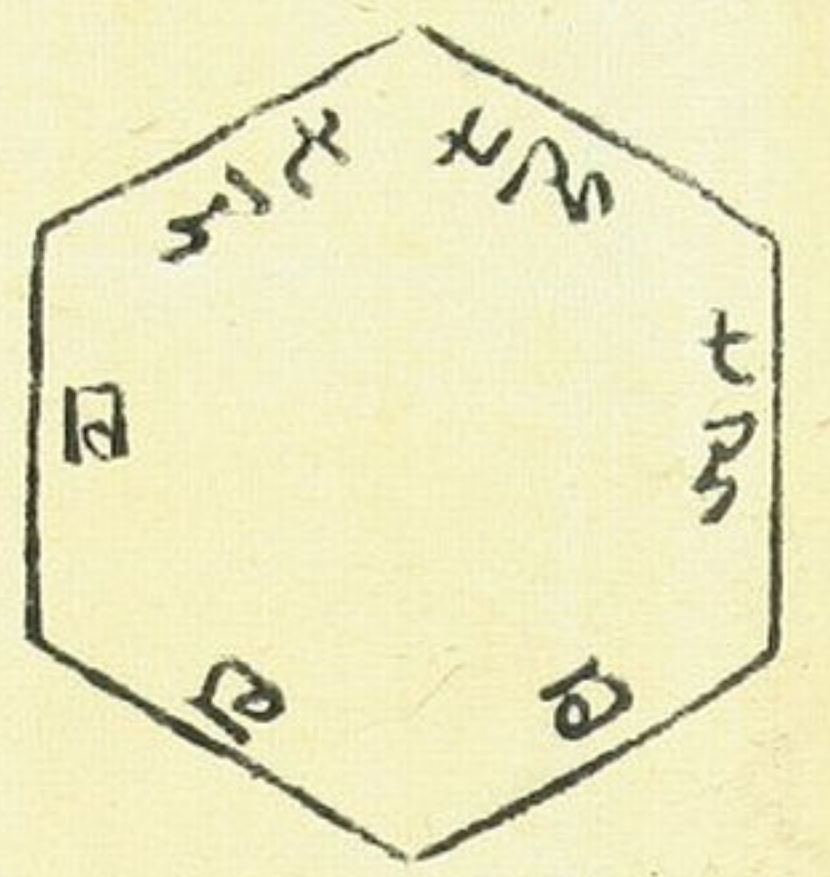
○一及七敵三歩  
 長九三歩九と加へ  
 十七歩九と加へ

長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ

○一及九敵三歩



○一及九敵三歩  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ

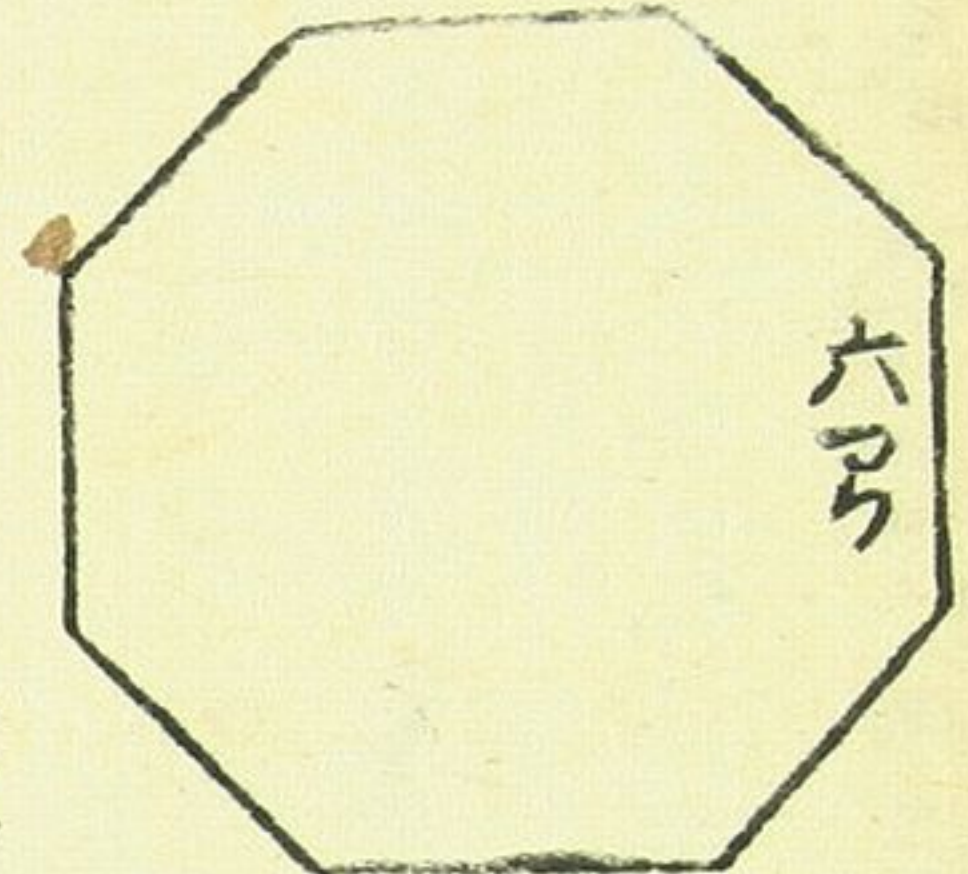


○一及九敵三歩  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ

○百歩七敵三歩

長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ

長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ  
 長九三歩と加へ  
 十七歩と加へ



八角の作りて三言  
わら時山に敷きおれわら  
れといふ時小

○百七格三解金言

中つさぶるとんたふときてかれ  
は三六とぬこれふ二とかれれ  
七二とぬこれふ八角の法に二に  
れとつらしてたさふ二とかれの百七  
十と解の金三つとさるる也



時り物事の事

△二七前ふの時斗の三三三三三三三三  
ふしてたさふとあつとさつと時

は石の味とさふ

△二七前ふとたふとさふ三三三三三三三三

△九及三前九一歩ふ時三三三三三三三三

後字石の味とさふ

△九及三前九一歩とたふとさふ三三三三三三  
と九及三前七とぬとたさふ三三三三三三  
と九及三前七とぬとたさふ三三三三三三

△三万の百を名に物たる時  
この時たるは物たるなりといふ時

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

△三万の百に終るなり

景

景

△ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す

△ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す

△ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す  
 △ 右方より右に終るを記す

△又中身ははなまき光二世方より百廿五の年と

と考へていま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

と考へていま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

如き

如き

如き

如き

左より百廿五の年といふと

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

△いま年より百廿五の年といふと

はなまき光の御代に百廿五の年といふ

又此年三月廿六日八日所記の事  
は、  
とらりしゆりあるをいふ時ふ

又二二日と記すは、  
は、

之の八百五十九日と記すは、  
は、

一石府の事と記すは、  
は、

八石府の事と記すは、  
は、

古ふ八石府の事と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△此の百七十九日と記すは、  
は、

△ 平次 終六不半 卒空空の時一石月  
成多のこく角ありて 派去他尸時去  
に足足凡小派凡小派ありしとくの時  
派又百終又去去分三り也

未	斗	石	千	下	八
二五十一	二八十二	二六十一	一二二	下	六
下	六	石	十	五百	
二七九一	二八九六	一一一三	三七九一	一三三三	

二六

二角の... 角の... 角の...

△ 二角の... 角の... 角の... 角の... 角の...

△ 一角の... 角の... 角の... 角の... 角の... 角の...

△ 一角の... 角の... 角の... 角の... 角の... 角の... 角の... 角の...



角ひるまは河原へおてあそびていふ時

此の角 けだらやと守り角 守り角 三つに

守りてはたしあきかくれをいふおきる

ふかえら九二とあそびて甲よのれ三つに

あそびらあそびていたあそびてあそびて

いふとあそびてあそびてあそびてあそびて

いふとあそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

あそびてあそびてあそびてあそびて

塵三

六三

△三十角の形を三三〇は松本府守角

取し如く時守角三三〇は松本府守角

よりその時三三〇は松本府守角

守角

九松本府

守角

一守角

之守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角と松本府守角三三〇は松本府守角

守角

守角

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

長六尺三寸三分

長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分

△<sup>唐</sup>寺角 長六尺三寸三分 長六尺三寸三分





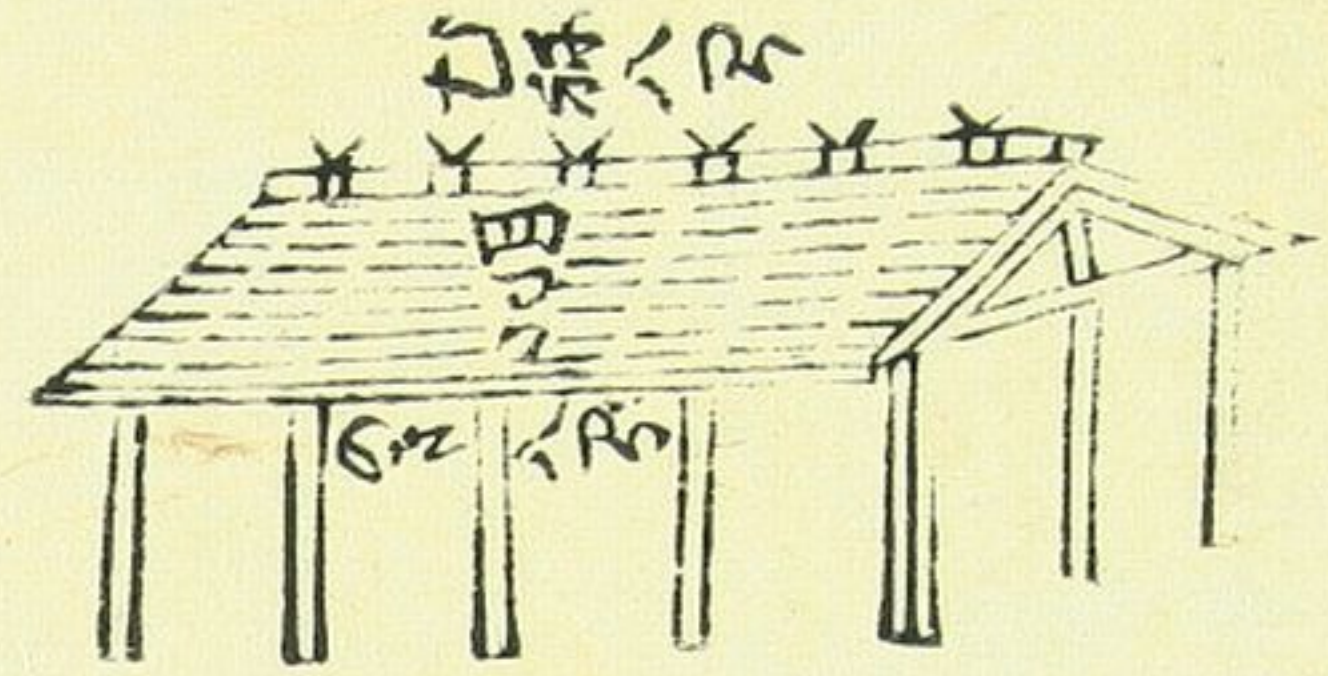
作<sup>レ</sup>き<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>半<sup>レ</sup>ま<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>て<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>  
ら<sup>レ</sup>一<sup>レ</sup>時<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>ち<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>て<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>  
る<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>

二<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>き<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>  
か<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も

一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も  
ら<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も  
あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も  
あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も

- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も
- △ 一<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>め<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>も

屋敷のき板のりし事



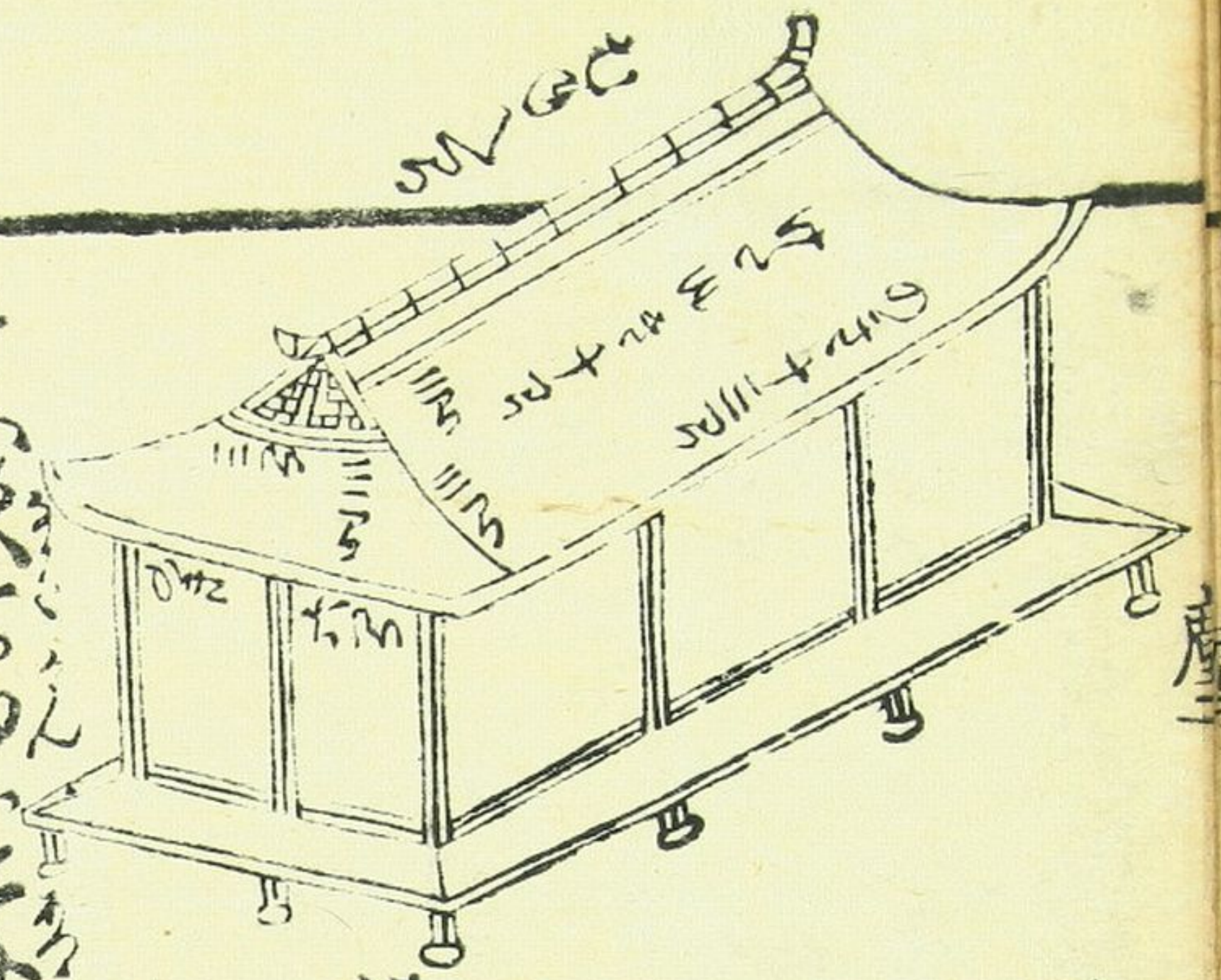
は降敷ぬらして通し平に降し  
こけしきよめてき板を敷  
合とて海子のきおてしす  
申おしてすきわらじのよて  
わごねり合しすきわらじ  
板のりし守り板おて板敷  
何程入そとりの海子

板敷  
六方合令八十板八分

のりしきよめてしすきわらじ  
みんぬらめてたきしすきわらじ  
合令八板八分入とすきわらじ

△月右平定降敷のりしき板のりし  
一すきわらじの板敷おてしすきわらじ

九方合百三板二板三分入とす  
と何し又おてしすきわらじのりし  
たよし板のりしきよめてしすきわらじ  
合令百三板三分入とす



建

九

は降敷なみなりし

りし時よ

たきのあつて

あのみり共なる

いふたは城に分る

のまのあつて

とんたつるおなま

こといふいぬ

ひたなるの

る名は

三層と

るまか

あつて

おなま

たなる

可敷の

いふ

建

九



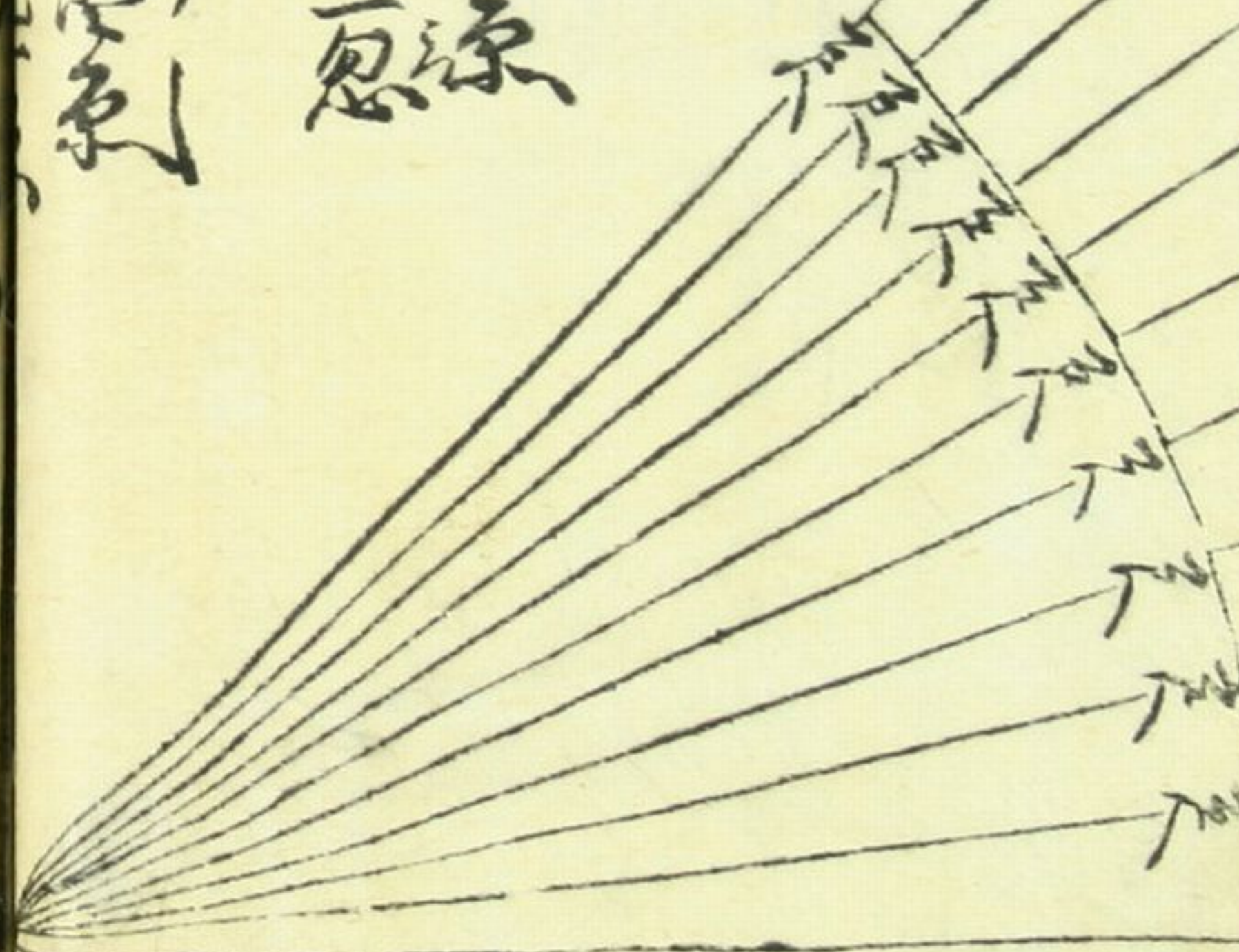
糸

三

のりびん

一	糸
二	糸
三	糸
四	糸
五	糸
六	糸
七	糸
八	糸
九	糸
十	糸

又分 一ノ二毛糸  
 一寸分 一ノ二毛糸  
 二寸分 二ノ三毛糸  
 三寸分 三ノ四毛糸  
 四寸分 四ノ五毛糸  
 五寸分 五ノ六毛糸  
 六寸分 六ノ七毛糸  
 七寸分 七ノ八毛糸  
 八寸分 八ノ九毛糸  
 九寸分 九ノ十毛糸  
 一寸一分 一ノ二毛糸



直好  
之考

のりびんの糸の  
 一寸分 一ノ二毛糸  
 二寸分 二ノ三毛糸  
 三寸分 三ノ四毛糸  
 四寸分 四ノ五毛糸  
 五寸分 五ノ六毛糸  
 六寸分 六ノ七毛糸  
 七寸分 七ノ八毛糸  
 八寸分 八ノ九毛糸  
 九寸分 九ノ十毛糸  
 一寸一分 一ノ二毛糸

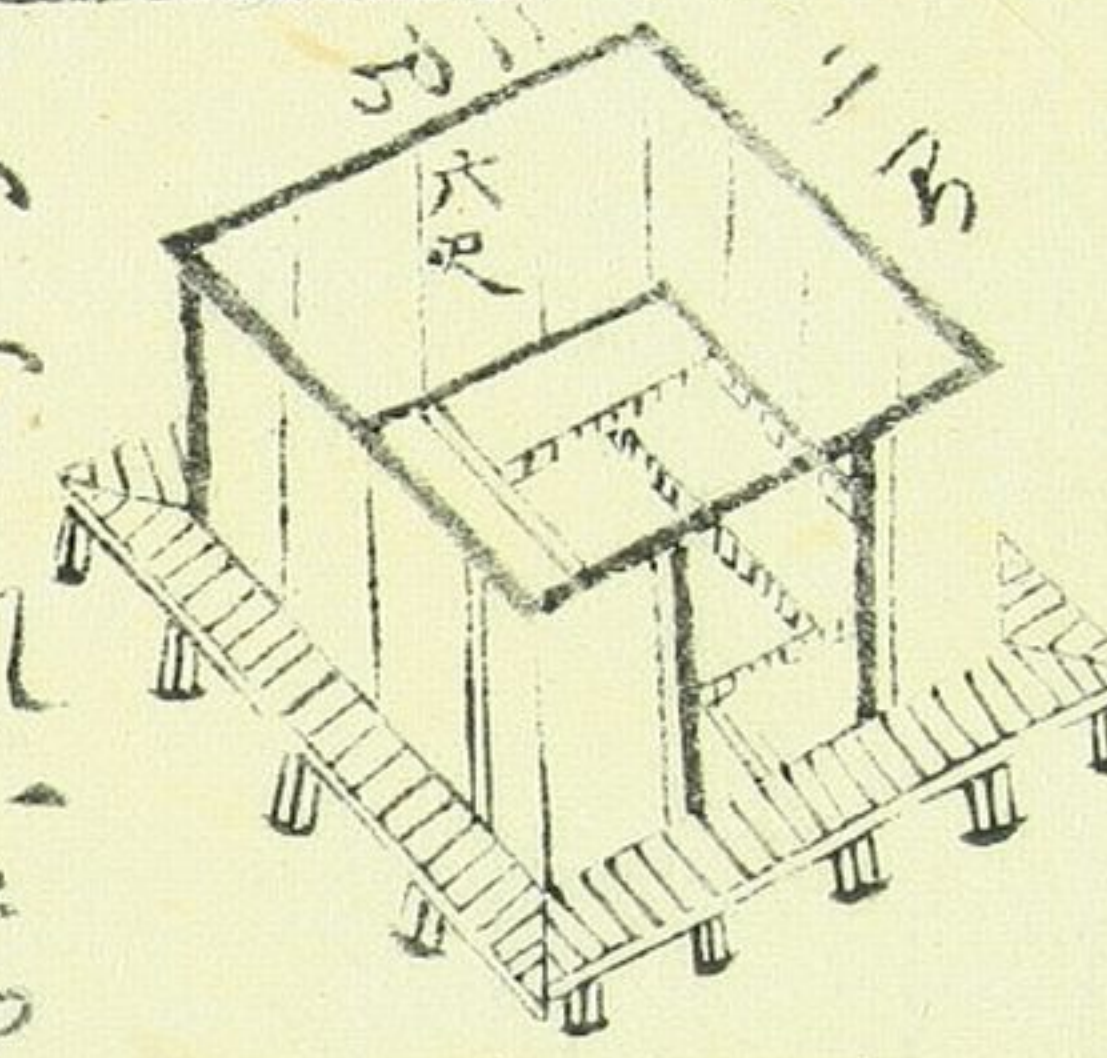
三



△江戸郡三谷村に在りては金の蔵に於ては

一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時



一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時

△金蔵の百板有 新松林の時

一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時

△金蔵の百板有 九板あるの蔵に

一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時

一層ありて入りしころは時



Handwritten characters arranged in columns on the upper portion of both pages. The characters are written in a highly stylized, cursive script. The right page shows the characters 三寸六分 (Sanjun roku-bun) and 三寸 (Sanjun) at the top of the column.

Handwritten characters arranged in columns on the lower portion of both pages. This section contains more complex characters and numerical values, such as 寸 (Sun), 分 (Bun), and 寸分 (Sun-bun), often followed by numerical coefficients like 百 (Hyaku), 十 (Ju), or 九 (Ku). The characters are arranged in vertical columns across the width of both pages.

寺七分百

寺一十百

寺一分百

寺七廿百

寺五分百

寺五廿百

寺一分百

寺六廿百

寺九分百

寺七廿百

寺五分百

寺八廿百

寺一分百

寺九廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺一分百

寺一十廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺五分百

寺一十廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺一分百

寺一十廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺五分百

寺一十廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺一分百

寺一十廿百

寺九分百

寺一十廿百

寺五分百

寺一十廿百

塵二

三子九分 百

三子二分 百

三子一分 百

三子二分 百

三子三分 百

三子四分 百

三子五分 百

三子六分 百

三子七分 百

三子八分 百

三子九分 百

三子十分 百

三子十一分 百

三子十二分 百

三子十三分 百

三子十四分 百

三子十五分 百

三子十六分 百

三子十七分 百

三子九分 百

三子二分 百

三子一分 百

三子二分 百

三子三分 百

三子四分 百

三子五分 百

三子六分 百

三子七分 百

三子八分 百

三子九分 百

三子十分 百

三子十一分 百

三子十二分 百

三子十三分 百

三子十四分 百

三子十五分 百

三子十六分 百

三子十七分 百

共六





三寸七分 百  
三寸六分 百  
三寸五分 百  
三寸四分 百  
三寸三分 百  
三寸二分 百  
三寸一分 百  
三寸 百

三寸

三寸七分 百  
三寸六分 百  
三寸五分 百  
三寸四分 百  
三寸三分 百  
三寸二分 百  
三寸一分 百  
三寸 百  
九寸一分 百  
九寸二分 百  
九寸三分 百  
九寸四分 百  
九寸五分 百  
九寸六分 百  
九寸七分 百  
九寸八分 百  
九寸九分 百  
九寸 百

三寸七分 百  
三寸六分 百  
三寸五分 百  
三寸四分 百  
三寸三分 百  
三寸二分 百  
三寸一分 百  
三寸 百

三寸

三寸七分 百  
三寸六分 百  
三寸五分 百  
三寸四分 百  
三寸三分 百  
三寸二分 百  
三寸一分 百  
三寸 百  
九寸一分 百  
九寸二分 百  
九寸三分 百  
九寸四分 百  
九寸五分 百  
九寸六分 百  
九寸七分 百  
九寸八分 百  
九寸九分 百  
九寸 百



學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆

學如新如筆



才一  
 才二  
 才三  
 才四  
 才五  
 才六  
 才七  
 才八  
 才九

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十

一 才一ののつり  
 二 才二ののつり  
 三 才三ののつり  
 四 才四ののつり  
 五 才五ののつり  
 六 才六ののつり  
 七 才七ののつり  
 八 才八ののつり  
 九 才九ののつり  
 十 才十ののつり



才十 ますの法はの法は  
 才九 宗しゅうの法はの法は  
 才八 比ひの法はの法は  
 才七 比ひの法はの法は  
 才六 比ひの法はの法は  
 才五 比ひの法はの法は  
 才四 比ひの法はの法は  
 才三 比ひの法はの法は  
 才二 比ひの法はの法は  
 才一 比ひの法はの法は  
 才十 比ひの法はの法は

才一

才一 比ひの法はの法は  
 才二 比ひの法はの法は  
 才三 比ひの法はの法は  
 才四 比ひの法はの法は  
 才五 比ひの法はの法は  
 才六 比ひの法はの法は  
 才七 比ひの法はの法は  
 才八 比ひの法はの法は  
 才九 比ひの法はの法は  
 才十 比ひの法はの法は

才一

男おとこの百七拾ひゃくしちじゅうの法はの法は

三男シラ 小百の後世シラ 八百シラ 後世シラ

二女 百武後シラ 二百シラ 後世シラ

一男 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ

一男 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ

一男 百武後シラ 二百シラ 後世シラ

小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ  
シラ 小百武後シラ 二百シラ 後世シラ

いふ人の子もふもふをゆつる時か  
のころきりのりいまやしくおつたの  
まゝふれしと云ふ時

九又歳 小百六の石年をひかへて

九又歳 小百六の石年をひかへて

九又歳 小百六の石年をひかへて

九又歳 小百六の石年をひかへて

九又歳 小百六の石年をひかへて

九又歳 小百六の石年をひかへて

は日兄より二男の二年前の兄より三男の  
年より兄より二年前の兄より三男の  
とて年より兄より二年前の兄より三男の  
しり事より二年前の兄より三男の  
兄より二年前の兄より三男の  
を越へし時より二年前の兄より三男の  
をよきとかけしてはよきとかけしてはよき  
とすし又二男の兄より二年前の兄より三男の  
と成るれと二男の兄より二年前の兄より三男の  
二男の兄より二年前の兄より三男の

第二

大工小出科と申下りあはせり候

上更工五百疋格

中 子百人

下 八百疋人

合式五百人

大工兼五百疋格候上り

申上り候中より

下り候上り候

上り候上り候

上更人 軍八百疋人

中更人 軍八百疋人

下更人 軍八百疋人

上五百人 兼式格五百人

中五百人 兼式格五百人

下五百人 兼式格五百人

五

五



はみ之申<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>か<sup>カ</sup>れ<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
必<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>人<sup>カ</sup>が<sup>カ</sup>れ<sup>カ</sup>松<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>五<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
然<sup>カ</sup>る<sup>カ</sup>時<sup>カ</sup>小<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
て<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>松<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>二<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>人<sup>カ</sup>を  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

第

東村の音<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

此分<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>西<sup>カ</sup>村<sup>カ</sup>八<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>上<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>  
<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>と<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>下<sup>カ</sup>音<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

西<sup>カ</sup>村<sup>カ</sup>三<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

東<sup>カ</sup>村<sup>カ</sup>四<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>合<sup>カ</sup>年<sup>カ</sup>必<sup>カ</sup>之<sup>カ</sup>分<sup>カ</sup>又<sup>カ</sup>百<sup>カ</sup>石<sup>カ</sup>七<sup>カ</sup>斗<sup>カ</sup>

ふいふとあつた六百卒を討つたのも  
引越して六松を討つたのも  
これ討つたのも八百を討つたのも  
この事と云うても  
分ありこれあてしるあ

巻之

△この又百石を二の上村の  
七平石下村の  
三村して地小平石  
△この又百石を二の上村の  
七平石下村の  
三村して地小平石

上村の百石

あ本百石格七石四斗五升  
ハワシカセーニ七

中村の百七石

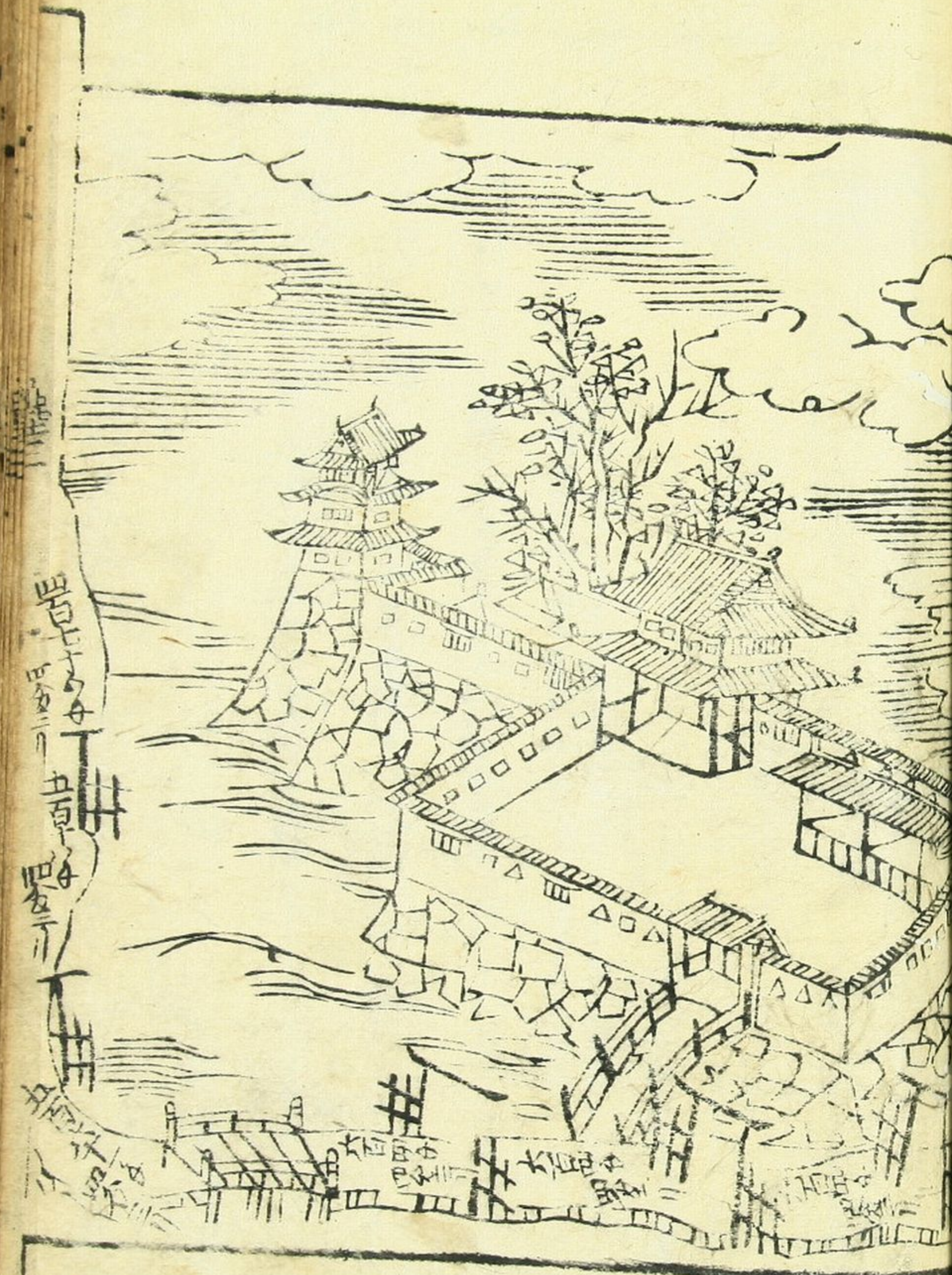
あ本百石八石九斗五升  
ハワシカセーニ七

下村の百三石

あ本百石三石四斗五升  
セワカセーニ七

法小之申村なる首を然家小倉とわかれ三  
石之内五ヶ下村百三石を小倉分とわかれ八  
石之内五ヶ二區を小倉分とわかれ昔松原  
小倉の村百石に家を有るをこれより百石  
少く見れば上村の三ヶをりゆわぬと三ヶ  
にわかれ分計の洋村の百石をりゆわぬと  
又松原六ヶ下村七ヶ五ヶをりゆわぬと三ヶ  
**并力五** 一の八日と申すのりたる  
△一ヶ小倉分松原と費用金はこれ共六日  
十月三日に松原分三ヶのりたる  
て銀一拾二ヶのりたる一ヶのりたる  
そと南七ヶのりたる三ヶのりたる  
銀 六ヶのりたる分三ヶのりたる  
法小七ヶのりたる三ヶのりたる  
三ヶのりたる三ヶのりたる  
一ヶのりたる  
費用百石のりたる  
八ヶのりたる  
十ヶのりたる

△一ヶ小倉分松原と費用金はこれ共六日  
十月三日に松原分三ヶのりたる



Vertical text on the left side of the page, likely a title or descriptive label for the illustration.



Vertical text on the right side of the page, likely a title or descriptive label for the illustration.

Small vertical text or characters located near the top right corner of the page.

Small vertical text or characters located near the bottom right corner of the page.

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、



一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、



一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、



一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

九七

何れもこの事

△じつとくひの事にして  
まゝにまゝいひかゝらるる  
ことの時よ

三町丸の事

三すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事



三町丸の事

三すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事  
すぢりかかひの事



三

十

△月町

一斗 五升 九合 二斗 三升 七合

二斗 一升 三合 三斗 七升 一合

三斗 一升 三合 四斗 七升 一合

四斗 一升 三合 五斗 七升 一合

五斗 一升 三合 六斗 七升 一合

六斗 一升 三合 七斗 七升 一合

七斗 一升 三合 八斗 七升 一合

八斗 一升 三合 九斗 七升 一合

九斗 一升 三合 一石 七升 一合

一石 一斗 三升 二石 七升 一合

二石 一斗 三升 三石 七升 一合

三石 一斗 三升 四石 七升 一合

四石 一斗 三升 五石 七升 一合

五石 一斗 三升 六石 七升 一合

六石 一斗 三升 七石 七升 一合

七石 一斗 三升 八石 七升 一合

八石 一斗 三升 九石 七升 一合

九石 一斗 三升 一石 七升 一合

一石 一斗 三升 二石 七升 一合

二石 一斗 三升 三石 七升 一合





第八

しつゝこの洋敷何れも  
そと云時

百三拾六時

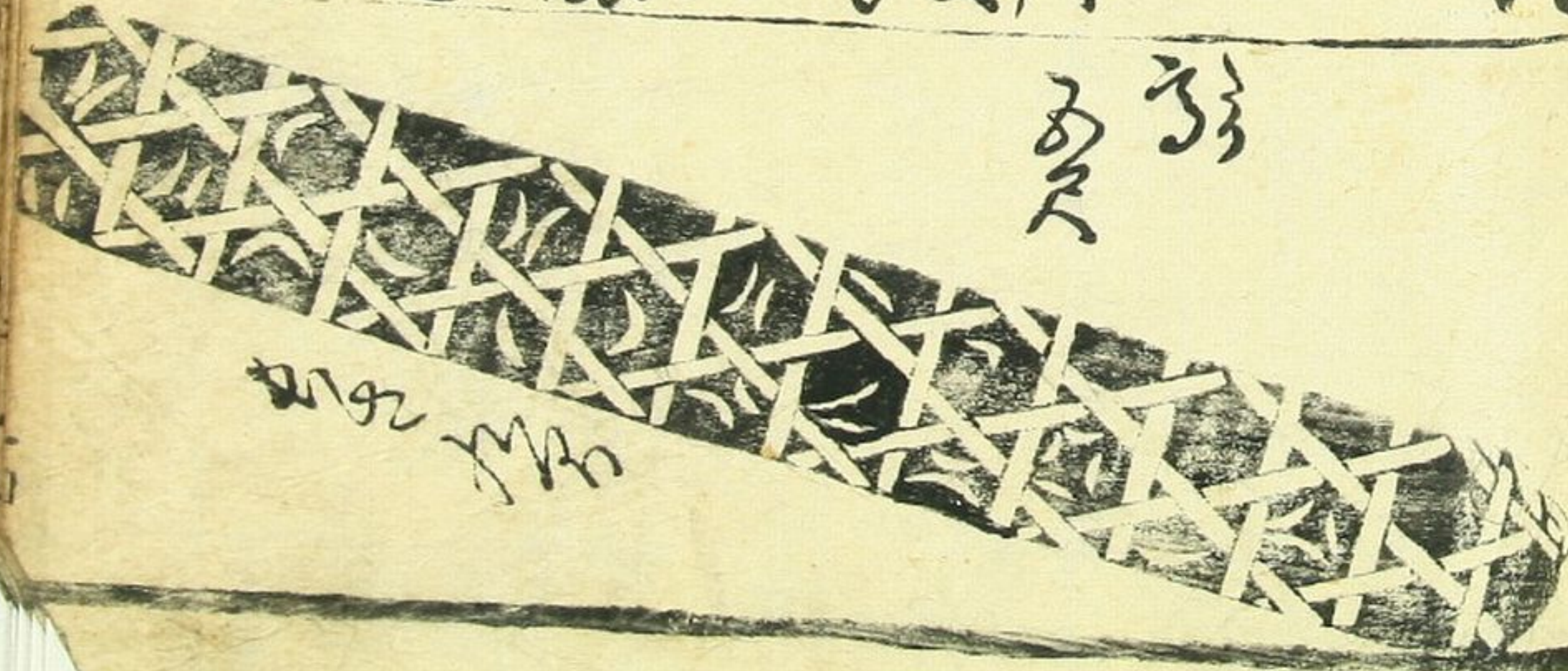
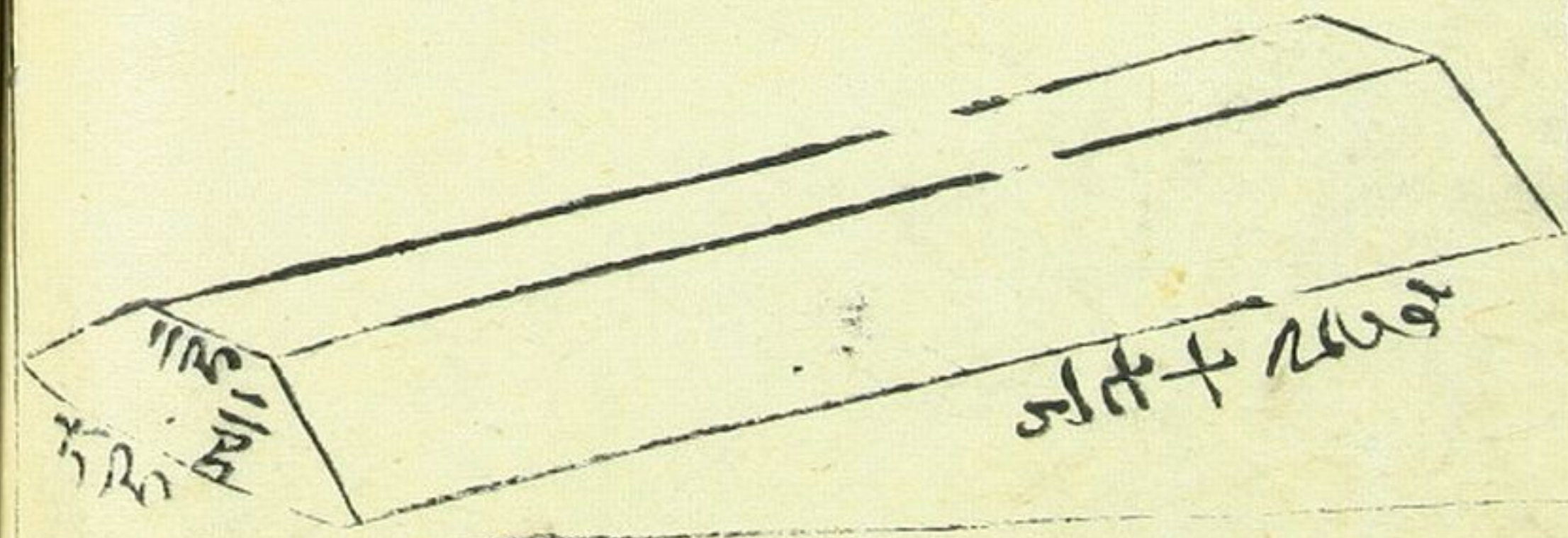
之下のよこさるふらうさる  
さうそへるあまこれと  
みまわらるあまこれおま  
かりかたの洋敷これお十  
せりりとかくれあ百未洋

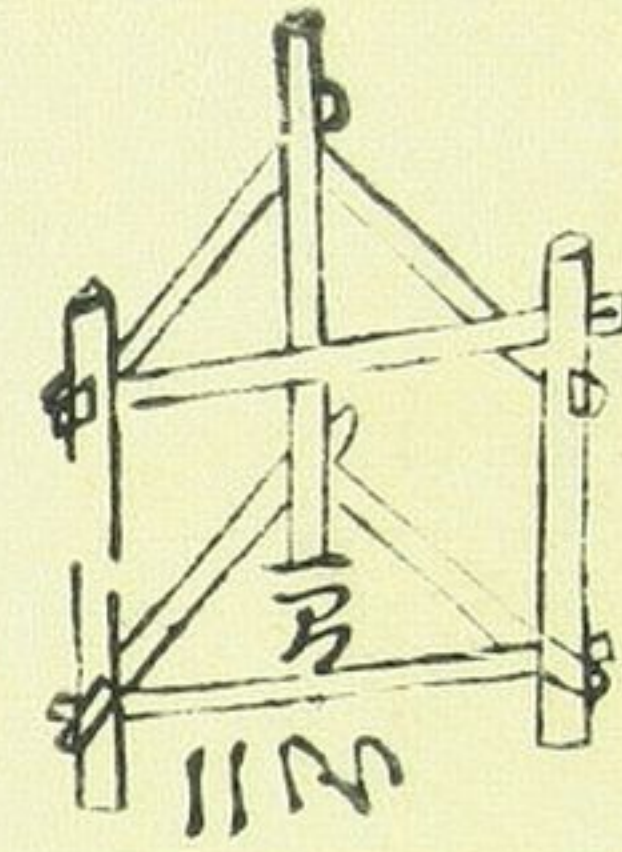
△しつゝこの洋敷何れ  
あろそと云時

洋敷何れと云

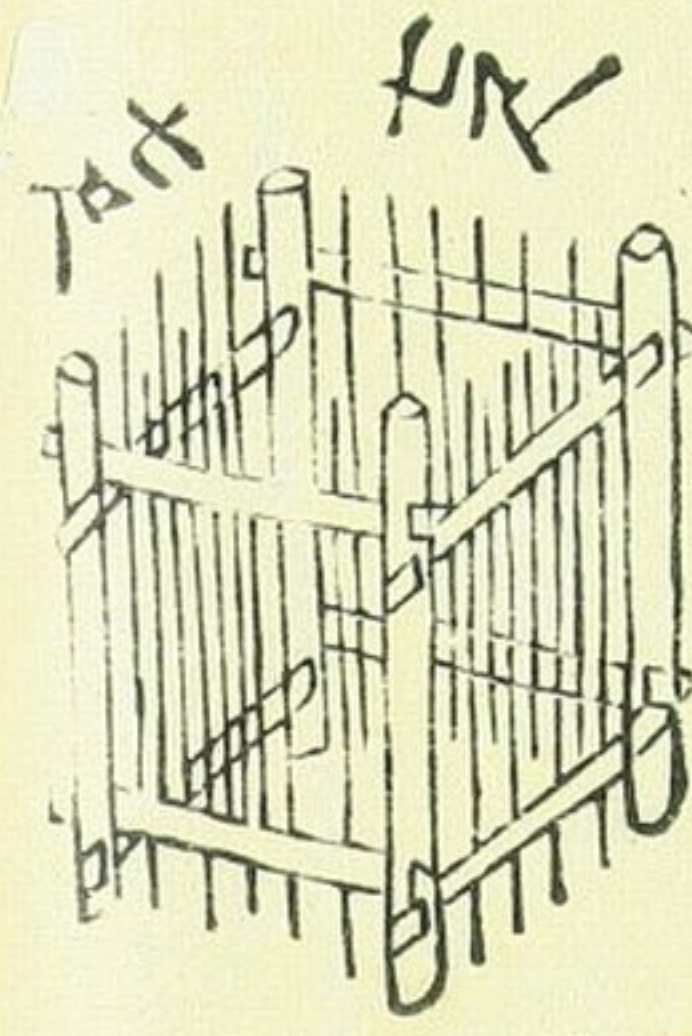
先んずと見おふときかく  
まに二又と云これおま  
七九かたの一九七と云お  
長ぬるよかたの七七七と云  
これとひつあまの法に三を  
ひつとれん洋敷何れと云  
しつゝ

の換の事





き一乃中



き一乃中

△けう用くくは何程

入ると云時

一得中合と云

中一乃とかくは一

得てはかくはかく

の二乃中かくは

一得中合と云

△けう用くくは何程

何程入ると云

時

△一得中合と云

えせんとかくはかくは

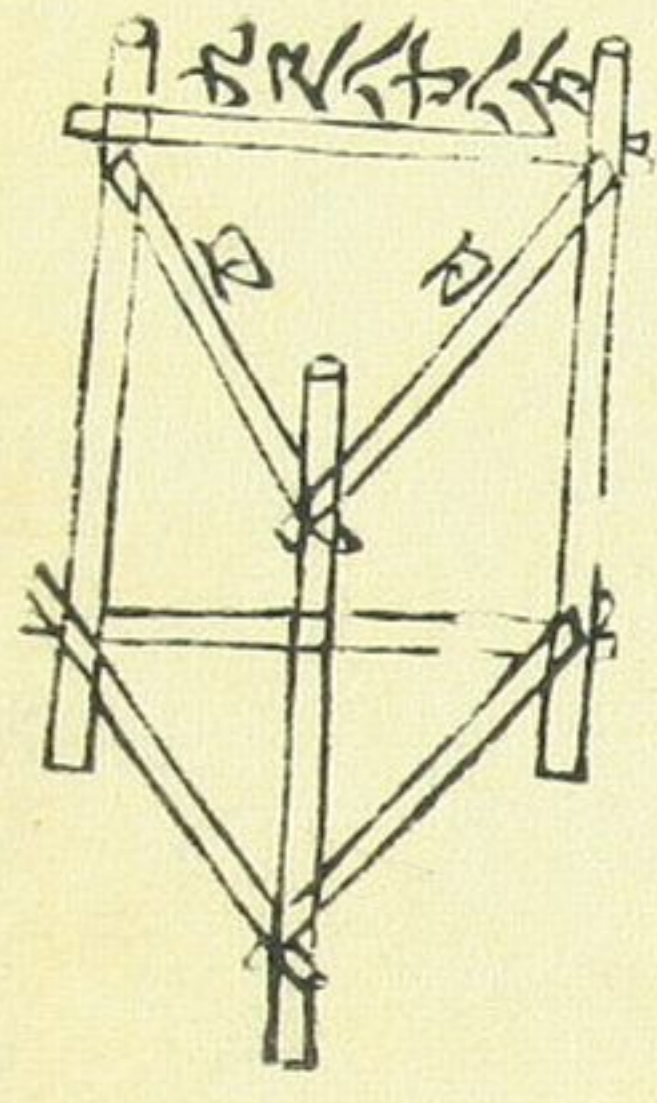
かくはかくはかくは

かくはかくはかくは

かくはかくはかくは

△一得中合と云

き一乃中

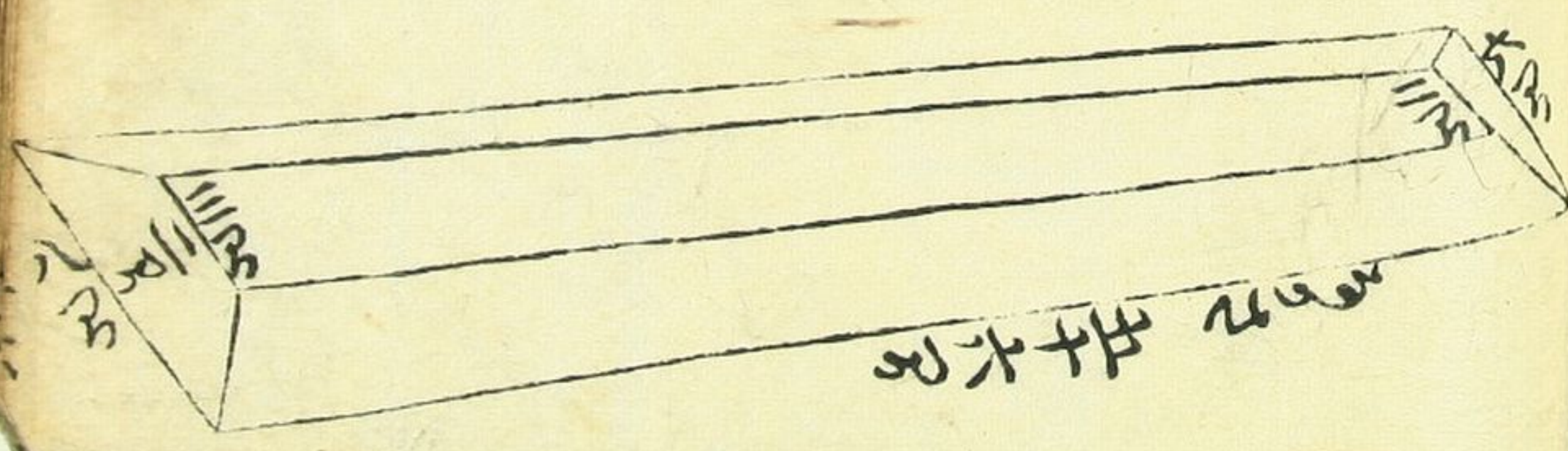


一得中合と云

塵三  
吉

△平峰の口二五と日あり一五化り遊也  
 一二五五 二四六一  
 三七下口二五 一八九七五  
 一峰中ふぶたより

△平峰の口二五と日あり一五化り遊也  
 一二五五 二四六一  
 三七下口二五 一八九七五  
 一峰中ふぶたより  
 此の峰は平峰  
 二五と日あり一五化り遊也  
 一二五五 二四六一  
 三七下口二五 一八九七五



塵三

第九

かりの事

△かりののちこすやるうさくはる長三百半  
るまはり抄教何行あるをいふ時

三万六千半抄のこと

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△たさかりと教をいふてある時一次の教  
ふら百全の時いふなり何あうられと云

△ありの如くわらわらふといふるに三人の如く書きて  
わらひ降ゆれしありきといふ時

女のみねたき降ゆれしとき

之由る此の如く書きて降ゆるは書かぬと書く

と書く又又の如く書くといふるは降ゆるが如く書

き降ゆると書くは降ゆると書くは降ゆると書く

又又の如く書くは降ゆると書くは降ゆると書く

又又の如く書くは降ゆると書くは降ゆると書く

又又の如く書くは降ゆると書くは降ゆると書く

と書くは降ゆると書くは降ゆると書くは降ゆると書く

おりにありきといふ時

カよみ又十ま降ゆると書く

之由る此の如く書きて降ゆると書く

降ゆると書くは降ゆると書くは降ゆると書く

ておそれ九二四七九六八七九六八七九六八七

と書くは降ゆると書くは降ゆると書くは降ゆると書く

これと書くは降ゆると書くは降ゆると書くは降ゆると書く

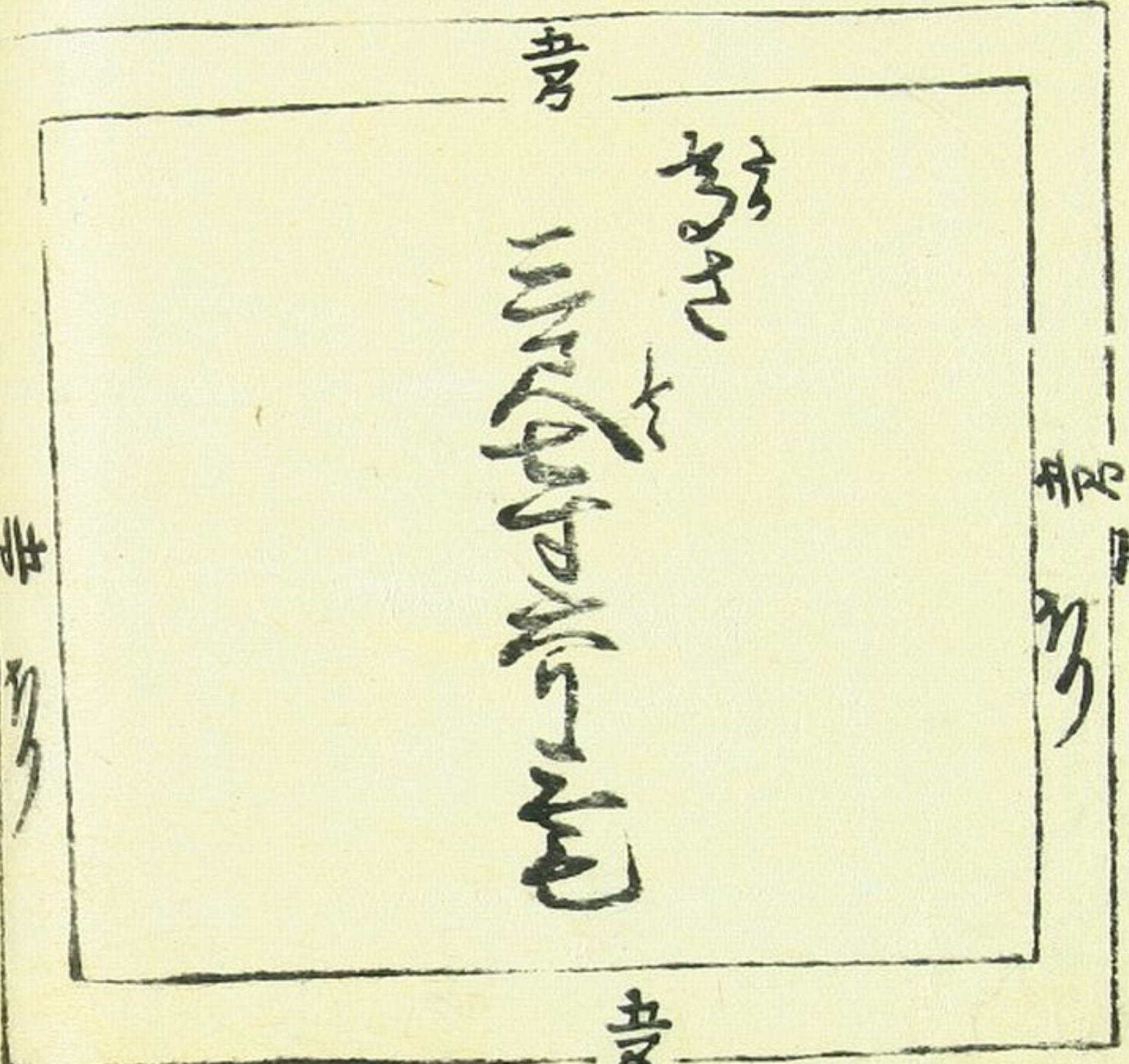
二の如く書きておそれ九二四七九六八七九六八七九六八七

△はたさくみよみすき坪一分りまほとさち  
きりりうちり時ふちりりちり可る  
ひりさるふさちりまほとさち  
時たさくみよみすき坪一分りまほとさち  
△はたさくみよみすき坪一分りまほとさち  
きりりうちり時ふちりりちり可る  
ひりさるふさちりまほとさち  
時たさくみよみすき坪一分りまほとさち

△はたさくみよみすき坪一分りまほとさち  
きりりうちり時ふちりりちり可る  
ひりさるふさちりまほとさち  
時たさくみよみすき坪一分りまほとさち  
△はたさくみよみすき坪一分りまほとさち  
きりりうちり時ふちりりちり可る  
ひりさるふさちりまほとさち  
時たさくみよみすき坪一分りまほとさち

いかりのちみくし年あふりかいたう  
ちりりきしりきあふ

百拾



百拾  
百拾

え百拾のちみくし年あふりかいたう  
ちりりきしりきあふ  
いかりのちみくし年あふりかいたう  
ちりりきしりきあふ

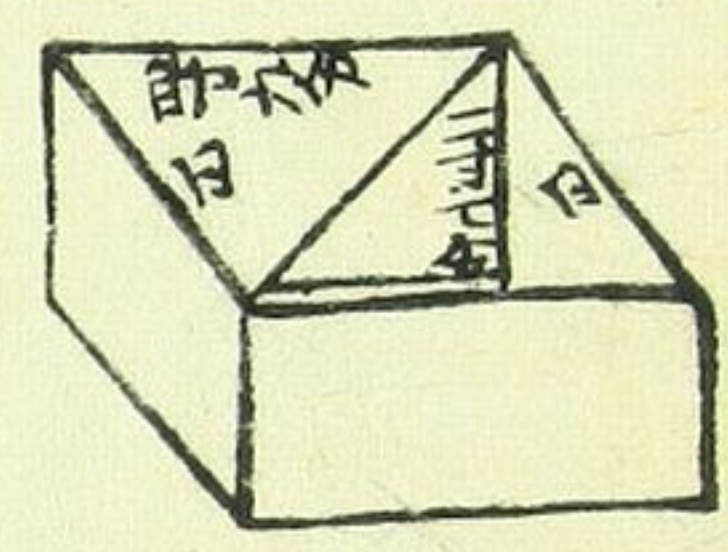




一斗

今 一斗九分

古 一斗七分



一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一斗

今 一斗九分  
古 一斗七分

一石

今 一石二寸五分  
古 一石八寸五分

二石

今 二石二寸五分  
古 二石八寸五分

三石

今 三石二寸八分  
古 三石八寸八分

七石

今 七石二寸七分  
古 七石八寸七分

九石

今 九石二寸七分  
古 九石八寸七分

二石

今 二石二寸五分  
古 二石八寸五分

三石

今 三石二寸八分  
古 三石八寸八分

七石

今 七石二寸七分  
古 七石八寸七分

八石

今 八石二寸七分  
古 八石八寸七分

十石

今 十石二寸七分  
古 十石八寸七分

ひりまの法

ひりまの法は、一石二寸五分、二石二寸八分、三石二寸八分、七石二寸七分、八石二寸七分、九石二寸七分、十石二寸七分、と云ふ。此の法は、古の法に比し、一石より二石まで、一石五分、二石八分、三石八分、七石七分、八石七分、九石七分、十石七分、と云ふ。此の法は、今に用ひる法に比し、一石より二石まで、一石五分、二石八分、三石八分、七石七分、八石七分、九石七分、十石七分、と云ふ。此の法は、古の法に比し、一石より二石まで、一石五分、二石八分、三石八分、七石七分、八石七分、九石七分、十石七分、と云ふ。此の法は、今に用ひる法に比し、一石より二石まで、一石五分、二石八分、三石八分、七石七分、八石七分、九石七分、十石七分、と云ふ。

一石

今 一石二寸五分  
古 一石八寸五分

八石

今 八石二寸七分  
古 八石八寸七分

六石

今 六石二寸五分  
古 六石八寸五分

九石

今 九石二寸七分  
古 九石八寸七分

七石

今 七石二寸七分  
古 七石八寸七分

六石

今 六石二寸五分  
古 六石八寸五分

定合

二寸五分あり  
一寸五分あり

三合

二寸五分あり  
一寸五分あり

二合

二寸九分あり  
一寸五分あり

下合

二寸五分あり  
一寸五分あり

一斗

三寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり

六分五分は百坪の時...  
二合五分は...  
二寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり

今様の法

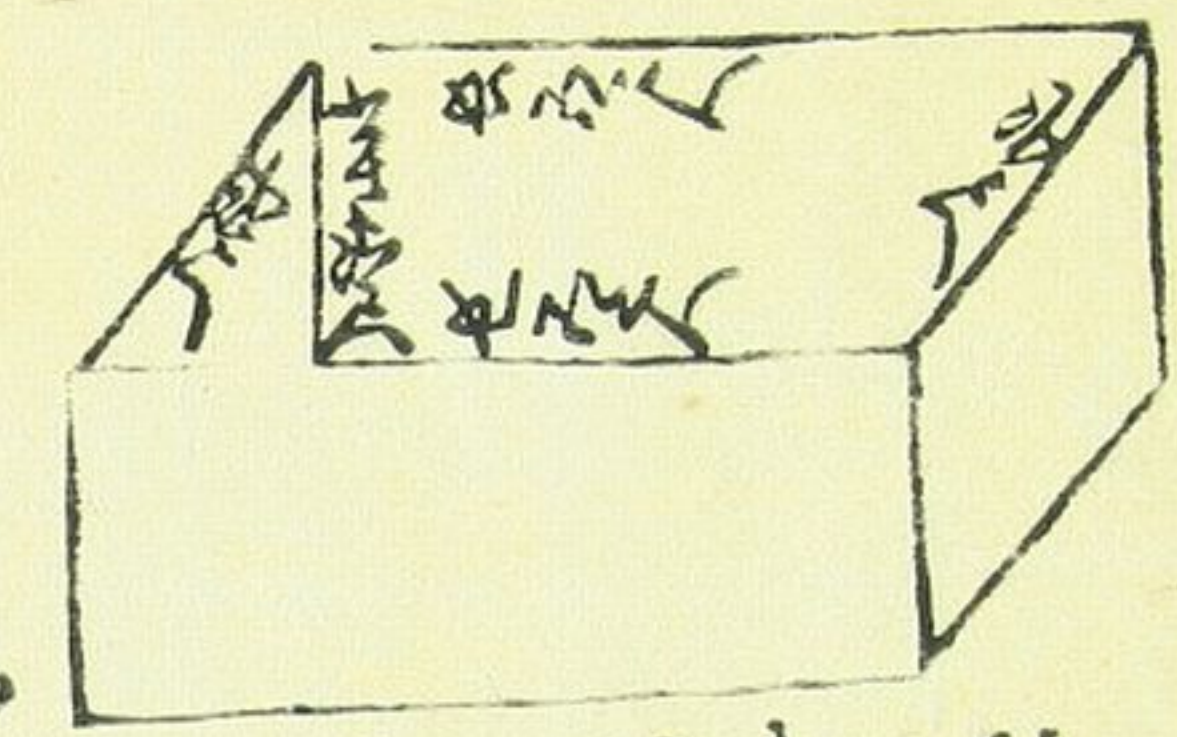
六分五分は百坪の時...  
二寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり

二寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり

じう様の法

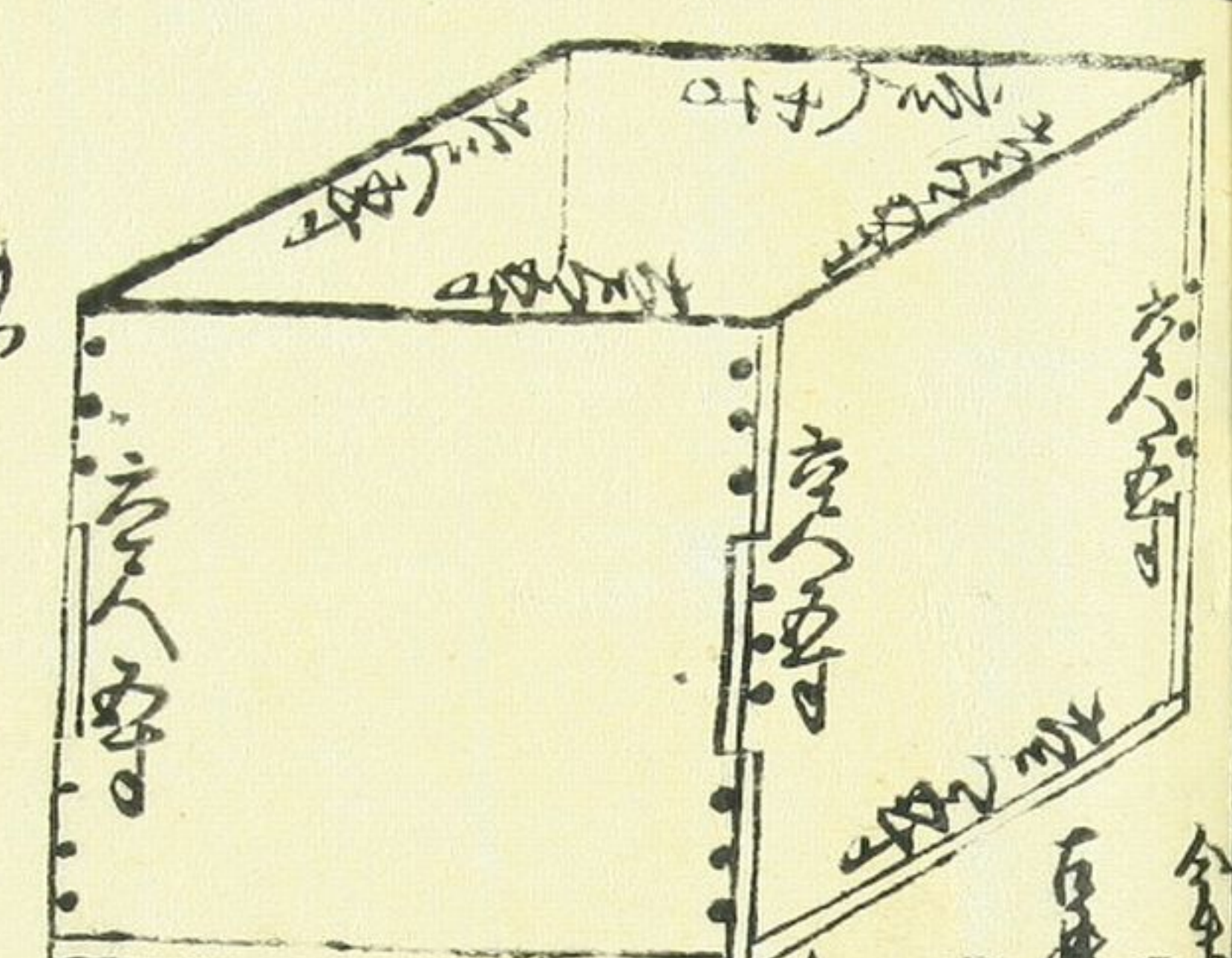
六分五分は百坪の時...  
二寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり

又百坪...  
二寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり  
一寸五分あり



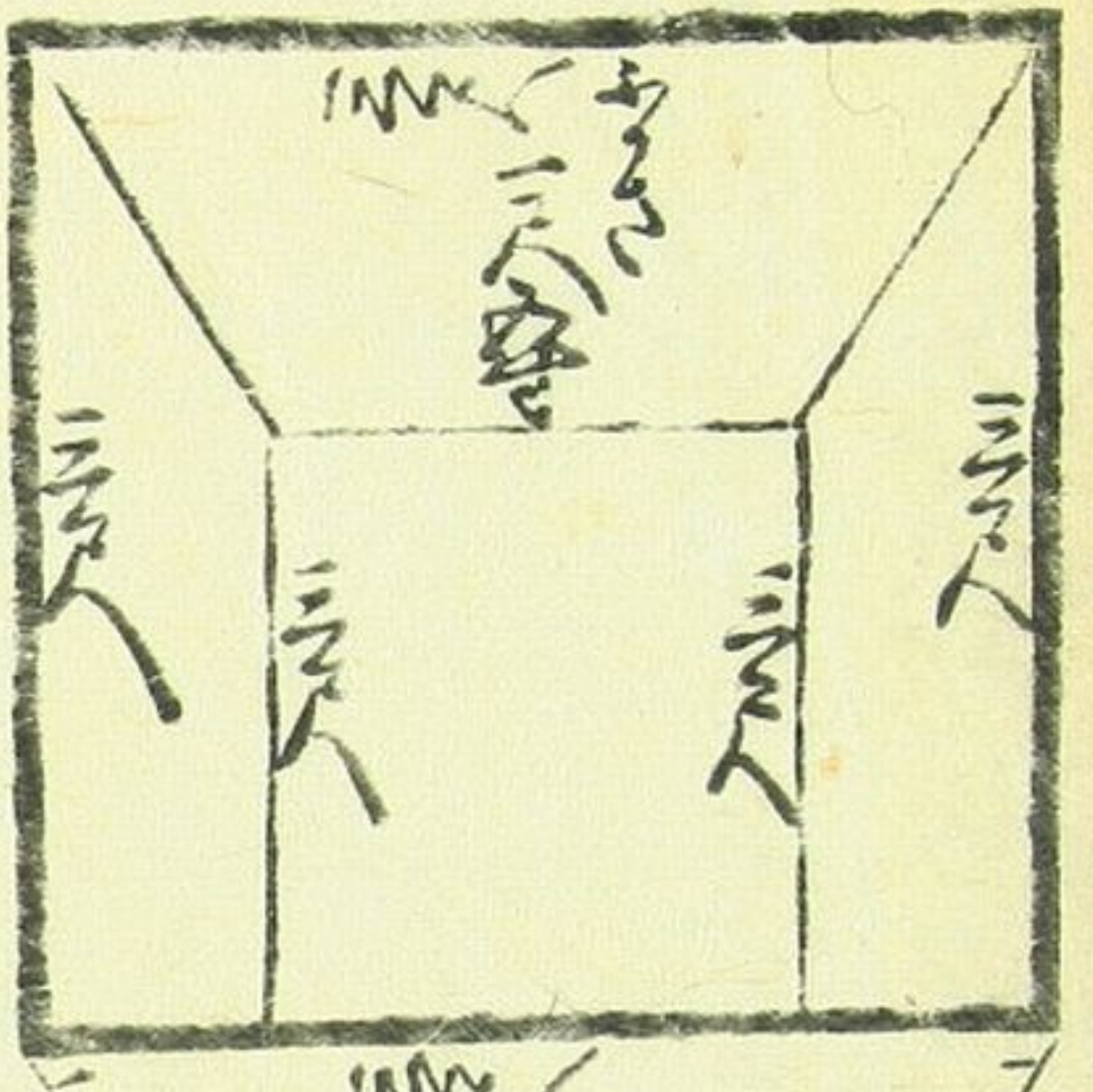
全寺にて  
 ○三石八坪を公方入  
 ひりし  
 ○三石八坪今より  
 之長及高をかくし  
 坪は、おのちの御代にかかれ  
 大坪をかくしと寺の法衣に

八石をかくし見れば三石半も公方とある也  
 又この寺にて換り給ふは三坪と云ふ又  
 せめて見れば三石半計入とある也  
 又六と九坪も十六と如けし三石半計



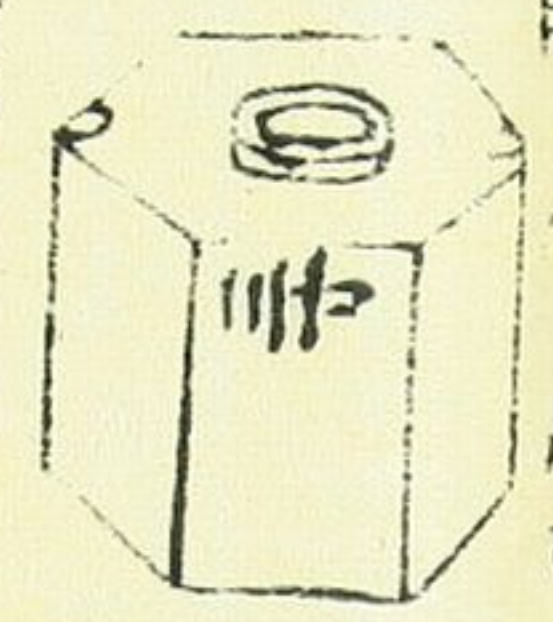
○三石半の法衣八二  
 寺に今より  
 ○三石半の法衣八二  
 寺に今より  
 ○三石半の法衣八二  
 寺に今より

寺に今より  
 寺に今より  
 寺に今より  
 寺に今より

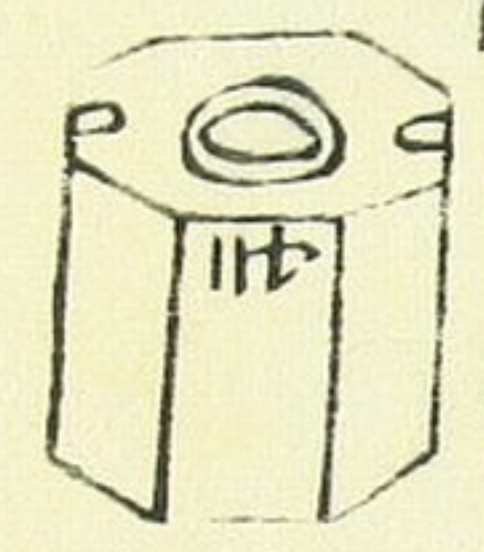


〇石六寸の鉢入  
 〇石五寸の鉢入  
 〇石四寸の鉢入  
 〇石三寸の鉢入  
 〇石二寸の鉢入  
 〇石一寸の鉢入

〇石六寸の鉢入  
 〇石五寸の鉢入  
 〇石四寸の鉢入  
 〇石三寸の鉢入  
 〇石二寸の鉢入  
 〇石一寸の鉢入



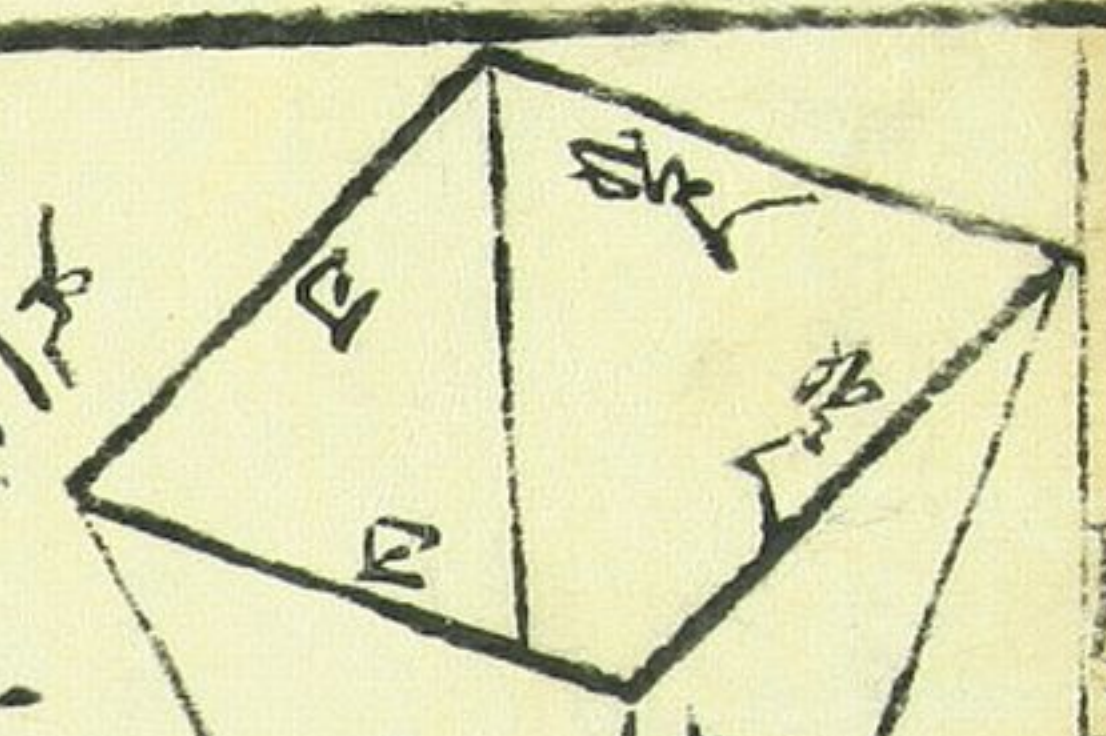
〇石五寸の鉢入  
 〇石四寸の鉢入  
 〇石三寸の鉢入  
 〇石二寸の鉢入  
 〇石一寸の鉢入



〇石三寸の鉢入  
 〇石二寸の鉢入  
 〇石一寸の鉢入



七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ  
 七斗半六谷を考ふ



第十一 ひとくち考の法

一谷 二斗九分七毛	二谷 二斗九分七毛	三谷 二斗九分七毛	四谷 二斗九分七毛
五谷 二斗九分七毛	六谷 二斗九分七毛	七谷 二斗九分七毛	八谷 二斗九分七毛

九合

守二分一毫  
守一分三毫

一斗

守七分一毫  
守九分一毫

八斗

守三分一毫  
守二分一毫

二斗

守四分一毫  
守七分一毫

四斗

守一分一毫  
守五分一毫

三斗

守七分一毫  
守七分一毫

三斗

守二分一毫  
守一分一毫

七斗

守四分一毫  
守五分一毫

一斗

守九分一毫  
守九分一毫

九斗

守九分一毫  
守九分一毫

七斗

守六分一毫  
守七分一毫

六斗

守二分一毫  
守七分一毫

第九十一

ひしつらふけの法



三斗

守八分一毫  
守六分一毫

四斗

守五分一毫  
守三分一毫

五斗

守五分一毫  
守七分一毫

五斗

守八分一毫  
守五分一毫





牙

牙

口入ノ字ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

小ノ字ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

牙

口入ノ字ニ分ナリ毛  
ノ二ノ字又ナリ毛  
ノ三ノ字又ナリ毛

<p>五石</p>	<p>四石</p>	<p>三石</p>	<p>二石</p>	<p>一石</p>	<p>八石</p>	<p>七石</p>	<p>六石</p>
<p>五石  <small>五石五分</small>  <small>五石四分</small>  <small>五石三分</small>  <small>五石二分</small>  <small>五石一分</small></p>	<p>四石  <small>四石五分</small>  <small>四石四分</small>  <small>四石三分</small>  <small>四石二分</small>  <small>四石一分</small></p>	<p>三石  <small>三石五分</small>  <small>三石四分</small>  <small>三石三分</small>  <small>三石二分</small>  <small>三石一分</small></p>	<p>二石  <small>二石五分</small>  <small>二石四分</small>  <small>二石三分</small>  <small>二石二分</small>  <small>二石一分</small></p>	<p>一石  <small>一石五分</small>  <small>一石四分</small>  <small>一石三分</small>  <small>一石二分</small>  <small>一石一分</small></p>	<p>八石  <small>八石五分</small>  <small>八石四分</small>  <small>八石三分</small>  <small>八石二分</small>  <small>八石一分</small></p>	<p>七石  <small>七石五分</small>  <small>七石四分</small>  <small>七石三分</small>  <small>七石二分</small>  <small>七石一分</small></p>	<p>六石  <small>六石五分</small>  <small>六石四分</small>  <small>六石三分</small>  <small>六石二分</small>  <small>六石一分</small></p>
<p>百石</p>	<p>九十石</p>	<p>八十石</p>	<p>七十石</p>	<p>六十石</p>	<p>五十石</p>	<p>四十石</p>	<p>三十石</p>
<p>百石  <small>百石五分</small>  <small>百石四分</small>  <small>百石三分</small>  <small>百石二分</small>  <small>百石一分</small></p>	<p>九十石  <small>九十石五分</small>  <small>九十石四分</small>  <small>九十石三分</small>  <small>九十石二分</small>  <small>九十石一分</small></p>	<p>八十石  <small>八十石五分</small>  <small>八十石四分</small>  <small>八十石三分</small>  <small>八十石二分</small>  <small>八十石一分</small></p>	<p>七十石  <small>七十石五分</small>  <small>七十石四分</small>  <small>七十石三分</small>  <small>七十石二分</small>  <small>七十石一分</small></p>	<p>六十石  <small>六十石五分</small>  <small>六十石四分</small>  <small>六十石三分</small>  <small>六十石二分</small>  <small>六十石一分</small></p>	<p>五十石  <small>五十石五分</small>  <small>五十石四分</small>  <small>五十石三分</small>  <small>五十石二分</small>  <small>五十石一分</small></p>	<p>四十石  <small>四十石五分</small>  <small>四十石四分</small>  <small>四十石三分</small>  <small>四十石二分</small>  <small>四十石一分</small></p>	<p>三十石  <small>三十石五分</small>  <small>三十石四分</small>  <small>三十石三分</small>  <small>三十石二分</small>  <small>三十石一分</small></p>



三  
馬  
五  
子  
材  
一

六甲正合入  
かひあけつたあはれ  
かひあけつたあはれ  
かひあけつたあはれ

こゝろと加へてあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ

あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ  
あはれつたあはれつたあはれ

三

三

〇  
日/日 時 井 井  
〇 〇 〇

一、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時

〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時

〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時

〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時  
 〇、お水地録入して云時



白紙



鹿三

廿七



才一  
才二  
才三  
才四  
才五  
才六  
才七  
才八  
才九

りんりんきき巻の目録

百方路の人数をいふ

一億の数の少く多きをいふ

開平法園あり

開平法園あり

開平法園あり

開平法園あり

ひあし一億の事

日本國中男女の較あり

かきとさんあり



中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて  
 中十 金取と取と用きりて

舟

舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに

舟の人数を数するに

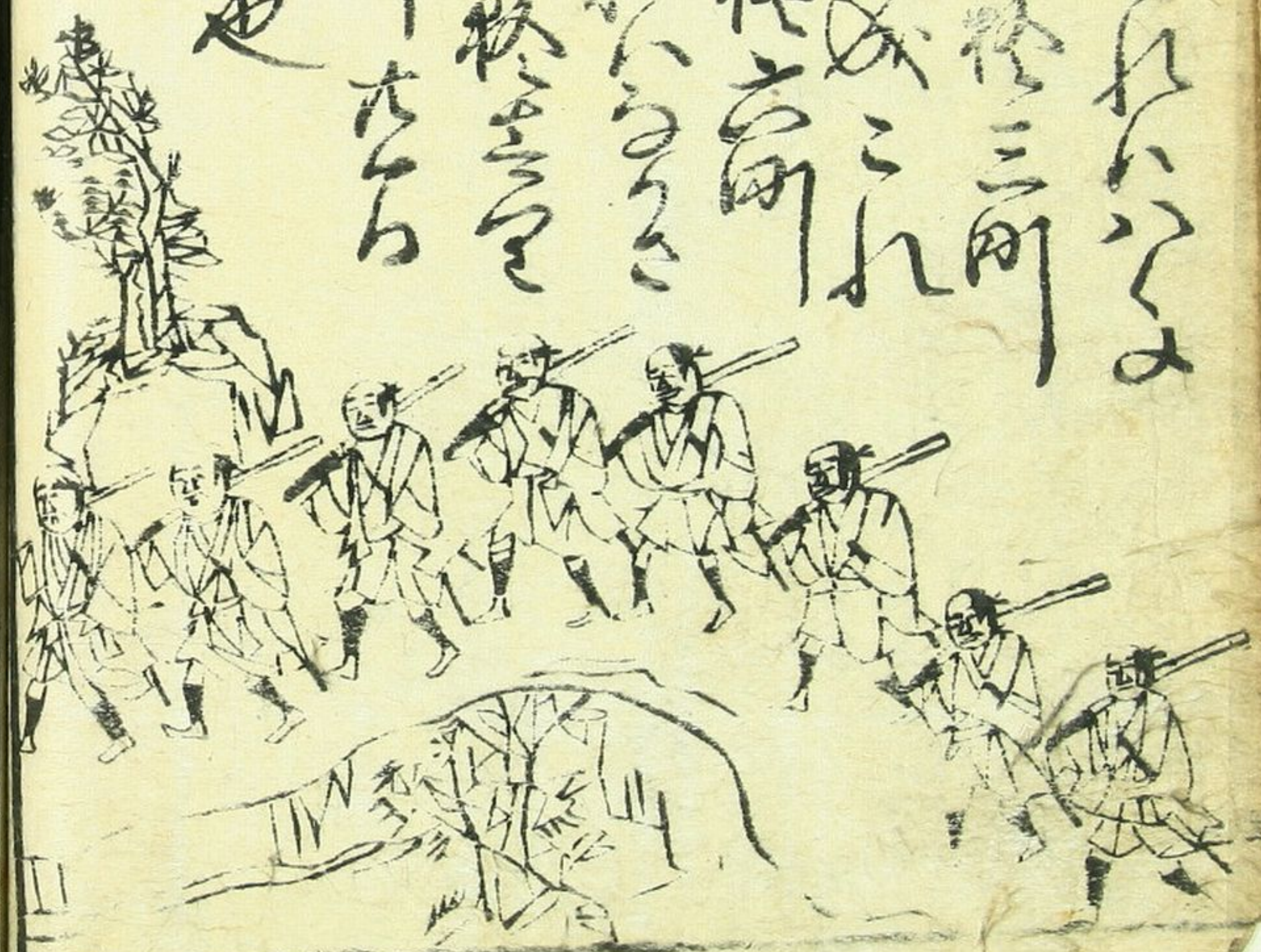
舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに

舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに  
 舟の人数を数するに

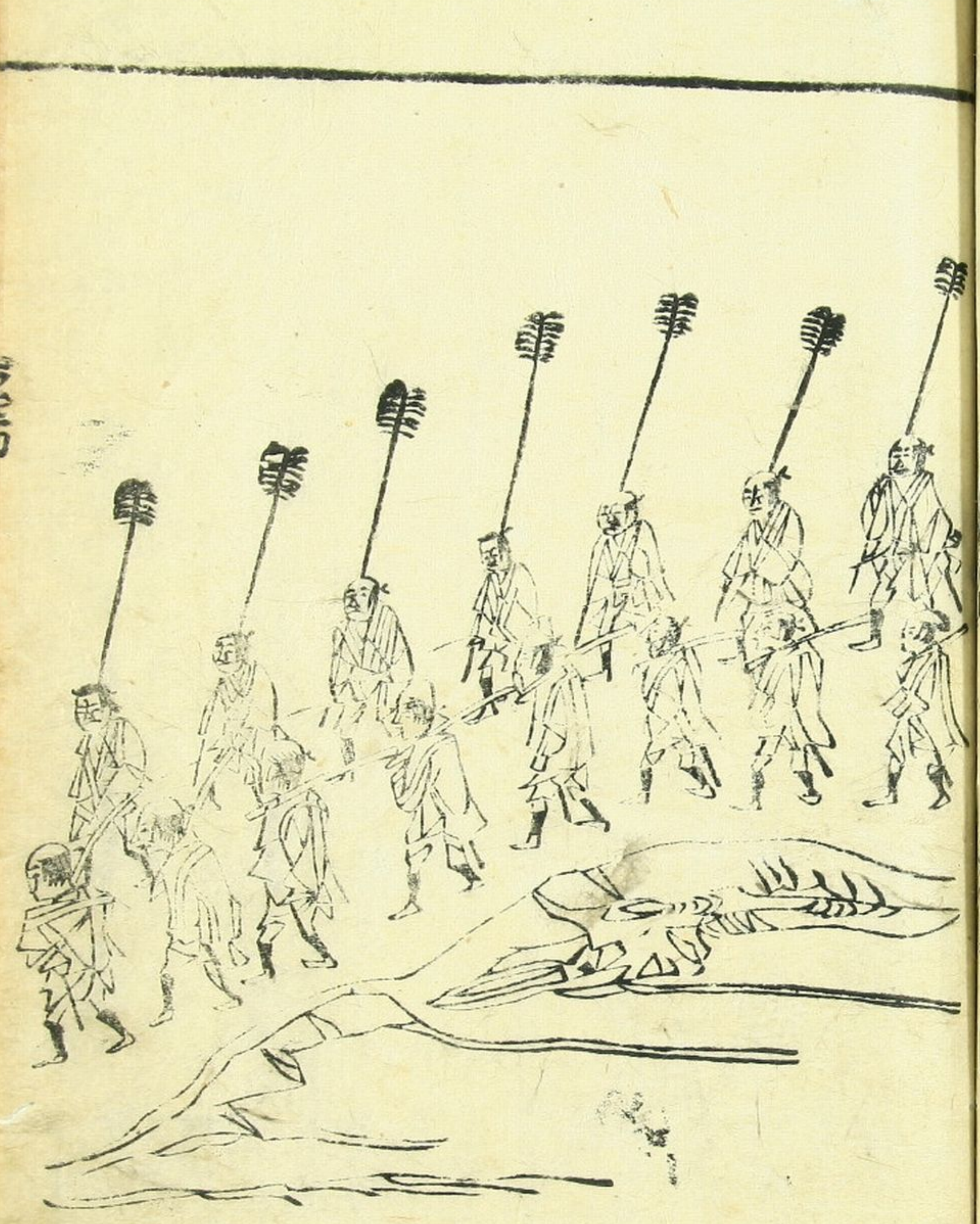
舟



少くもこれらに  
 三百三十三所  
 なる少くもこれ  
 と三十三所  
 てこれらに  
 此の三十三所  
 なる少くも  
 あり也



1410



百八の段  
 不  
 了  
 百八の段  
 不  
 了  
 百八の段  
 不  
 了

△百方人<sup>唐</sup>と一<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり  
ありて<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

向<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

百<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>と<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>ありて<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり  
と<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

△百<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>と<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>ありて<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

向<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

向<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

△又一<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>ありて<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>の<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

向<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり

△向<sup>唐</sup>は<sup>唐</sup>人<sup>唐</sup>なり



左邊のりぬの敷ふかふに  
松々きふ換りて  
るふれしちちれしちち

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

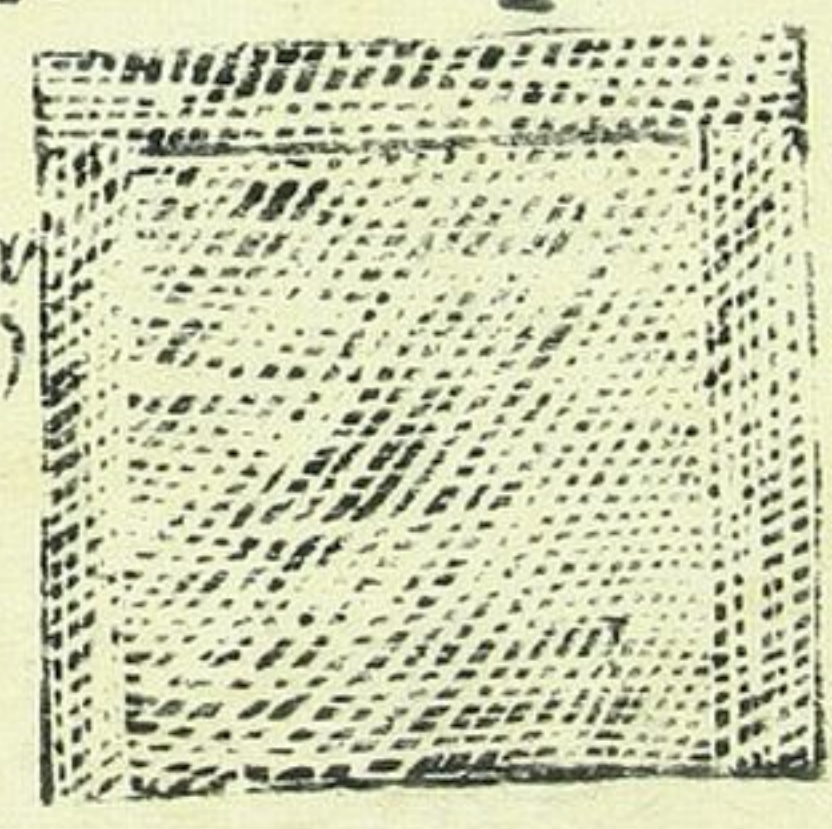
松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

松七つと松九つ  
松七つと松九つ

△字一儂と平地と方  
 小方より大なる時より小なる時  
 二方より此より少時

小方より大なる時



一儂と平地と方  
 一儂と平地と方  
 二儂と平地と方

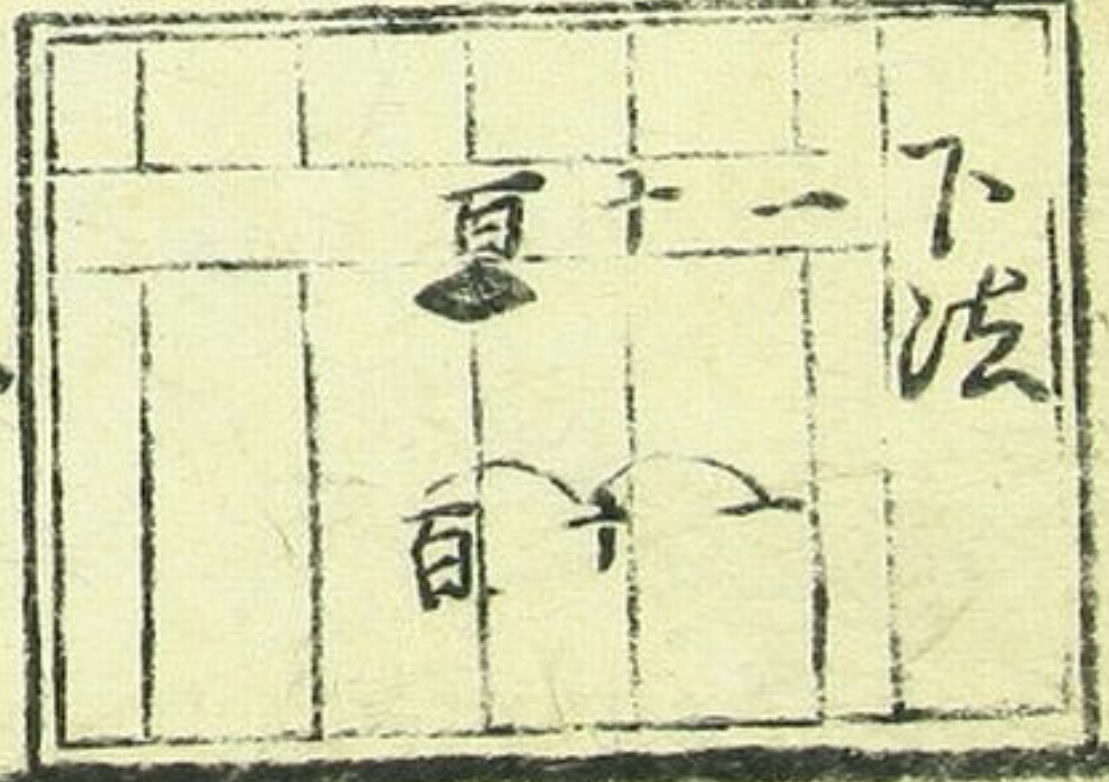
刪平法と商法と方と

三万六千  
 百七十九  
 万七千九百  
 九千九百九十九  
 九九九九九九

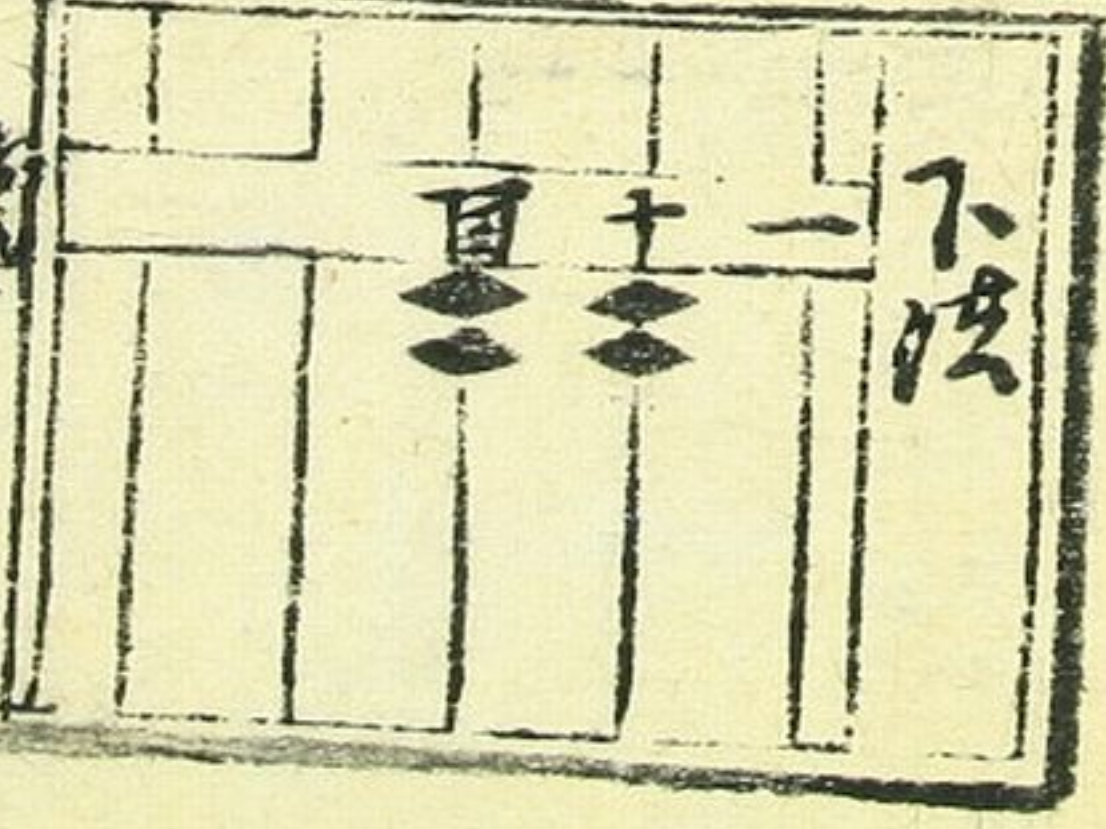
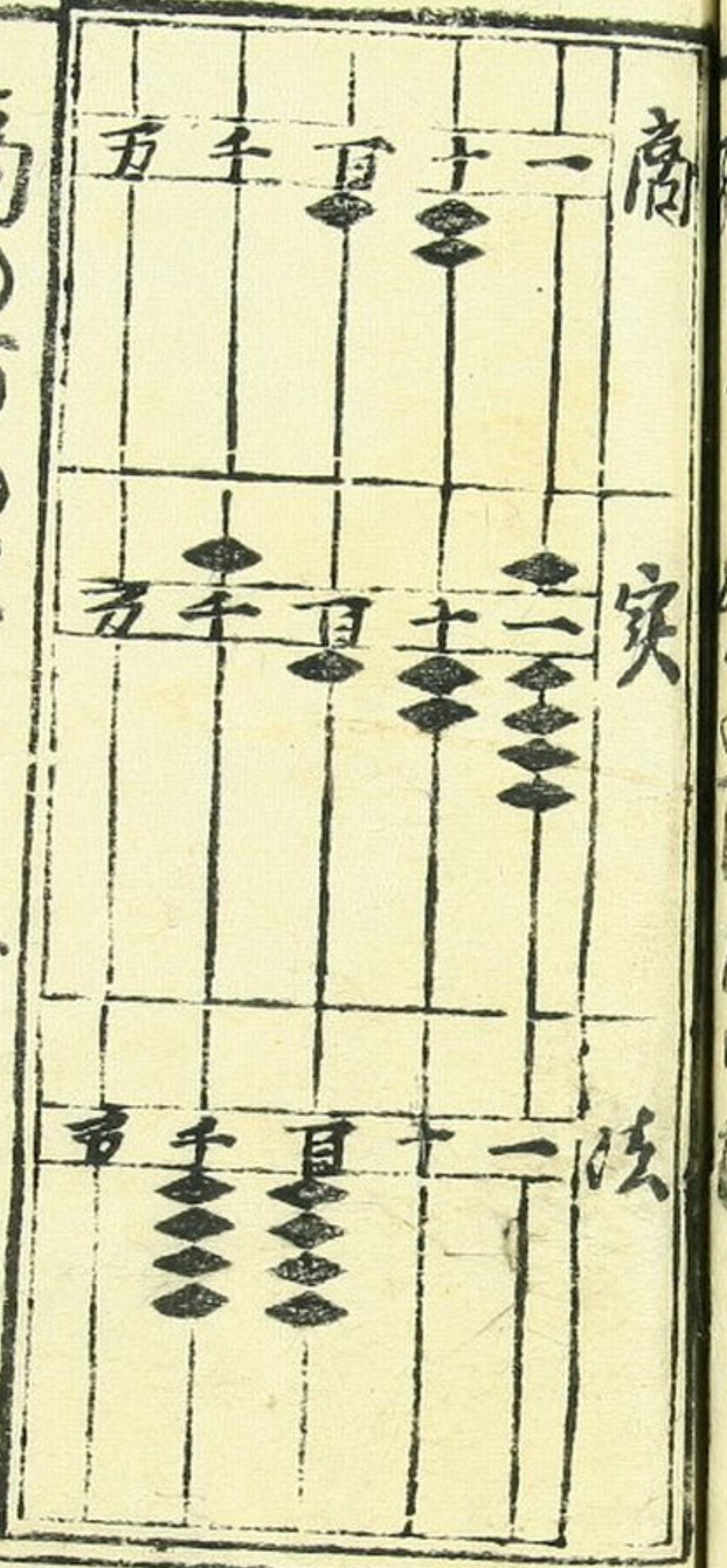
三万六千	二万七千	三万六千
百七十九	三万六千	三万六千
九九九九九九	九九九九九九	九九九九九九



實小一万の百位將に五の位より



一千百千位の位より五の位より二をわき  
 は百の位より五の位より二をわき法より百より  
 又一千百よりわきりて百の位より五の位より二をわき  
 高の百より五の位より二をわき法より百より  
 かりて五の位より二をわき



高の百の次より五の位より二をわき  
 一は百の位より五の位より二をわき法より百より  
 又一千百よりわきりて百の位より五の位より二をわき  
 高の百より五の位より二をわき法より百より  
 かりて五の位より二をわき

實少五の位より七の位より九の位より



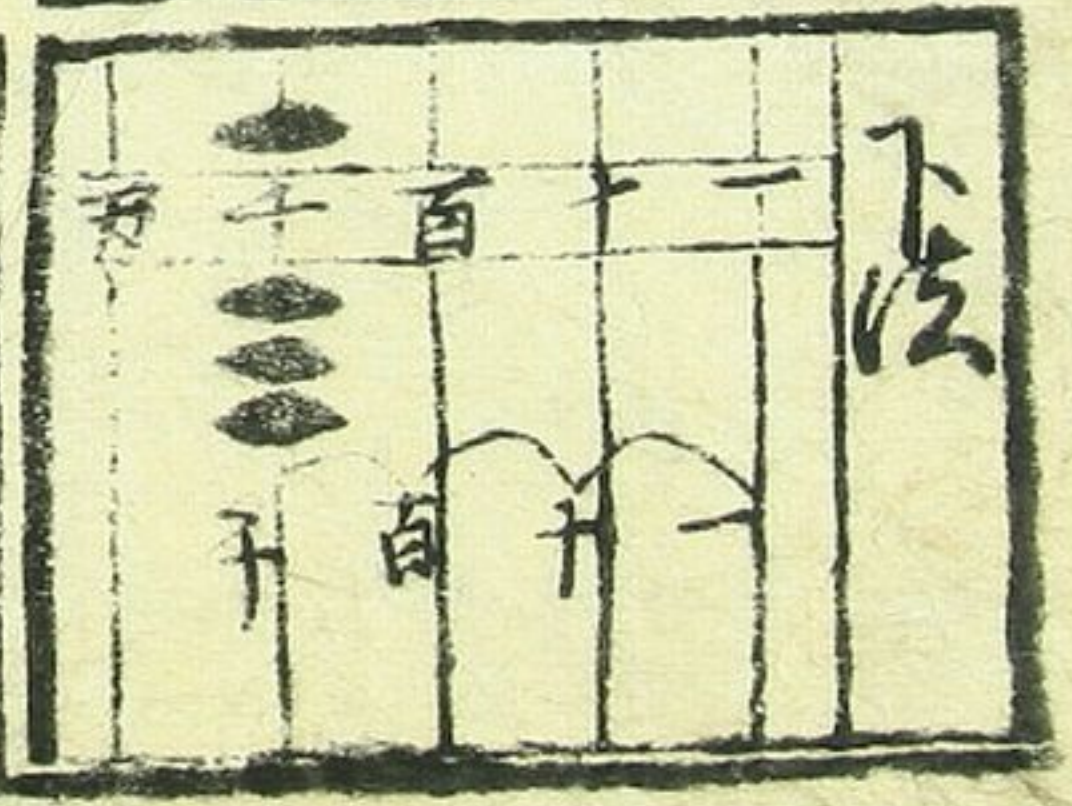
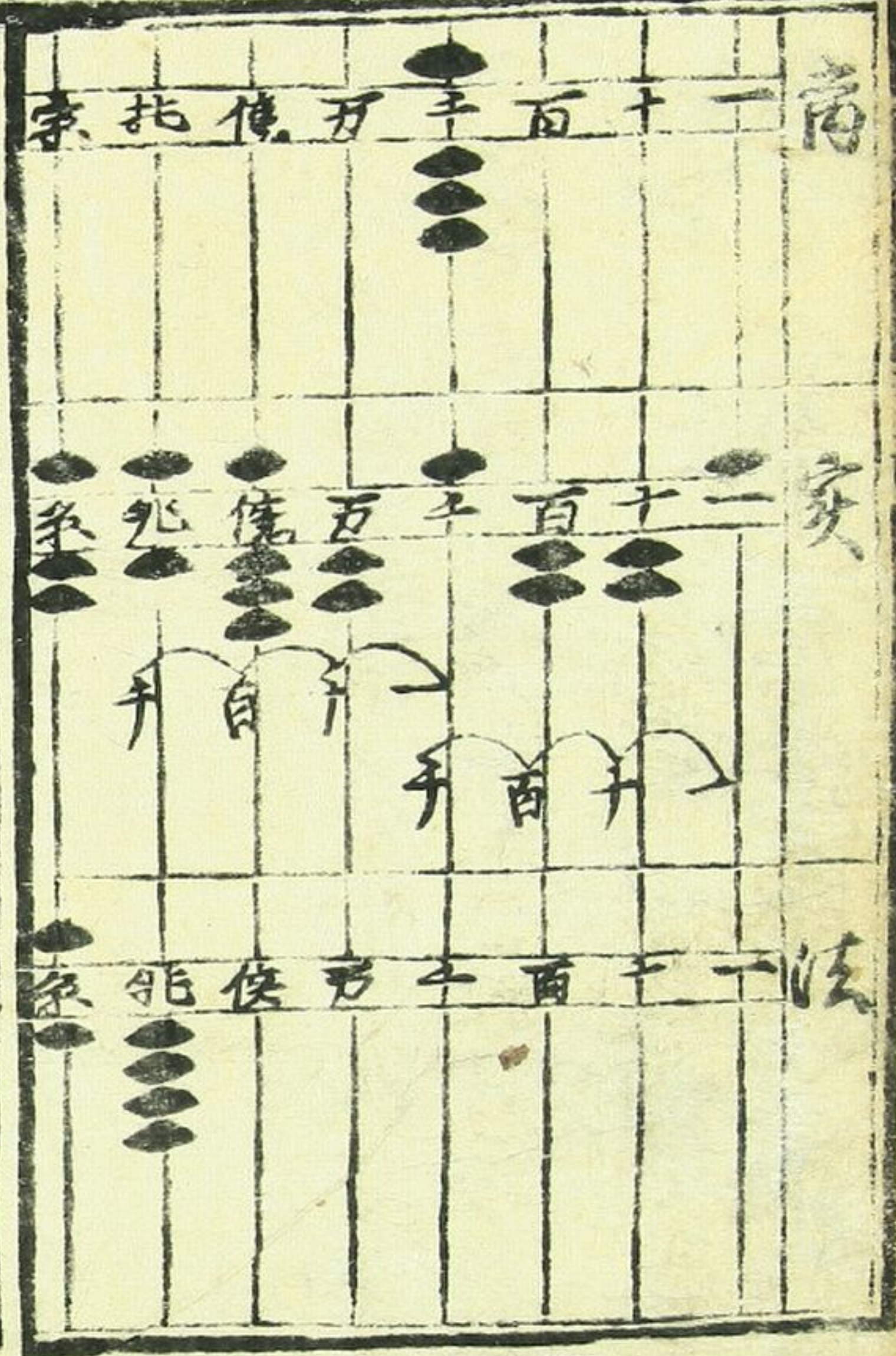
商	一	十	百	千	五
実	一	十	百	千	五
法	一	十	百	千	五
下法	一	十	百	千	五

商の二とて下法より三の音三の百と三  
 の九と五時法小七百九十九と実  
 引くは〜定して商より引くは  
 三ありとあり

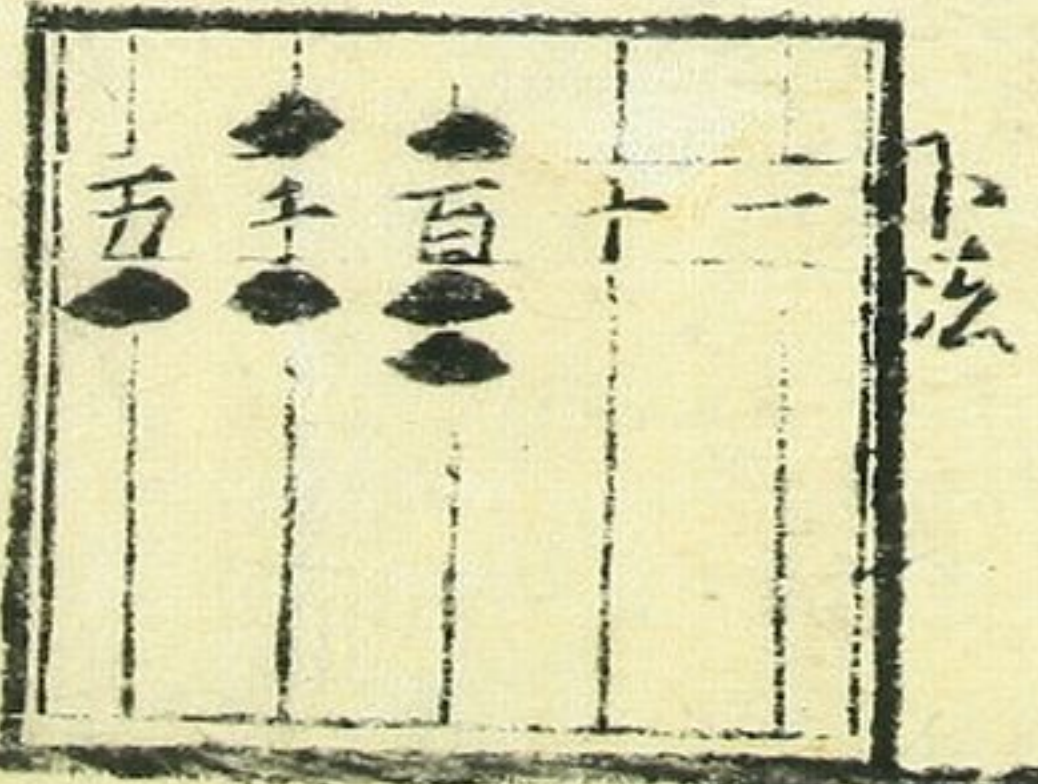
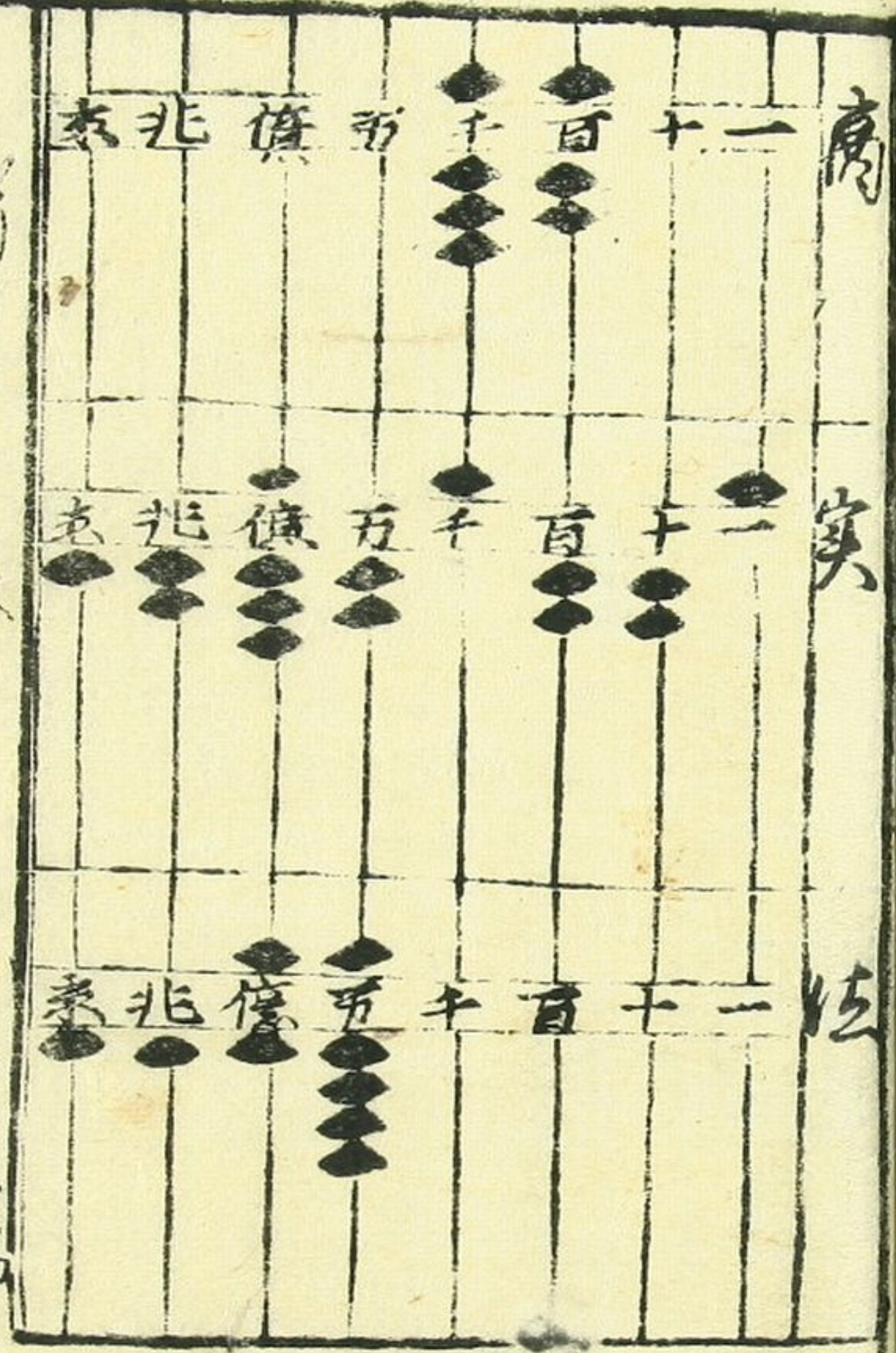
△開平法  
 積七京六兆八億二万五千  
 六百九十九

右に横書  
 九億二万五千  
 六百九十九

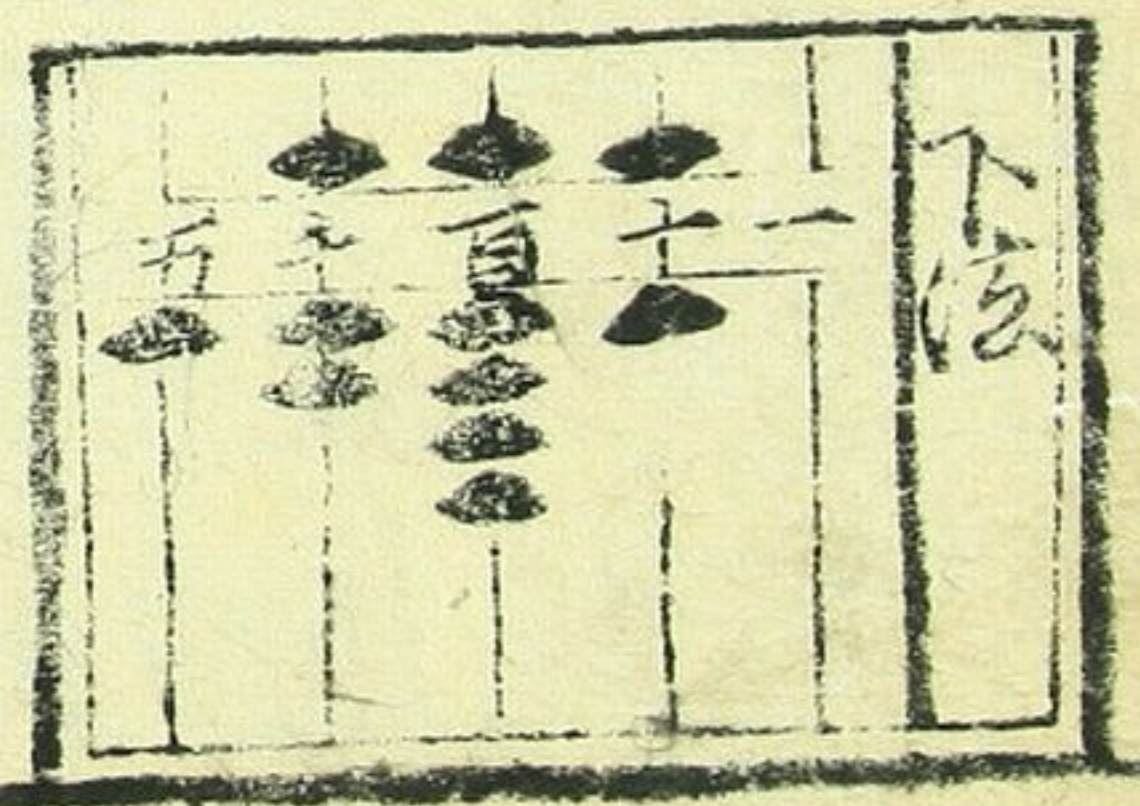
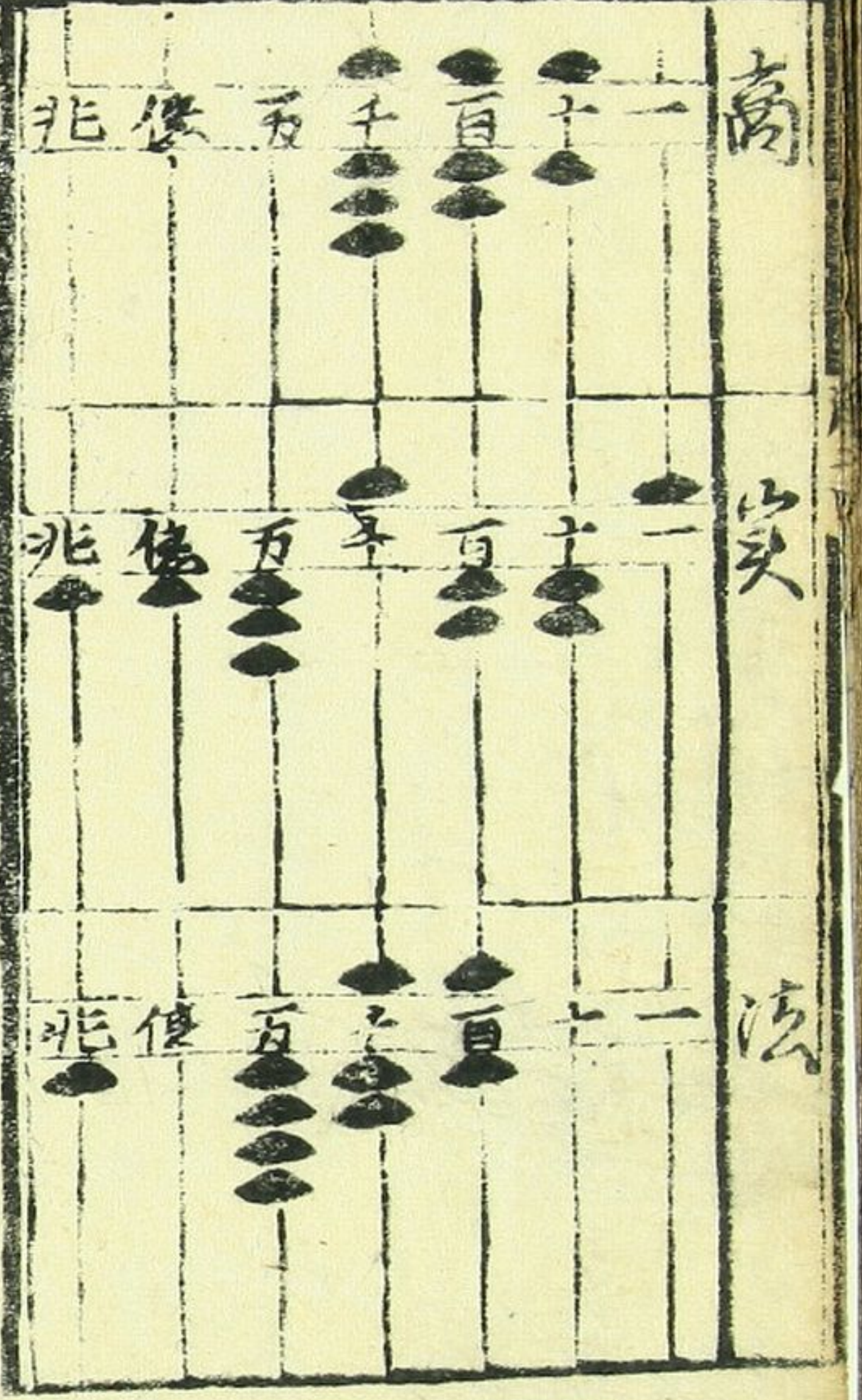
九億	二万	五千	六百	九十九
九億	二万	五千	六百	九十九
九億	二万	五千	六百	九十九



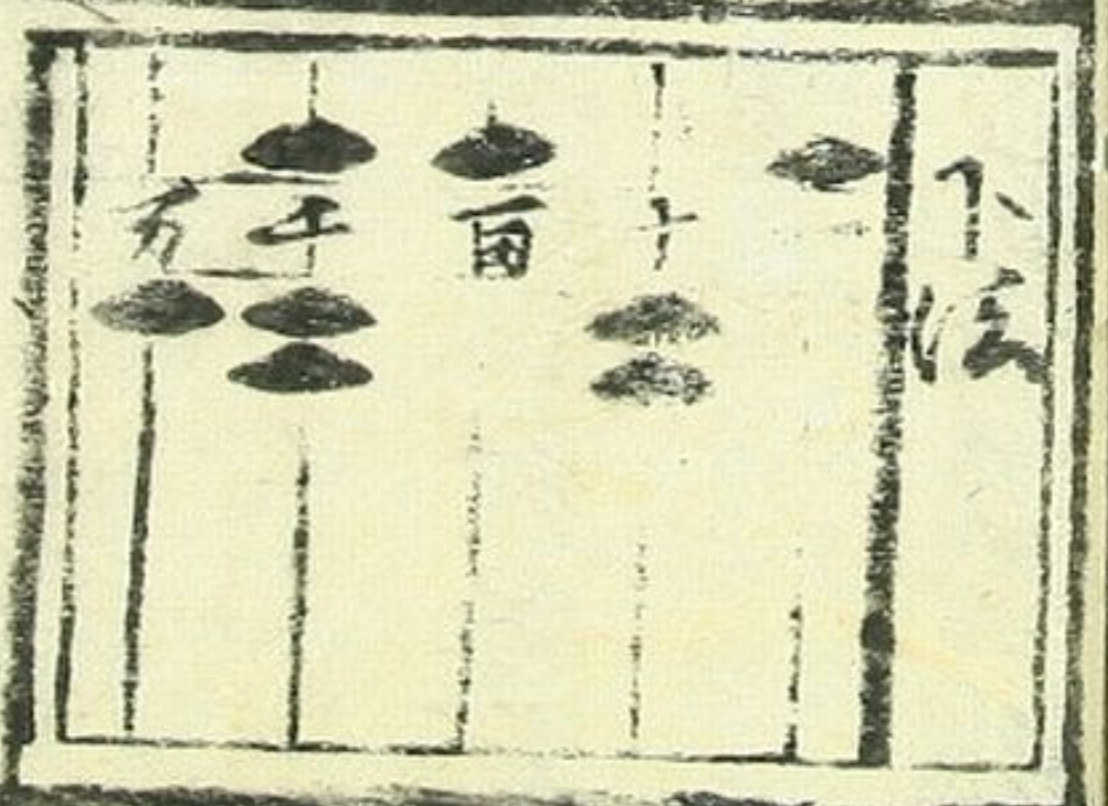
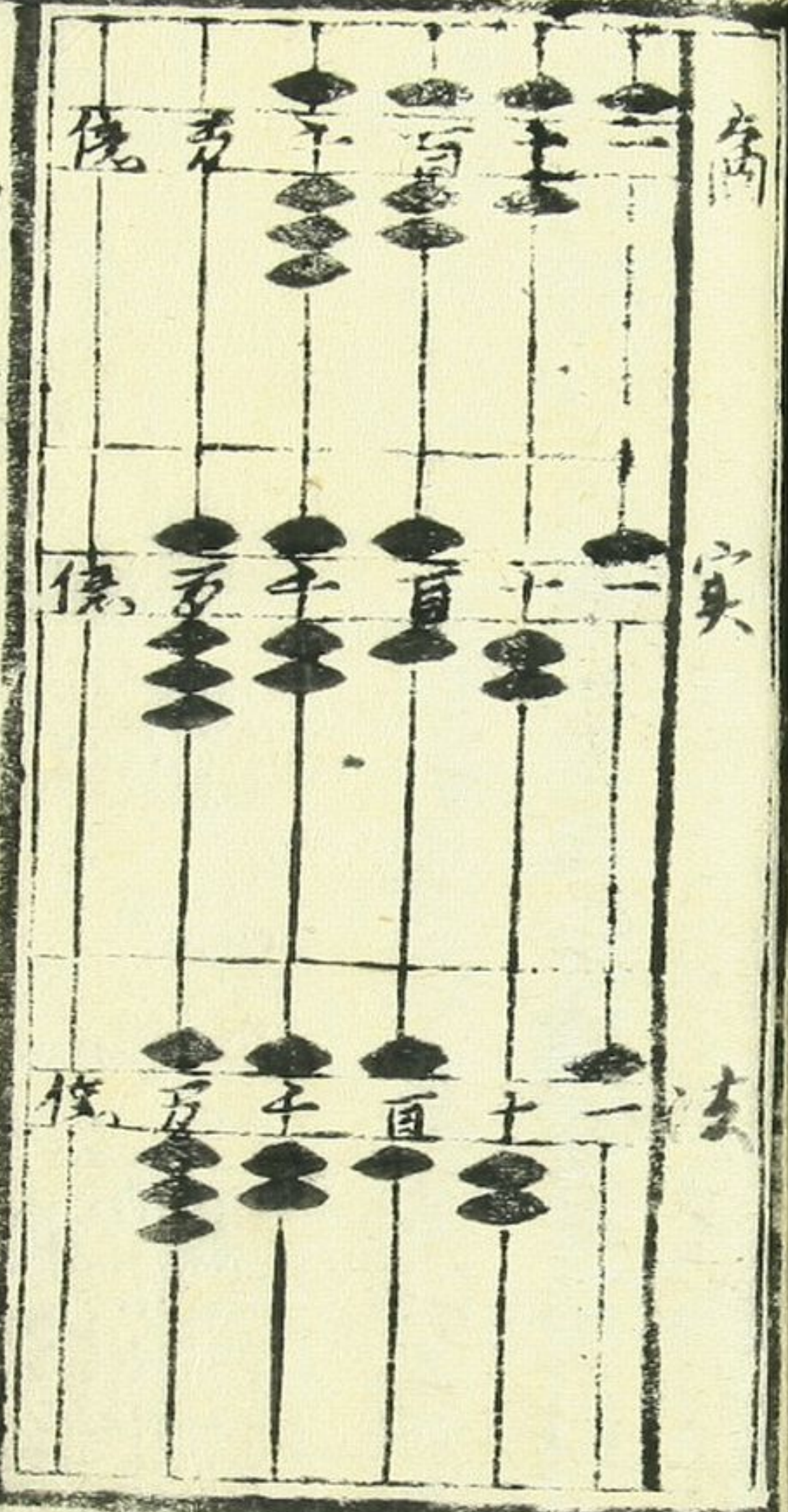
算小積と述一千百五千百の位初商  
 八と下法中八と述これ小商と述  
 八と下法中八と述これ小商と述  
 算小余りて一系二兆後言分置置算



下法の八と述千百五千百の位初商  
 の八と述下法の八と述これ小商と述  
 下法中八と述これ小商と述  
 算小余り一兆億三千万又千六百六十六



下法の法の七倍と倍とあるは、倍の倍は、  
 極高の法を以て下法の法より高次を以  
 ては、下法より二倍の倍は、倍の二倍は、  
 二倍の二倍は、倍の四倍は、倍の四倍は、  
 倍の四倍は、倍の四倍は、倍の四倍は、  
 倍の四倍は、倍の四倍は、倍の四倍は、



下法の法の一倍にして、  
 けて、高法の法を以て、  
 の法を以て、法より下法より、  
 五七三万の法より、  
 五七三万の法より、  
 五七三万の法より、

△開年

積古

二種二後一京令三後

右之痛に方と云々  
七海之様立種七後

△開年

積古

五海之様立種七後

又の七十七六

右之商八後七力

△開年

積古

二海之様立種七後

右之商八後七力

△開年

積古

七の百十分三系

八百平の倍

右之商八後七力

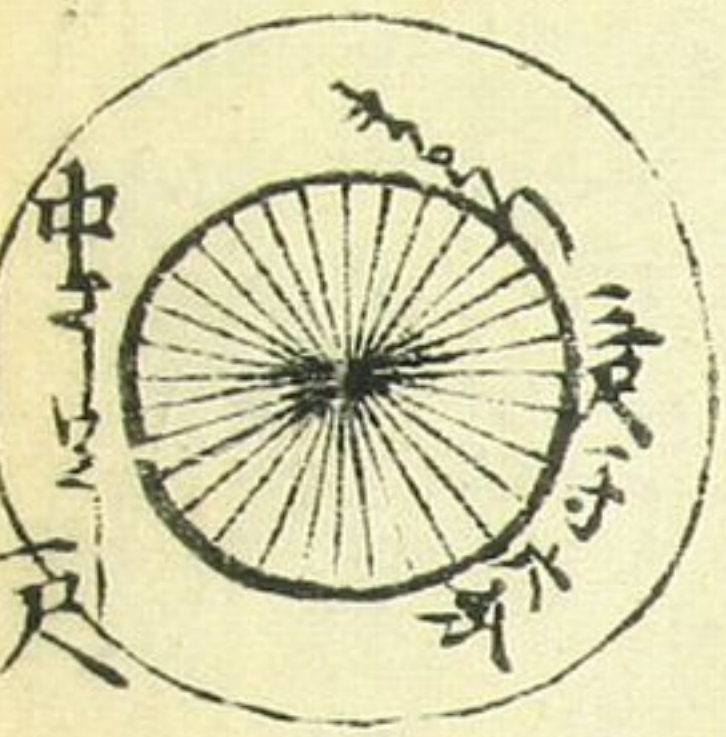
**開年四法**

△一二三四の洋のりく六百上時  
右之商八後七力

三

法の東七百上時

△七の七の事



又の七の事  
又の七の事  
又の七の事

唐  
二  
三  
△  
二  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二

△  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

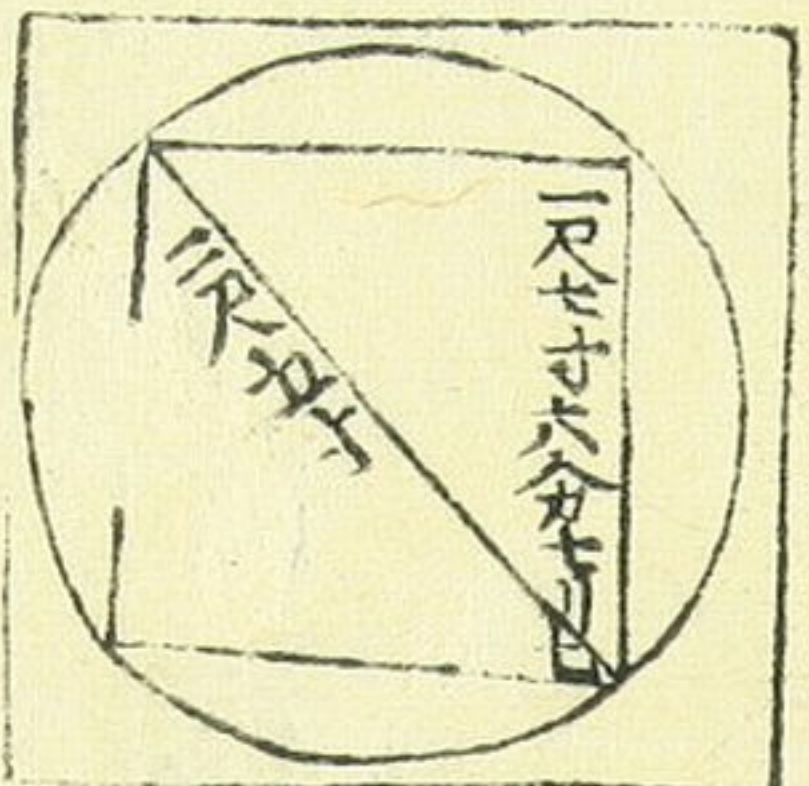
唐



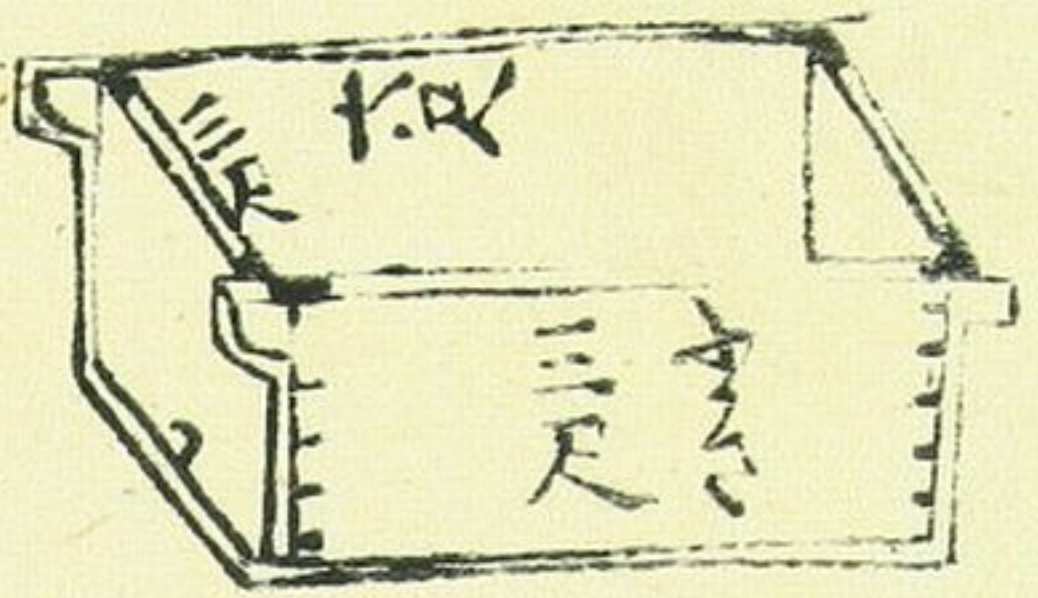
一尺二寸四分



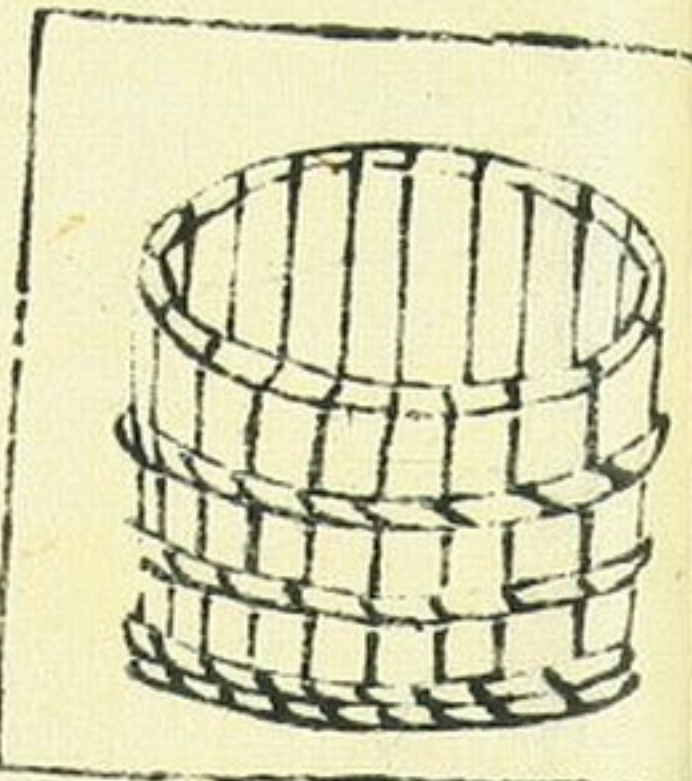
一尺二寸四分



一尺二寸四分



Handwritten text in a cursive script, likely a historical or technical description of the box shown in the diagram above. The text is arranged in several vertical columns.



Handwritten text in a cursive script, continuing the description or providing related information. The text is arranged in several vertical columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect.

雜記

△又たさくわのよあまおれへ  
念ふ。いふ言ふ言ふ言ふ

えおまをいひおけりてなほおま  
ふにまおまをいひておまおま  
いおれににににににににににに  
おれにににににににににににに

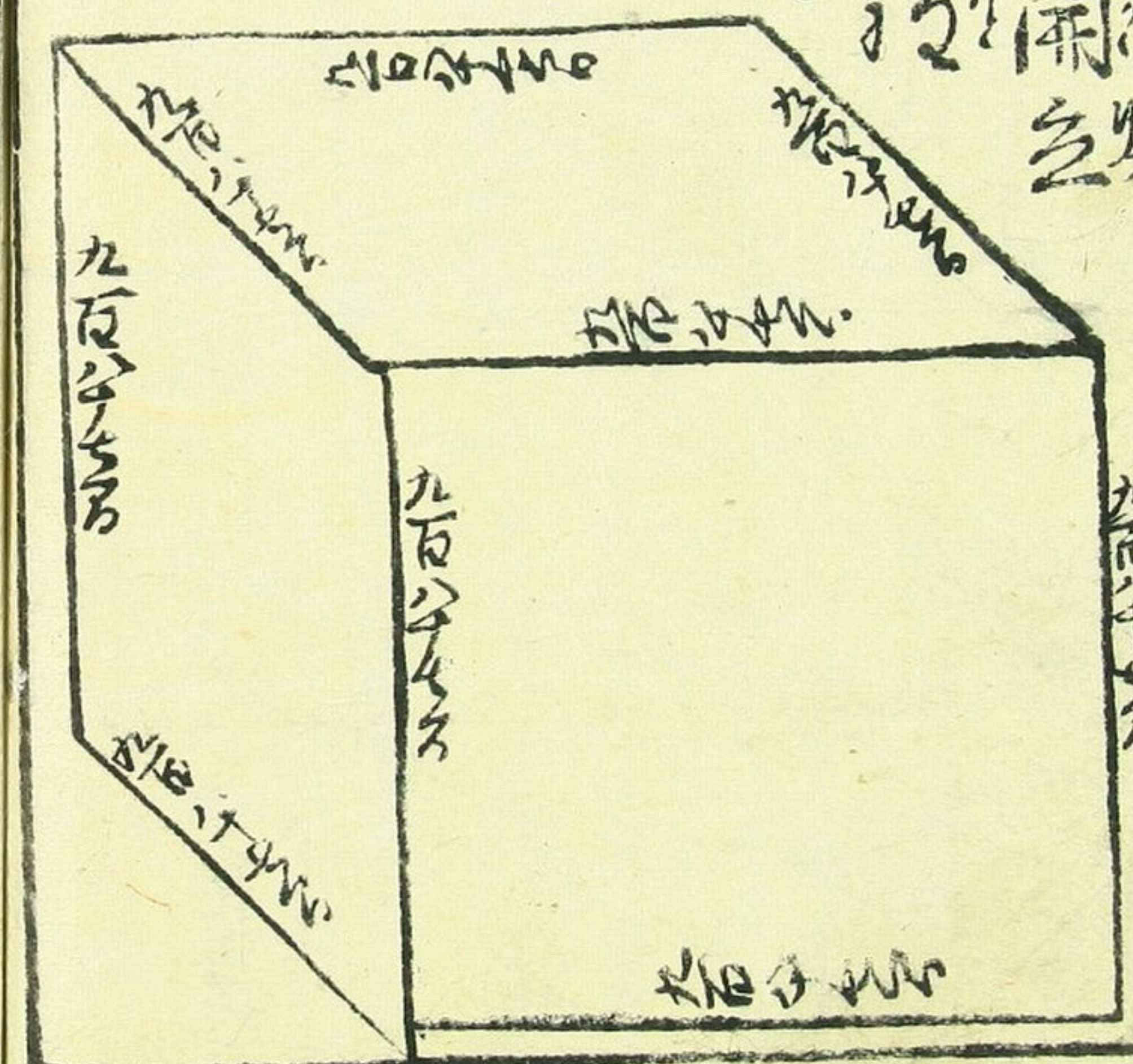
△又たさくわのよあまおれへ  
念ふ。いふ言ふ言ふ言ふ  
えおまをいひおけりてなほおま  
ふにまおまをいひておまおま  
いおれににににににににににに  
おれにににににににににににに

△又たさくわのよあまおれへ  
念ふ。いふ言ふ言ふ言ふ  
えおまをいひおけりてなほおま  
ふにまおまをいひておまおま  
いおれににににににににににに  
おれにににににににににににに

用立法

積九後之氣一兆五億六千萬令三  
 下之積と用立  
 可く何れ  
 少くしと時

九百半七  
 九百半七



高	一	十	百	千	萬	億	兆	京	垓
實	一	十	百	千	萬	億	兆	京	垓
法	一	十	百	千	萬	億	兆	京	垓

下二箇乘九九八十一

百乘萬乘九九七十一

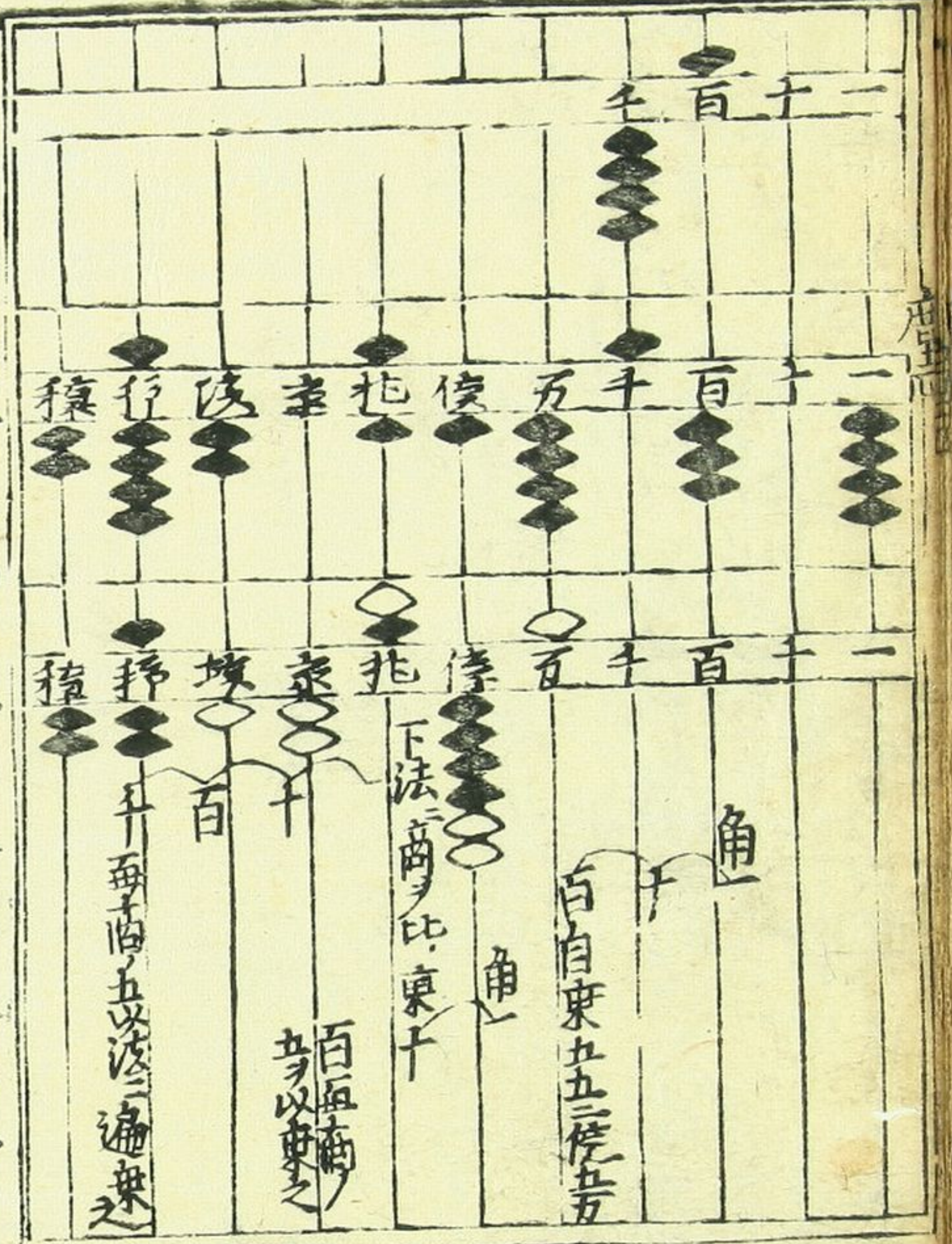
下法

實積三三三之法て倍して  
 下法して一冊九百之法  
 九億三千万て一冊九百之法  
 九九九之法て一冊九百之法  
 九九九之法て一冊九百之法

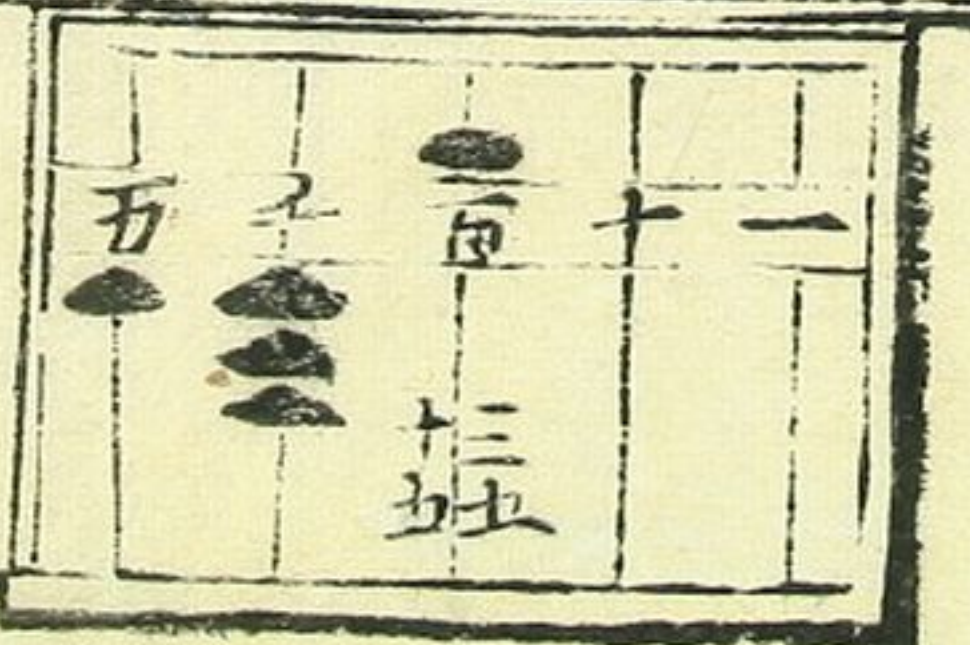
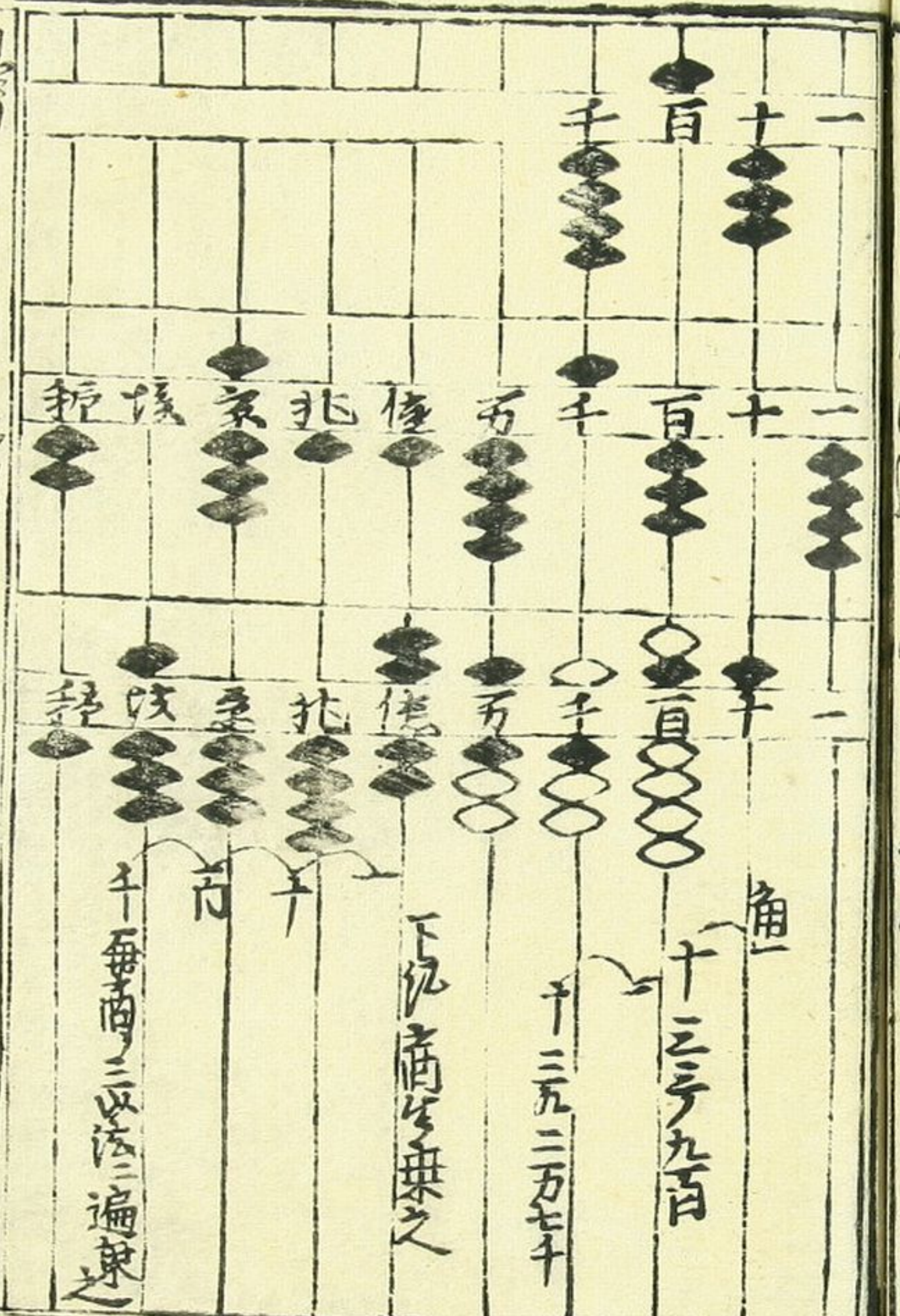




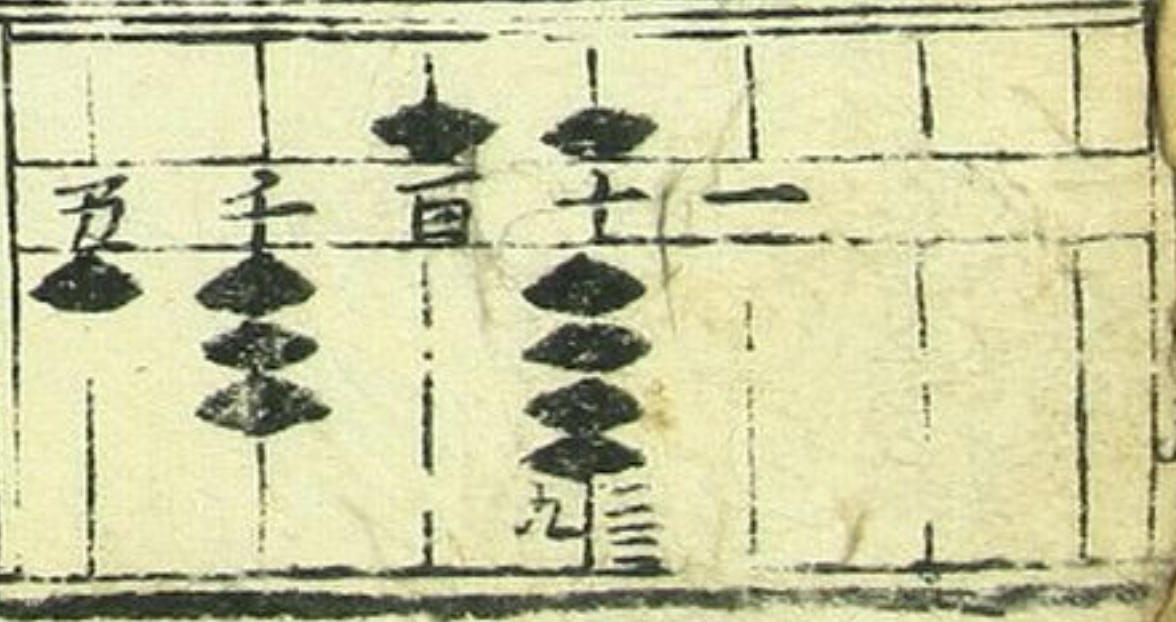
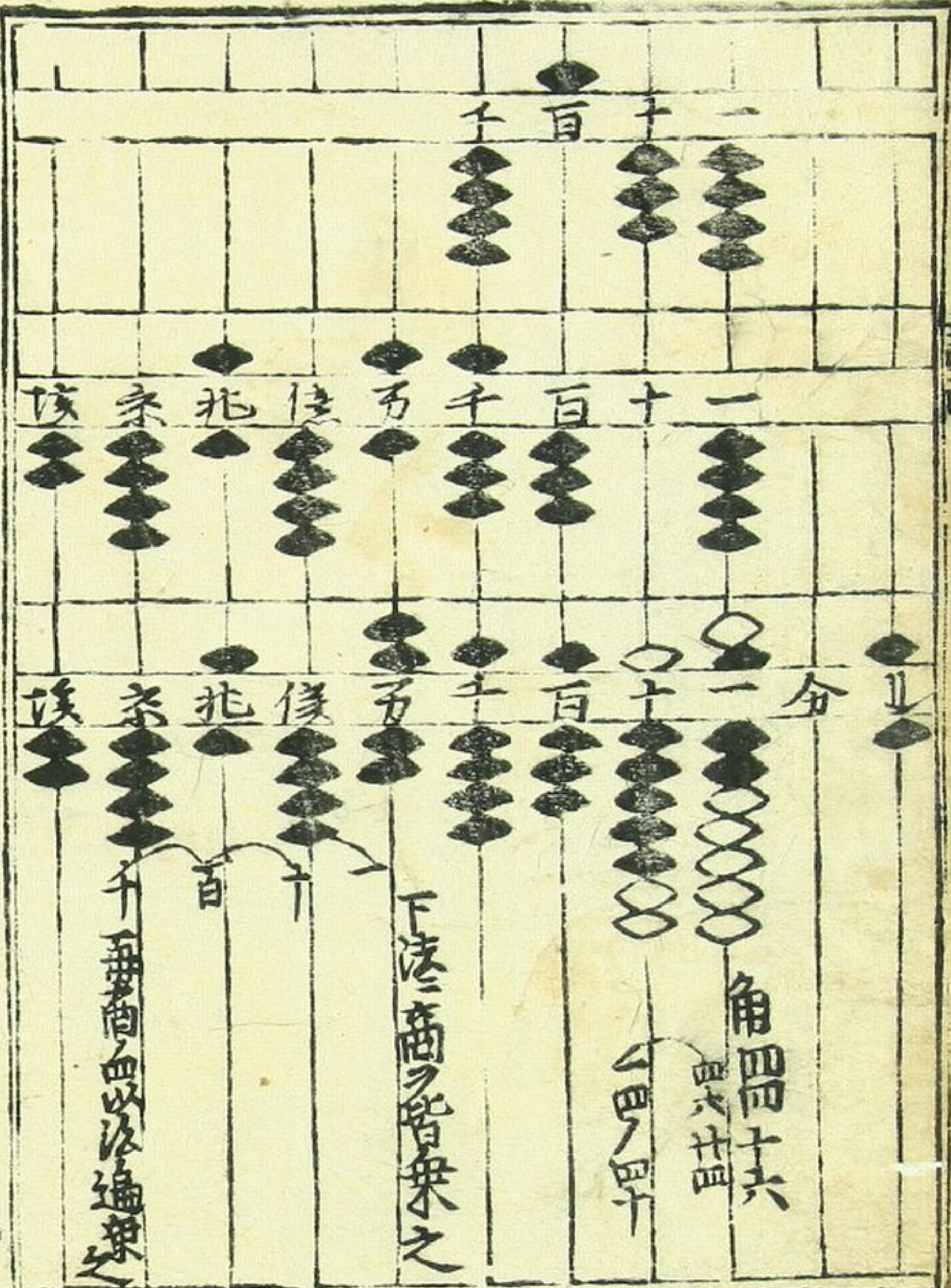




下法商比東十  
 百百東五九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五



商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五  
 商九百八十九九候五

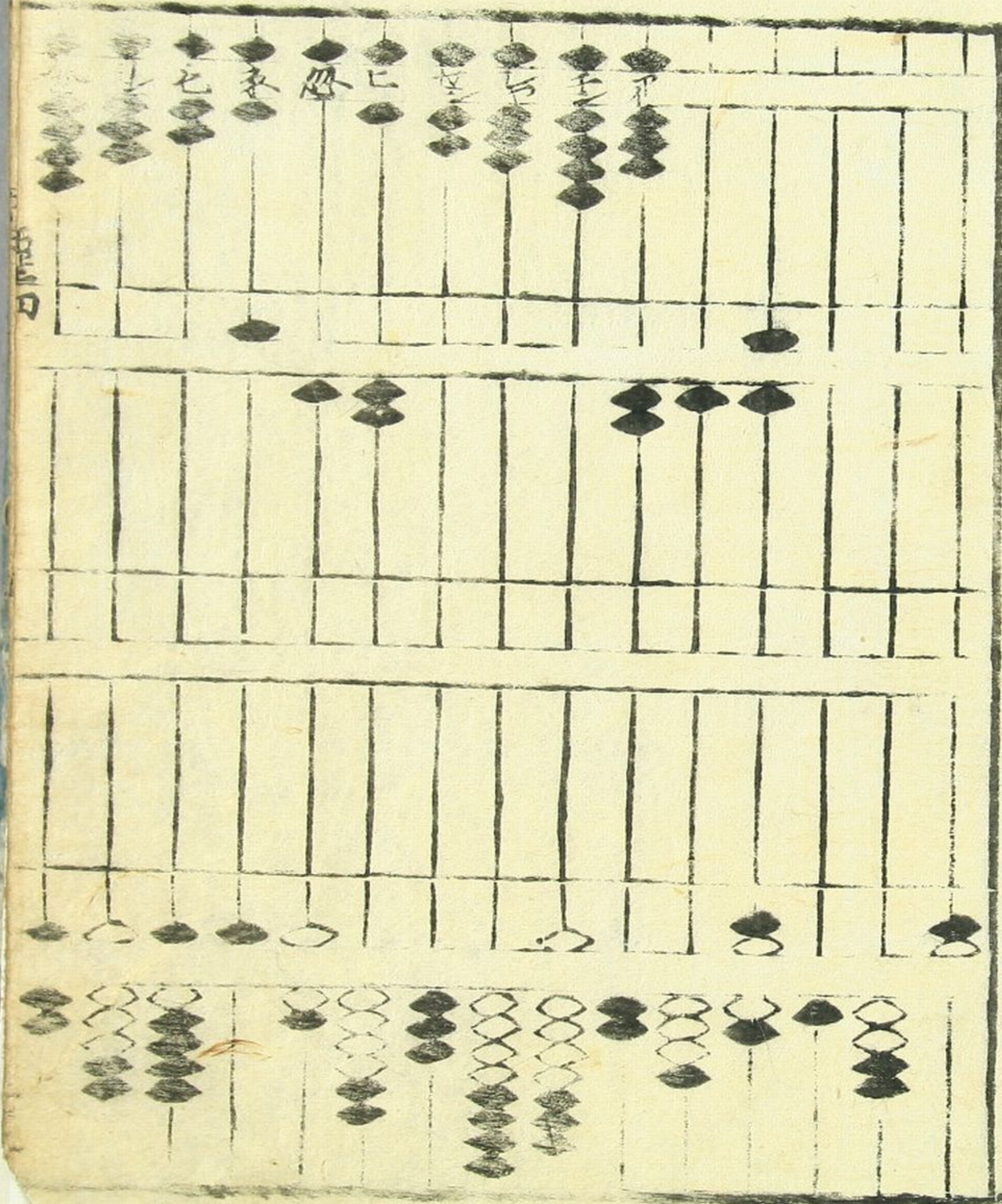


商亦之法九千加一法通乘也故法于下法商乘之五  
 五千三百零五法五法五法五法五法五法五法五法  
 十八九二九三百零五法五法五法五法五法五法五法

千下并商之法通乘也二法下乘之法  
 曰法之法五法七千二法下乘之法  
 六千九百九十九法  
 用之法之法

○	○	○	○	○	○
一	二	三	四	五	六
一	一二又九九二一	一四二二二八	一八八七四下三	一七下九九七四	一八一七一一九

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
八百	七百	六百	五百	四百	三百	二百	一百	九十	八十	七十	六十	五十	四十	三十	二十	十九	十八	十七	十六
九二二二二二二二	八八七九下二	八三三三三三三三	七九二七下一三	七三六八下三二	六六九九三二九	五八八八下三一	四六四一八八	四二八八一三	四二下八九三	三九二八六六	三六八四下二	三四一九九二六	三二一七二一	二七一四一六	二一八下八一	二一八下八一	二	一九一二九下六	七



算盤

〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
音	万	百	千	万	千	百
九	十	十	十	十	十	十
八	一	一	一	一	一	一
七	二	二	二	二	二	二
六	三	三	三	三	三	三
五	四	四	四	四	四	四
四	五	五	五	五	五	五
三	六	六	六	六	六	六
二	七	七	七	七	七	七
一	八	八	八	八	八	八
〇	九	九	九	九	九	九

右の如し  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十  
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十



三月

牛の六百八十疋  
馬の六百八十疋



二月

小

牛の六百八十疋  
馬の六百八十疋

母

父



正月

牛の六百八十疋  
馬の六百八十疋



四月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

五月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

六月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

七月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

八月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

九月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

十月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

十一月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

十二月

廿九日 百廿九日  
廿九日 百廿九日

法下移字も 廿九日 百廿九日  
は下ろ移字ものきと上りぬ

△ 移すこと百七拾陸公由百六拾五公由  
全成是之は移すに百七拾陸公由  
一人由して百七拾陸公由  
△ 大なる移すこと危ふらむは危ふらむに  
海よりわたりて入るるに危ふらむに  
つくることの時よ

七拾八方公由百七拾陸公由に  
但一里とよむは所用多しと一町を境  
一畝とよむは所用多しと

ひかくしんのかの事

△ 世にまゝしりあつてはつては本ら  
あふりしよあつてはつては本ら  
○ 五拾三方公由百七拾陸公由に  
○ 二方公由三百九拾六公由に  
○ 八拾九公由百七拾陸公由に  
○ 五億三千万八拾七方九百七拾陸公由  
○ 八拾九公由百七拾陸公由に

△大豆一粒といひて一斗入りしホリ玉の粒も  
 如しと云ふ時数なりと云ふ也但ホリ玉の粒も  
 一斗に三粒と云ふは計量不齊なる事程成云  
 △麦一粒といひて一俵入りてホリの換

。立億三万三千七百九百十三粒成云  
 以孫二百方粒八換ありて地積なりと云  
 〇立石三斗一斗の合五斗七斗五斗八斗  
 法小一粒といひて一斗入りてホリ玉の粒  
 ちと云ふ事と云ふ也又ホリ玉の粒も  
 く云ふ法積なりと云ふ也昔方粒入と云ふ分

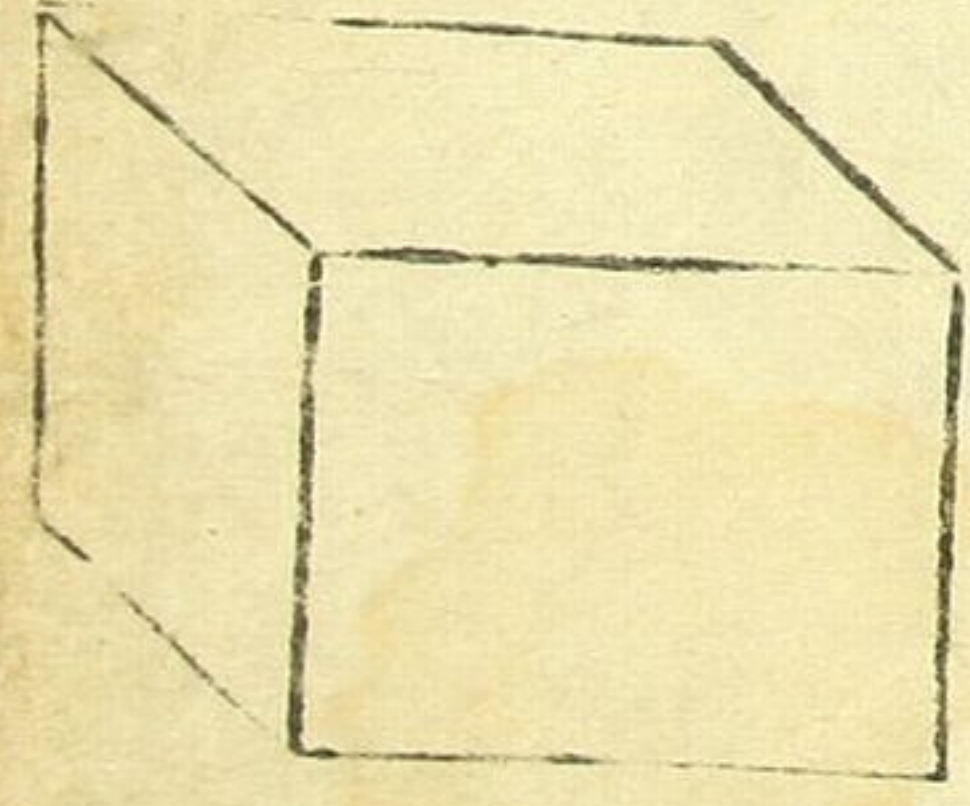
豆粒のあり様ありて 一斗六斗六斗五斗  
 合五斗七斗五斗八斗五斗方粒也  
 △麦一粒といひて一斗入りて一斗入り

九百六十二粒九百九十九粒成云  
 百斗成云五百七十三粒斗五斗成云  
 五斗成云二百七十三粒斗五斗成云

斗入りし斗入りし斗入りし  
 加しと云ふ事と云ふ也

三斗成云五百七十三粒斗五斗成云

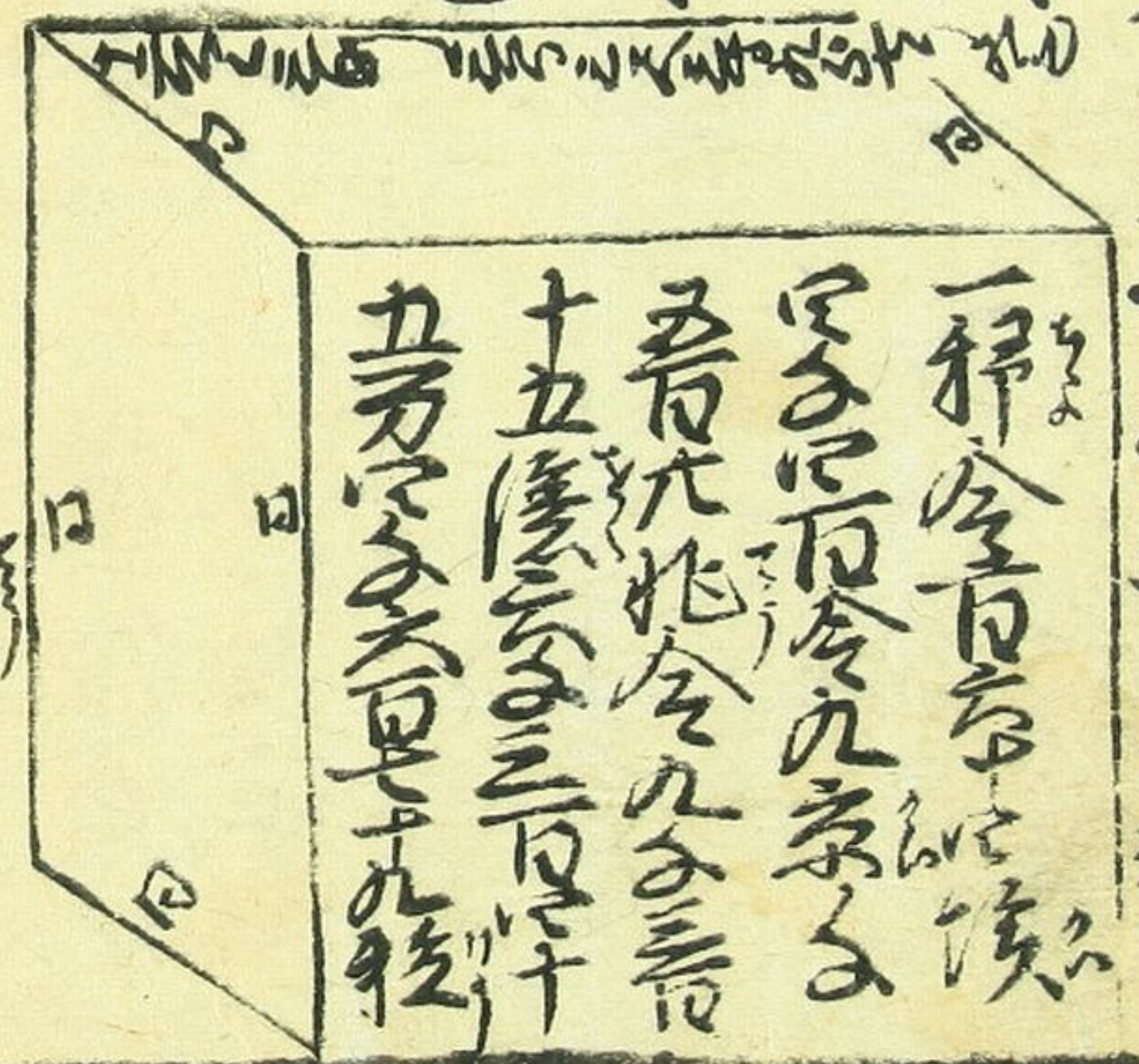
斗入りし斗入りし斗入りし





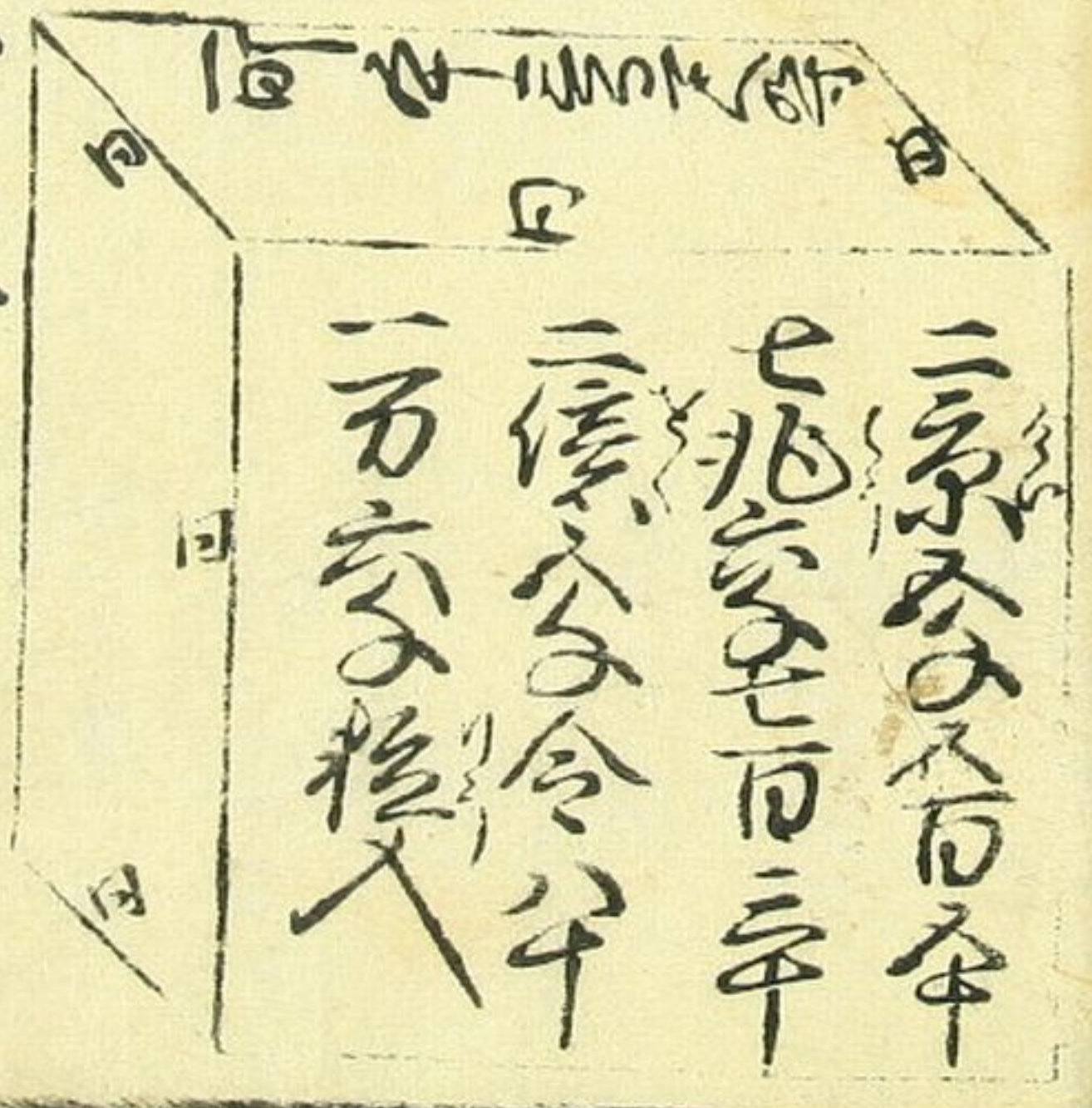
△左のあまらり一掃令百之松屋後には百粒を  
 意する令に後九の三日此方九の二日本粒を  
 九と用さし

△右のあまらり一掃令百之松屋後には百粒を  
 意する令に後九の三日此方九の二日本粒を



△右のあまらり一掃令百之松屋後には百粒を  
 意する令に後九の三日此方九の二日本粒を

△右のあまらり一掃令百之松屋後には百粒を  
 意する令に後九の三日此方九の二日本粒を

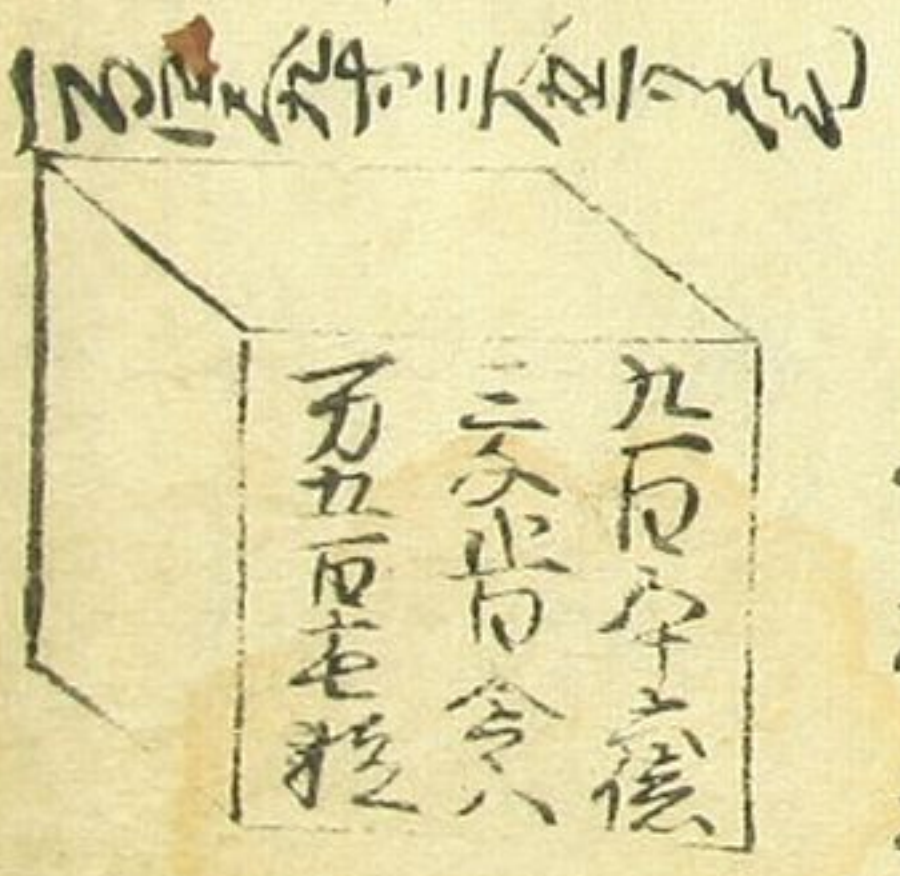


△右のあまらり一掃令百之松屋後には百粒を  
 意する令に後九の三日此方九の二日本粒を

九百六十億七十九百松屋令公の百粒を

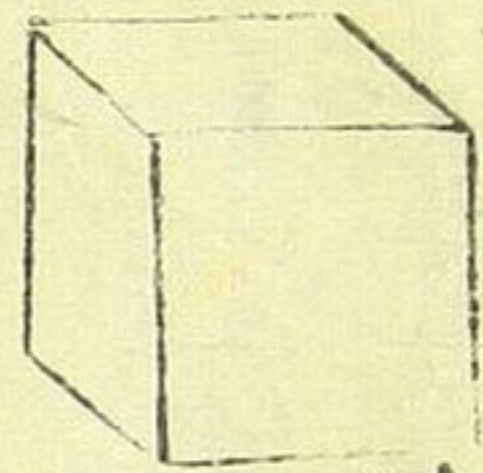
右と用さし

きるる人の寸三分二り毫



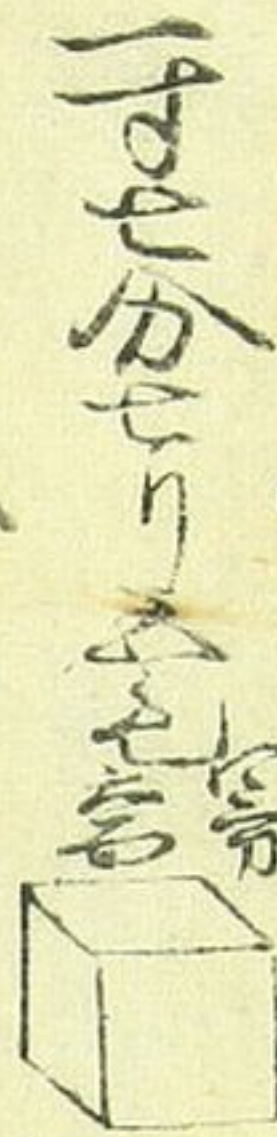
一丈二寸ありしり 一丈七寸五分ありしり 九百十二粒あり

九寸五分あり



一丈五分ありしり 九百十二粒あり

一丈二寸ありしり 九百十二粒あり



一丈五分ありしり 九百十二粒あり

一丈二寸ありしり 九百十二粒あり

六分五分あり



一丈五分ありしり 九百十二粒あり

一丈二寸ありしり 九百十二粒あり

一分五分あり



一丈五分ありしり 九百十二粒あり

一丈二寸ありしり 九百十二粒あり

△一丈二寸ありしり 九百十二粒あり  
△一丈五分ありしり 九百十二粒あり  
△一丈八寸ありしり 九百十二粒あり  
△一丈九寸ありしり 九百十二粒あり  
△一丈九寸五分ありしり 九百十二粒あり  
△一丈九寸五分ありしり 九百十二粒あり  
△一丈九寸五分ありしり 九百十二粒あり

第八

日本一國中男女の数を

男の数は 九億九千万九百九十九人

女の数は 九億九千万九百九十九人

合計は 一億九千万九百九十九人

一丈二寸ありしり 九百十二粒あり

一丈五分ありしり 九百十二粒あり



第九

塵

くすくす人々事

世

くすくす九百九十九  
四九百九十九  
くすくす九百九十九  
くすくす九百九十九

法九百九十九  
九十九  
九十九  
九十九  
九十九

△九十九のくすくす  
くすくす九十九  
九十九  
九十九

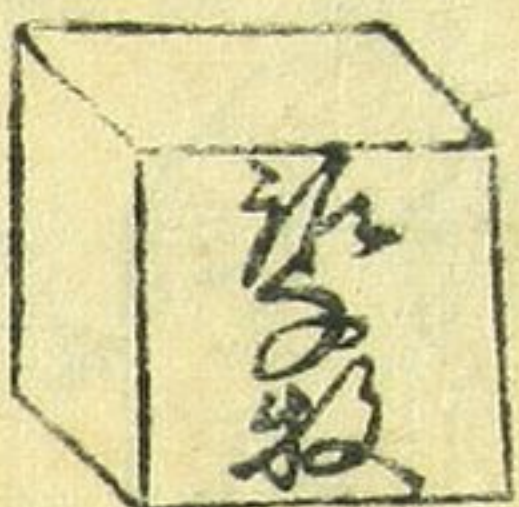
第十

金銀の教と  
くすくす

守三分一  
金銀の教  
くすくす







唐  
寺七分一七毛 官方ち面也  
法お銀の銀の商の千三喜自を  
これと百字目してこれ守の防  
三百七片一分に二毛八条九忽とて  
これと用とてして三合なり

金千枚

長二尺四  
あり四六分

銀五枚

長二尺六寸  
あり六寸

第廿一

うぬてうんのいせのつて換り  
うぬてうんあうい

七里松所 成なる長寺なり

ゆいそつち長寺土所なる長寺なり

ゆいそつち長寺土所なる長寺なり

先きの敷の八百とらぬ長寺なる長寺なり

長寺なる長寺なる長寺なる長寺なり

長寺なる長寺なる長寺なる長寺なり

長寺なる長寺なる長寺なる長寺なり

長寺なる長寺なる長寺なる長寺なり

ふぬきいしとていふは、  
一、  
てさすかふふは、  
写分あふ、  
てふひのうし、  
これいふ、  
なるあ、  
これとれ、  
まゝ、  
九つ、

ふこ、  
あ、  
こ、

今三、

田、

田、

ふ、  
け、  
た、





この書は寛永十一年八月版の塵  
却記（敦賀屋久兵衛刊）と全く  
同じもの（行文内容共に）で、たゞ  
梓刷振假名に相違がある。但し序と  
跋のみが欠けてゐる。

昭和十三年四月

小倉金之助





古今圖書集成  
醫部全錄  
卷之七  
方脈